



令和 5 年度 年度計画 (案)

令和 5 年 3 月

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

目次

前文	1
第1 計画の期間	2
第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	2
1 質の高い医療の提供	2
(1) 足柄上病院	2
(2) こども医療センター	3
(3) 精神医療センター	5
(4) がんセンター	6
(5) 循環器呼吸器病センター	8
2 質の高い医療を提供するための基盤整備	9
(1) 人材の確保と育成	9
(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化	11
(3) 臨床研究の推進	13
(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用	15
3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供	15
(1) 医療安全対策の推進	15
(2) 患者満足度の向上と患者支援の充実	16
(3) 災害時の医療提供	18
(4) 感染症医療の提供	19
(5) 第三者評価の活用	20
4 県の施策との連携	20
(1) 県の施策との連携・協働	20
(2) 将来に向けた検討	21
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	21
1 適正な業務の確保	21
2 業務運営の改善及び効率化	21
3 収益の確保及び費用の節減	22
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	24
1 予算（人件費の見積りを含む。）（令和5年度）	25
2 収支計画（令和5年度）	26
3 資金計画（令和5年度）	34

第5	短期借入金の限度額	35
1	限度額	35
2	想定される短期借入金の発生理由	35
第6	出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	35
第7	前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	35
第8	剰余金の使途	35
第9	料金に関する事項	35
第10	その他業務運営に関する重要事項	35
1	人事に関する計画	35
2	施設整備・修繕に係る計画の検討	36
3	積立金の処分に関する計画	36

前文

平成22年4月に設立された地方独立行政法人神奈川県立病院機構（以下「県立病院機構」という。）は、神奈川県における保健医療施策として求められる高度・専門医療等の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とした法人である。

県立病院機構が策定した第三期中期計画においては、引き続き中期目標で求められている県立病院としての役割を果たし、安全・安心で質の高い医療を提供していくとともに、経営基盤の強化・安定化に取り組んでいくことを掲げている。また、人口構造や疾病構造の変化に伴い多様化する医療ニーズや医療を取り巻く環境の変化を踏まえた適切な対応を図っていくことや将来にわたって役割を果たしていくため、各病院の機能や地域における役割について検討を行うことなども掲げている。

第三期中期計画期間の4年目である令和5年度は、中期計画を着実に達成するため、

- ① 人材の確保と育成、地域の医療機関等との機能分化・連携強化、臨床研究の推進などの基盤整備を行いながら、質の高い医療の提供や充実強化に取り組むこと。
- ② 医療安全対策の推進、患者満足度の向上と患者支援の充実、第三者評価の活用などにより、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。
- ③ 業務運営の改善及び効率化、収益の確保及び費用の節減などにより財務内容の改善に取り組んでいくこと。

などを重点的な取組みとして掲げている。このように県立病院としての役割を果たしながら、様々な経営指標等を活用してP D C Aサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていくことを目指していく。

各病院の許可病床数（令和5年4月1日時点）

	一般病床				結核病床	精神病床	感染症病床	合計	(参考) 令和7年 時点
	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期					
足柄上病院	46	184	60	-	-	-	6	296	296
こども医療センター	86	214	50	40	-	-	-	390	390
精神医療センター	-	-	-	-	-	323	-	323	323
がんセンター	24	371	-	20	-	-	-	415	415
循環器呼吸器病 センター	6	173	-	-	60	-	-	239	239

第1 計画の期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間とする。

第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置

1 質の高い医療の提供

各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。

(1) 足柄上病院

【地域ニーズに沿った医療等】

- ・ 消防本部と連携を強化しながら、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。
- ・ 高齢化の著しい進展に対応し、複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療、生活機能障害に対するケアなどの総合診療に積極的に取り組むとともに、新専門医制度における基幹施設（病院）として総合診療医等の育成に引き続き努めていく。
- ・ 感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための実施設計及び既存の2号館の除却に着手する。
- ・ 内視鏡センター及び人工関節センターを広く周知し、地域の医療ニーズに応じていく。
- ・ 骨粗しょう症やサルコペニアが進行し、関節疾患や大腿骨近位部を骨折する高齢患者が増加していることから、日常生活に必要な運動機能や認知機能を維持するため、ロコモ、フレイルを改善する治療を進める。
- ・ 小児医療については、通常の小児外来診療を引き続き実施するほか、市町の乳幼児健診や小児予防接種などに積極的に協力する。
- ・ 医師が不足している中小病院等に対し、積極的に医師派遣を行うことで、地域全体の医療提供体制を確保できるように取り組む。

【感染症医療・災害時医療】

- ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行う。
- ・ 県西二次保健医療圏における災害拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。
- ・ 令和4年度末に、小田原市立病院との間で締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」に基づき、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。
- ・ 神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。

【医療従事者の研修受入れ】

- ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、看護師、薬剤師及び管理栄養士など、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。
- ・ 看護師の特定行為研修については、地域の医療機関を対象とした研修を実施する。

【地域包括ケアシステムの推進】

- ・ 一般病棟で症状が安定した患者が、退院後に自宅で療養生活を続けられるよう、地域包括ケア病棟で、リハビリや退院に向けたサポートを提供する。
- ・ 地域包括ケアシステムを推進し、地域医療の充実を図るため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状急変時に24時間対応できるように、受入体制を整える。
- ・ 地域医療支援病院として、かかりつけ医の支援、地域医療従事者の研修、施設の共同利用など、地域医療の充実を図る。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
手術件数（手術室で実施）	1,528件	1,836件
うち全身麻酔	1,037件	1,255件
救急受入率	83.2%	95.0%
救急車による救急受入件数	2,692件	3,400件
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	3,294件	4,900件
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	1,078件	1,450件
人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	63件	122件
急性期病棟における在宅復帰率	86.7%	92.0%
地域包括ケア病棟における在宅復帰率	90.2%	79.0%
軽症在宅加療パスを利用した患者数（累計）	88人	220人

（2）こども医療センター

【小児専門医療・救急医療等】

- ・ 小児専門総合病院として、難易度の高い手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療を積極的に実施する。
- ・ レスパイトケアの推進とともに、他施設・病院の指導的役割を担いながら、社会ニーズや障害児支援施策の変化に対応した福祉施設の運営を図る。

- ・ 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療を提供するとともに、栄養支援やリハビリテーション支援を実施する。また、晩期合併症の早期発見や対応、自立支援を目的とした長期的なフォローアップに努める。
- ・ AYA世代のがん患者に対する入院療養環境や相談窓口の充実を行うとともに、小児がん連携病院やがんセンターとも連携を図り、支援の質の向上に努める。また、各種研修会やイベントを開催し、医療従事者の資質向上及び県民への普及啓発を図る。
- ・ 発達状況の評価を継続的に行い、障害の早期発見に努め、必要に応じてリハビリテーションの導入や保護者の支援を行う。また、行政や民間の療育に関する情報提供や、必要に応じて療育機関と連携を図ることで、地域で療育が受けられる体制を整える。
- ・ 県内の各救命救急センターと引き続き連携し、高度及び特殊・専門的医療が必要な小児三次救急を実施する。
- ・ 令和元年度に増床や人員増を伴う体制強化を行ったNICU及びGCUを広報するとともに、低出生体重児、極低出生体重児、先天性疾患などの重症患者を積極的に受け入れるほか、ファミリーセンタードケアを推進する。
- ・ アレルギーセンターにおいて、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対して患者の特性に合った最適な治療を提供する。県指定のアレルギー疾患医療拠点病院として、地域の医療機関や行政機関等と連携を強化し、情報提供、人材育成、研究、学校への助言等を実施する。
- ・ 児童・思春期精神医療において、継続診療患者の増加による診療の質の低下（短時間診療や頻度の少ない通院）に係る問題を解消するため、児童精神科診療を行える地域医療機関のリストを充実させ、地域移行に協力可能な患者・家族に具体的な医療機関情報を提供する。
- ・ 児童虐待を早期発見・対応できるよう、職員向けに知識の普及啓発に努める。また、迅速に支援できるよう児童相談所・警察・市区町村等との連携を強化し、再発防止に努める。

【緩和ケア・相談支援】

- ・ 小児の総合的緩和ケアを推進するとともに、専門職で構成されたチームの特色を活かし、生命を脅かす疾患や、緩解後のサポートを必要とする患者・家族に対し、安定かつ継続した医療・ケアの提供に努める。
- ・ 医療的ケアの必要な患者の退院支援、安定した在宅生活のために院内外の多職種との連携を強化する。また、小児の在宅医療を支える支援者を対象とした医療的ケア研修や相談窓口などを通じ、地域の支援者の医療的ケアのスキル向上の支援、不安軽減に努め、地域における医療的ケア児のスムーズな受入りに繋げる。
- ・ 成人移行期医療については、「みらい支援外来」において、事例を積み重ね、多職種が連携して診療相談を行い、円滑な成人移行に向けた自立支援や成人期の医療機関との連携を図る。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
手術件数（手術室で実施）	3,346件	3,800件
うち全身麻酔	2,829件	3,340件
造血幹細胞移植件数	30件	25件
救急車による救急受入件数	470件	520件
N I C U新規入院患者数	335人	430人
M F I C U新規入院患者数	196人	145人
G C U入院実患者数	281人	390人
小児がん患者新規入院患者数	84人	95人
緩和ケア実施件数	46件	75件
リハビリテーション件数	22,298件	24,200件

(3) 精神医療センター

【精神科専門医療】

- ・ 児童相談所やこども医療センター等との連携を強化し、被虐待児も含めた中高生世代の患者を積極的に受け入れる。
- ・ 反復経頭蓋磁気刺激法（r-TMS）等により、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。
- ・ 依存症治療拠点機関として依存症に関する取組みの情報発信や一般県民向けに研修等の普及啓発活動などを実施するほか、依存症医療支援者研修を実施し、県内の依存症医療の提供体制の強化を図っていく。
- ・ アルコール・薬物・ギャンブル依存症の患者で個別の対応が求められる患者の治療に積極的に取り組むほか、集団治療プログラムを実施する。その他、依存症診療科と思春期診療科が連携し、インターネット・ゲーム依存症の治療を推進するほか、精神科医療のニーズがありながら受診先を見つけることが困難な性的マイノリティの依存症患者を対象とした外来を設置する。
- ・ 心神喪失者等医療観察法の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った入院医療を提供し、入院期間が長期化しないよう努める。また、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を一貫して実施する。
- ・ 特定の医療機関でしか実施できないクロザピン治療を推進するなど難治患者に対して、高度な精神科医療を実施する。
- ・ 「もの忘れ外来」における鑑別診断の推進、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」の普及により、地域住民をはじめとする県民の認知症の早期発見や予防を図っていく。

【精神科救急医療・災害時医療】

- ・ 県の精神科救急医療システムの基幹病院として、県精神保健福祉センターや4県市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる。
- ・ 災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。

【地域の医療機関との連携】

- ・ 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、患者の紹介・逆紹介を推進する。
- ・ 訪問看護や精神科デイケアなどを行うことで、地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進め、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に参画していく。
- ・ 地域の医療機関等の求めに応じ、積極的に救急患者や重症患者の対応に努めていく。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
依存症集団治療プログラム延患者数	1,515人	2,000人
依存症に関する研修等普及啓発活動実施回数	3回	40回
クロザピンによる治療患者数	132人	150人
r-TMSによる治療患者数	16人	20人
救急病棟入院延患者数	21,683人	23,600人
訪問看護件数	3,001件	2,700件
退院後3か月以内に再入院した患者の割合	18.1%	10.7%

(4) がんセンター

【がん専門医療】

- ・ 手術、放射線治療、免疫療法を含むがん薬物療法、緩和ケアなどによる集学的ながん医療を推進する。
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院として、連絡協議会の運営や地域連携活動等により県内医療機関と連携し、機能分担や協働によるより質の高いがん医療の提供や均てん化に取り組む。
- ・ がん専門病院としてより高度な医療の提供や医療技術の開発に取り組むため、令和6年度の特設機能病院の承認に向けた取組みを進める。
- ・ がんゲノム医療拠点病院として、保険適用外も含めた遺伝子パネル検査を、より多くのがん患者に至適タイミング（治療早期、複数回など）で提供する。
- ・ 重粒子線治療について、体制強化、治療機器の更新、地域の医療機関及び県民への広報の推進、医療インバウンドの取組み、がん診療連携拠点病院との連携などにより治療件数を増加させる。

- ・ 重粒子線治療と免疫治療との併用療法を開発するため、診療部門と臨床研究部門が連携して重粒子線治療の免疫学的影響を解明する研究を継続する。また、臨床的なアプローチとして頭頸部悪性黒色腫に対する重粒子線治療後の免疫チェックポイント阻害剤による維持療法の臨床研究にも引き続き取り組む。

【相談支援等】

- ・ 地域の在宅ケアや訪問リハビリテーション担当者との連携を強化しながらリハビリテーション部門が積極的に介入するとともに、専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。
- ・ アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、関係部署が連携し、質の高い患者支援を行う。
- ・ 就労支援等において、院内の関係部署が社会保険労務士やハローワーク、産業保健総合支援センター等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。
- ・ 患者団体と連携・協力しながら、相談支援を行う。また、サポートグループ活動や患者会活動の自立に向けた支援を継続する。
- ・ 小児がん患者のフォローアップ、AYA世代等の妊孕性温存に関する情報提供及び意思決定支援に関する相談支援などに取り組む。
- ・ AYA世代のがんの支援体制を整える。

【高齢のがん患者への対応】

- ・ 高齢のがん患者に見られる身体機能低下や認知機能低下等の客観的評価に取り組む。

【がん登録】

- ・ 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録、地域がん登録（神奈川県悪性新生物登録）及び院内がん登録を着実に実施する。

〔目標値〕

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
手術件数（手術室で実施）	3,658件	3,900件
うち全身麻酔	3,425件	3,550件
うち腹腔鏡／胸腔鏡下	902件	950件
うちロボット支援	254件	300件
造血幹細胞移植件数	86件	80件
外来化学療法実施件数	27,074件	27,000件
放射線治療件数	1,325件	1,500件
重粒子線治療件数	527件	764件
うち医療インバウンド受入件数	0件	5件
緩和ケア実施件数	1,013件	770件
リハビリテーション件数	21,649件	26,000件

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
漢方サポートセンター外来患者数	4,939人	4,800人
がん相談件数	6,549件	8,000件
アピアランスサポート件数	337件	500件

(5) 循環器呼吸器病センター

【循環器・呼吸器専門医療】

- ・ 循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受入拡大を図る。
- ・ 健康診断のうち胸部レントゲン検査や心電図検査で異常を指摘された受診者の二次健診ニーズに効率的に対応できる体制を構築し、円滑な運用を図る。
- ・ カテーテルアブレーションやペースメーカー留置術など、循環器疾患の患者の病態に合わせた適切な医療を安全に提供するとともに、心臓リハビリテーションを効果的に実施し、重症化の予防やQOLの改善に努める。
- ・ 肺がんについて、患者の状況に応じた的確な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や免疫療法を含むがん薬物療法、放射線治療、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、治験や臨床研究を進め、質の高い医療を提供する。
- ・ 間質性肺炎センターにおいて、診断技術の向上等の機能強化に取り組みながら質の高い医療を提供するとともに、専門医の育成、患者への相談支援や情報提供を行いつつ、治験や臨床研究を進め、全国の治療拠点としての役割を果たす。
- ・ 間質性肺炎患者等を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症などの新興感染症をはじめ、非結核性抗酸菌症などの呼吸器感染症患者の受入れを行うとともに、治験や臨床研究を進める。

【結核医療】

- ・ 結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、高齢化により併存疾患を持つ結核患者や認知症を有する結核患者が増加する中、きめ細かい医療サービスを提供する。
- ・ 保健所と情報を共有し、退院後の治療継続を見据えた院内DOTS（直接服薬確認療法）を推進する。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
手術件数（手術室で実施）	307件	430件
うち全身麻酔	281件	410件

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
カテーテルアブレーション実施件数	118件	220件
外来化学療法実施件数	1,150件	1,440件
放射線治療件数	98件	160件
リハビリテーション件数	11,484件	17,300件
リハビリテーション件数（循環器）	3,296件	3,700件
リハビリテーション件数（呼吸器）	8,188件	13,600件
間質性肺炎新規外来患者数	574人	675人

2 質の高い医療を提供するための基盤整備

(1) 人材の確保と育成

(人材の確保)

【医師】

- 各病院において、連携協力のある大学の医局ローテーションなどによる人材確保を図る。また、必要に応じて公募や医師の人的ネットワークを活用し、広く一般から優秀な医師を募る。

【看護師・助産師】

- 本部事務局と5病院合同での採用試験を複数回実施することにより、人材確保に努める。また、7月1日、10月1日、1月1日を採用日とした経験者採用試験を実施し、人材確保を図る。
- 優秀な人材を確保するため、企業や養成校主催の就職説明会へ参加し、広域での看護学生への周知に努める。また、各病院においても、年間を通じてインターンシップや病院説明会、養成校訪問を実施し、広報に力を入れていく。
- 確保が困難な助産師等の安定的な確保を図るため、看護師及び助産師向けの修学資金の貸与を引き続き行っていく。

【医療技術職員・事務職員】

- 各職種に共通する採用試験については、30歳までを対象とする一般採用試験を中心として実施し、職務経験3年以上の人を対象とする経験者採用試験については、必要に応じて実施する。
- 医療技術職員の採用試験については、適切な時期に実施するとともに、大学等の訪問や説明会への参加など積極的な周知に努める。薬剤師については、薬剤師レジデント制度を継続して実施し、必要に応じて経験者採用試験を実施する。
- 事務職員（一般採用）の採用試験については、募集開始時期を早め、優秀な人材の確保に努める。採用予定者については、配属前に病院見学会を行うなどして、当機構や業務に対する理解を深めるとともに、辞退者の発生を抑止する。
- 事務職員（幹部候補者）の採用選考については、病院や民間企業等でのマネジメント経験を活かし、病院運営における即戦力として活躍できる人材の確保に努める。

(人材の育成)

【医師】

- ・ 新たな専門医制度での基幹施設（病院）として研修実施が可能な診療科のプログラム申請を行い、計画的な受入れと育成に取り組む。
- ・ こども医療センターでは、精神科研修専門医プログラムの基幹病院である精神医療センターと連携し、精神医療センターで専門医研修を受講している専攻医を4ヶ月～6ヶ月間受け入れる。

【看護師】

- ・ 「キャリア形成支援システム」に基づき研修を実施する。研修はチーム医療を推進する目的から多職種参加型で行う。
- ・ 認定看護師等の育成として、勤務割振り等を配慮して資格取得の支援をする。
- ・ 足柄上病院においては、特定行為指定研修機関として、特定行為に係る看護師の育成を進める。

【医療技術職員等】

- ・ OJTを中心とした人材育成を実施する。
- ・ 管理職からの意見聴取や職員数の多い職種についてキャリア面接を実施するなど、職員の意向や人事異動に係る情報の取得等に努め、人材育成の考え方の整理を進める。

【事務職員】

- ・ 「人材育成に関する方向性とアクションプログラム」に基づき人材育成を実施していく。
- ・ 一般採用職員については、採用から10年程度の期間において、幅広い業務を経験できるような人事異動の実施に努める。また、診療報酬に関する専門研修等を実施するなど研修の充実を図る。
- ・ 経験者採用職員については、医事事務や病院経営に関する実務等の経験を活かした人事異動を実施していく。
- ・ 幹部職員を対象に、外部講師を活用した病院経営や組織マネジメント等に関する研修を開催する。
- ・ 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。
- ・ 幹部候補者採用職員については、経験を活かしたキャリアアップを図っていく。
- ・ 職員のチャレンジ精神を育て、組織の活性化を図るため、令和元年度に開始した病院機構内からの公募制度について、新規事業や重点課題解決のために必要に応じて実施していく。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
専攻医の採用者数	12人	12人
看護師の充足率	96.6%	100.0%

(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携 強化

- ・ 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。
- ・ 各病院の地域医療連携に関する取組みや課題について関係会議等で共有し、地域医療連携の促進を図る。

(足柄上病院)

- ・ 地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア病棟で、患者のスムーズな在宅復帰に向けたサポートを行うとともに、在宅療養後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。
- ・ 地域医療支援病院として、地域の医療機関との相互連携と機能分担を強化し、患者一人一人に対し、適切で切れ目のない医療の提供を行う。
- ・ 「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、同病院との連携・協力関係の強化を図り、令和4年度末に締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」により、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。

(こども医療センター)

- ・ 地域医療支援病院として地域医療機関等との連携強化に努め、登録医療機関数の増加はもとより、紹介患者数の増加及び適切な逆紹介を図るほか、乳幼児健診の支援等を通じて保健所等の行政機関との連携も強化し、効果的な集患につなげる。
- ・ 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が継続できるよう療養支援体制を整える。
- ・ 登録医療機関向けに「地域医療連携室だより」を発刊するほか、ホームページにおける地域医療機関向けの掲載内容を拡充し、当センターの診療内容や取組み等の広報、周知を強化する。
- ・ 地域医療支援事業運営委員会における地域医療機関や関係行政機関等との意見交換を通じて、地域医療支援事業の実施状況と運営上の課題について検討し、地域医療支援病院として求められる役割に沿った前方連携を推進する。
- ・ 地域医療支援事業研修会をはじめとした各種研修会を開催し、高度専門医療機関としての診断技術や治療方法の紹介を通して、診療所の医師はもとより、地域中核病院等の小児周産期医療を担う医療従事者や、今後の医療を担う人材も対象に、資質向上に寄与する。

(精神医療センター)

- ・ 長期入院患者を含めた患者の逆紹介に積極的に取り組み、地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やしていく。
- ・ 連携サポートセンターが中心となり、医療機関や福祉施設訪問を行い、また、関係機関向け病院見学会の実施など地域との連携を強化するとともに、退院前及び退院後の訪問看護を通じ、地域における患者ケアの推進に努める。

- ・ 地域の医療機関の求めに応じ、積極的に救急患者や重症患者の対応に努めていく。
(再掲)

(がんセンター)

- ・ 初来院患者の増加を図るため、検診センターや地域の医療機関等への訪問を継続するとともに、動画による病院・診療科案内、病院ホームページを充実する。また、WEB開催を含む研修会等を開催して地域医療機関と診療科間の連携を強化する。
- ・ 緊急緩和ケア病床の確保などにより、地域の医療機関、居宅・介護施設との連携を強化し、在宅療養への移行を推進する。
- ・ 緩和ケア研修の開催などにより、地域の緩和ケアの質の向上を図る。

(循環器呼吸器病センター)

- ・ 在宅看取り事例や連携困難事例についての検討会を開催するなど、医療機関や訪問看護ステーション等との顔の見える関係を深める。また、在宅療養支援を推進するため、専門的ケアが必要な高齢患者の在宅での生活が継続できるよう、退院前訪問の充実を図るとともに、訪問看護ステーションとの連携を強化していく。
- ・ 増加が著しい、80代後半以降の高齢在宅心不全患者に対し、地域の在宅診療所と連携しながら、専門病院の特色を活かした取組みを引き続き試行的に進める。
- ・ 地域の医療機関等を訪問し、連携の現状や課題について意見交換を行うなど、信頼関係の構築に努めるとともに、登録機関を増やして医療機器の共同利用を推進する。
- ・ 院内及び地域の医療機関の看護師を対象とする「慢性疾患看護専門研修」や、社会福祉士及び介護支援専門員も対象とする「退院支援教育研修」を実施し、専門性の高いケアができる看護師等を広く育成するとともに、地域との連携を強化する。
- ・ 地域医療連携サービスシステムに、外来の診察予約や、心臓MRI及び造影検査に必要な患者情報が入力できるよう引き続きシステムを改善することにより、地域医療機関の利便性向上に寄与する。

[目標値]

紹介件数・紹介率

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率
足柄上病院	4,245件	61.9%	4,750件	50.0%
こども医療センター	9,000件	96.2%	9,100件	97.5%
精神医療センター	1,093件	73.7%	1,350件	80.5%
がんセンター	8,203件	99.9%	8,200件	99.5%
循環器呼吸器病センター	3,673件	83.6%	4,540件	71.0%

逆紹介件数・逆紹介率

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率
足柄上病院	5,297件	77.2%	6,640件	70.0%
こども医療センター	5,228件	55.9%	5,300件	58.0%
精神医療センター	862件	58.1%	950件	56.0%
がんセンター	7,535件	91.8%	7,470件	90.0%
循環器呼吸器病センター	5,337件	121.4%	4,914件	94.0%

(3) 臨床研究の推進

- ・ より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を強化し、多機関共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。
- ・ 各病院と本部事務局との連携の下、競争的研究費等に係る不正防止計画の策定、研究費執行マニュアル及びコンプライアンス教育実施計画を運用し、研究に係る事務業務の適正化を推進する。

(足柄上病院)

- ・ 高齢者医療の症例を幅広く持つ病院の特徴を活かした臨床研究を推進する。

(こども医療センター)

- ・ がんゲノム医療の推進に向けて、がんセンターと連携し、基礎研究を進めるとともに、多機関共同研究にも積極的に参加する。
- ・ 医師主導治験への参加や第三種再生医療等技術の提供に関する評価を行う。
- ・ ヒトゲノム解析研究に係る解析システムを開発するなど、診断率の向上につなげるとともに、未診断疾患イニシアチブ（IRUD）の拠点病院としての機能の充実を図る。

(精神医療センター)

- ・ 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進するほか、抗精神病薬と認知機能リハビリテーションの併用による認知機能への影響に係る多機関共同研究に参加する。

(がんセンター)

- ・ がんワクチン療法などのがん免疫療法の臨床研究を継続するとともに、免疫療法の有効性を高めるバイオマーカーの臨床研究を推進する。
- ・ がんゲノム医療の推進と並行して、診療データ等を利活用したがんゲノム医療の質的向上に資する臨床研究や基盤的研究を企画・推進する。
- ・ 生体試料センターで収集する臨床検体及び患者由来オルガノイド並びにがん移植モデル動物等を用いた臨床研究を、産学と連携して推進する。
- ・ 研究支援センターを設置し、公的外部資金の獲得及び英文論文の作成を推進する。

(循環器呼吸器病センター)

- ・ 「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」をはじめ、間質性肺炎や肺がんなどの呼吸器疾患及び循環器疾患に対して専門性を活かした臨床研究や治験を推進する。

(こども医療センター・がんセンター)

- ・ 小児の固形腫瘍、AYA世代の軟部肉腫などについて、こども医療センターとがんセンターが連携してがん移植モデル動物を作製し、基礎研究、臨床研究を進める。

[目標値]

治験受託件数

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	3件	1件
こども医療センター	17件	25件
精神医療センター	2件	2件
がんセンター	233件	250件
循環器呼吸器病センター	43件	47件
計	298件	325件

介入を伴う医師主導臨床試験（多施設で実施するもののみ）実施件数

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
こども医療センター	45件	40件
がんセンター	246件	250件
循環器呼吸器病センター	35件	25件

筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る）

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
こども医療センター	31件	52件
がんセンター	71件	75件
循環器呼吸器病センター	23件	23件

(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用

ア ICTの活用

- ・ 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム等を活用し、効果的・効率的な医療の提供を推進する。
- ・ 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。
- ・ マイナンバーカードによるオンライン資格確認を活用した医療提供を行うとともに、電子処方箋やオンライン診療等の活用に向けた検討を行う。

[目標値]

地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	27機関	27機関
こども医療センター	67機関	100機関
がんセンター	62機関	62機関
循環器呼吸器病センター	75機関	95機関

※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。

イ AIを活用した医療への取組み

- ・ AIによる診断補助システムの導入など、より正確で質の高い医療の提供に向けて検討を行う。
- ・ 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、引き続き関連機関と連携してAI医療機器の開発研究等に協力する。
- ・ がんセンターにおいて、引き続き内視鏡診断にAIを活用する事業へ参画し、開発研究に協力する。また、「AI遺伝カウンセラー」の臨床導入を進める。
- ・ 循環器呼吸器病センターにおいて、「官民研究開発投資拡大プログラム：新薬創出を加速する人工知能の開発」事業に参画し、公的研究機関が実施するAIを活用した間質性肺炎の新薬創出研究に協力する。また、間質性肺疾患の診断、並びに予後や疾患進行を予測するAIを構築する多機関共同研究に参加する。

3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供

(1) 医療安全対策の推進

- ・ 医療事故等対応マニュアルの運用を徹底し、医療事故等の発生の際には迅速な対応、適切な現状把握・報告・記録を行い、医療安全推進会議等で情報共有し、再発防止を検討する。
- ・ 各病院において医療安全に関わる会議や研修を開催し、医療安全対策の取組みや職員の教育を徹底する。

- ・ レベル0及びレベル1のヒヤリ・ハット事例の積極的な報告を推進する。特に、医師からの報告割合を高め、重大事故の未然防止に努める。

[目標値]

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	89.7%	85.6%
こども医療センター	92.4%	91.8%
精神医療センター	85.6%	84.5%
がんセンター	76.8%	79.0%
循環器呼吸器病センター	90.9%	90.5%

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	2.6%	2.5%
こども医療センター	4.7%	3.7%
精神医療センター	2.4%	2.0%
がんセンター	3.2%	3.8%
循環器呼吸器病センター	4.2%	3.6%

(2) 患者満足度の向上と患者支援の充実

【満足度向上に向けた取組み】

- ・ 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、患者対応能力の向上を図る。
- ・ 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。
- ・ 外来診療や会計の待ち時間の短縮化に各病院が努めるとともに、アメニティの向上などにより心理的負担感を軽減させる取組みを行う。
- ・ 患者サービスの向上を図るため、すべての病院でフリーWi-Fiサービスの提供を行う。

【患者支援等】

- ・ 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。
- ・ 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。
- ・ 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。

- ・ 入院前や入院初期の時点から患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。
- ・ 診療内容の標準化や良質な医療の効率的な提供に資するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。

(足柄上病院)

- ・ 退院困難な要因を有するが、在宅での療養を希望する患者に対し、訪問看護師やケアマネジャーなどを含めた院内外の多職種による退院支援の充実強化を図る。

(こども医療センター)

- ・ 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が継続できるよう療養支援体制を整える。(再掲)

(精神医療センター)

- ・ 依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士が依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、定期的に依存症家族セミナーを開催し、患者・家族支援を充実する。
- ・ 長期入院患者への集中的な退院前及び退院後訪問看護や地域移行に向けたケースワークに積極的に取り組むことで退院後の患者家族や入所施設等への支援に努める。

(がんセンター)

- ・ アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、関係部署が連携し、質の高い患者支援を行う。(再掲)
- ・ 就労支援等において、院内の関係部署が社会保険労務士やハローワーク、産業保健総合支援センター等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。(再掲)

(循環器呼吸器病センター)

- ・ 間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い、交流を図る。

【情報発信】

- ・ 各病院が担う役割・機能のほか、疾患や予防等に関して県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。
- ・ 患者家族や他の医療機関が見やすいホームページの構築に向け、足柄上病院と循環器呼吸器病センターのホームページリニューアルに取り組み、全ての病院でリニューアルを完了する。

[目標値]

入院患者満足度・外来患者満足度

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
足柄上病院	100.0%	97.8%	100.0%	100.0%
こども医療センター	96.0%	88.0%	100.0%	100.0%

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
精神医療センター	78.0%	87.6%	80.0%	93.0%
がんセンター	94.3%	89.7%	100.0%	100.0%
循環器呼吸器病センター	99.4%	99.7%	100.0%	100.0%

入退院支援実施件数

病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値
足柄上病院	1,738件	1,770件
こども医療センター	2,539件	2,600件
がんセンター	9,108件	9,500件
循環器呼吸器病センター	1,742件	2,300件
計	15,127件	16,170件

※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。

入院時支援実施件数

病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値
足柄上病院	501件	570件
こども医療センター	793件	800件
がんセンター	952件	1,000件
循環器呼吸器病センター	676件	750件
計	2,922件	3,120件

※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。

(3) 災害時の医療提供

- ・ 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。
- ・ 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検・整備を行う。
- ・ 各所属が災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるようにBCP（事業継続計画）に沿った想定訓練を行い、BCPの内容を適宜、見直す。

(足柄上病院)

- ・ 令和4年度末に、小田原市立病院との間で締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」に基づき、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。(再掲)
- ・ 神奈川DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。(再掲)

(精神医療センター)

- ・ 災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。(再掲)

(こども医療センター・精神医療センター)

- ・ DPAT活動に対する協力を継続する。

(4) 感染症医療の提供

- ・ 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底し、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を活かした取組みを推進する。
- ・ 令和4年2月に策定した感染防止対策の取組みに基づき、本部事務局に感染制御にあたる医師及び看護師を配置する。
- ・ 感染管理認定看護師等の専門人材の育成に努めるとともに、各病院で策定している感染拡大時の診療継続計画を適宜見直すなど、平時からの感染症対策に取り組む。また、感染防護具等の備蓄についても取り組む。
- ・ 各病院において、通常医療との両立を維持しつつ、新型コロナウイルス感染症の患者受入れ等の対応を行う。
- ・ 感染制御推進会議や感染制御ワーキンググループにおける検討や情報共有を通して、感染対策の強化を図りながら、新型コロナウイルス感染症等に適切な対応を行う。

[目標値]

手指消毒剤使用割合

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	20.2 ml	15.6 ml
こども医療センター	39.3 ml	40.0 ml
精神医療センター	8.1 ml	5.0 ml
がんセンター	23.3 ml	11.7 ml
循環器呼吸器病センター	34.0 ml	20.0 ml

※手指消毒剤払出量 (ml) / 延入院患者数で算出。患者一人当たり一日の手指消毒剤使用量。WHO (世界保健機関) が提示している1日の使用量の目安は延患者1,000人当たり20リットル。

(5) 第三者評価の活用

- ・ 病院機能評価（一般病院2）の認定を受けているこども医療センター及びがんセンターでは、病院機能評価の評価結果を運営に反映させる。また、こども医療センターにおいては、令和6年度の更新に向けて準備を進める。
- ・ がんセンターにおいては、病院機能評価（一般病院3）の認定のための審査を受審する。
- ・ 精神医療センターでは、厚生労働省の「心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業」において、他医療機関の医師、看護師等による評価を受け、医療観察法病棟の医療提供体制の充実を図る。
- ・ それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。

4 県の施策との連携

(1) 県の施策との連携・協働

(足柄上病院・循環器呼吸器病センター)

- ・ 県が推進する県民の未病改善の取組みを推進するため、未病の状態から医師等が運動や食事等の生活指導を中心とした行動変容を促す「未病コンディショニングセンター」の機能の実証事業を引き続き行う。

(こども医療センター)

- ・ 医療的ケア児及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、県と連携して支援する。
- ・ かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の運営を支援する。
- ・ みらい支援外来を運営し、かながわ移行期医療支援センターの取組みを支援する。

(精神医療センター)

- ・ 県の依存症対策を推進するため、依存症に関する取組みの情報発信、各種講演会や研修会の開催など普及啓発活動を実施する。

(がんセンター)

- ・ 「神奈川県みらい未病コホート研究」を推進するとともに、その研究基盤を活用した「未病指標の精緻化」実証事業を行う。
- ・ 地域がん登録事業に引き続き取り組み、地域がん登録データを活用した健診精度評価システムの開発を進める。
- ・ がん対策として県が進めるがん教育について、外部講師の派遣、養成や教育ビデオの作成等を支援する。
- ・ 漢方サポートセンター、アピアランスサポートセンター及びがんワクチン・免疫センターの円滑な運営に取り組む。
- ・ がん情報センターを設置して、がん登録データの活用や国立がん研究センターがん情報サービス及び県との連携により、県民のニーズに応じたがんに関する情報をホームページで効果的に発信する。

(2) 将来に向けた検討

- ・ 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。

(足柄上病院)

- ・ 地元自治体や医療関係者などの参画を得て、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。特に小田原市立病院に対しては、「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、連携・協力関係の強化を図る。
- ・ リハビリ機能の強化による地域包括ケアシステムの推進及び感染症医療の充実強化に向け、再整備事業に取り組む。

(精神医療センター)

- ・ 現状以上に地域の医療機関の救急患者や重症患者の受け入れ要請に応えられる医療提供体制のあり方について検討していく。

(循環器呼吸器病センター)

- ・ 地域における病院の機能や役割について、院内にチームを設置し、疾患別の収支や効率性の算出、ベッドの効率的運用方法、ブランディングなどの経営戦略を引き続き検討していく。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 適正な業務の確保

法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催、内部監査の実施など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取り組みを着実に実施する。

2 業務運営の改善及び効率化

- ・ 高度・専門医療を提供していくため、老朽化した医療機器の更新を計画的に進めるとともに、高額医療機器の稼働件数の目標値を設定し、定期的に達成状況を検証する。
- ・ 固定資産の効果的・効率的な活用を図るため、各病院間で連携し、医療機器の共同利用や遊休資産の利活用を推進する。
- ・ 本部及び各病院において、ICTを活用した情報系ネットワークの再整備や業務系システムの改善等を通じて、職員全員が利用できるシステム環境を整備するとともに、職員の運用を支援する体制を構築する。
- ・ 現在運用している情報セキュリティに関する規程等を見直すとともに、医療情報システムのセキュリティ対策を強化するなど、県立病院機構のITガバナンスを強化する。
- ・ 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図るための仕組みづくりを検討する。
- ・ こども医療センターとがんセンターが連携し、小児がん患者への重粒子線治療を継続して行う。

- ・ 引き続きこども医療センターと精神医療センターとの定期的な連携会議を継続し、患者の成長段階に合わせた切れ目のない思春期精神科医療を提供するほか、精神医療センターの医師がこども医療センターでメンタルヘルス不調の妊産婦の診療を行う。
- ・ こども医療センターが、AYA世代の成人期に達した先天性心疾患患者を、循環器呼吸器病センターへ紹介することで引き続きフォローアップできる体制を整備する。

[目標値]

令和5年度に導入（更新）する高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数

病院名	高額医療機器	令和5年度 目標値	(参考) 令和6年度 目標値	導入 (更新) 時期
こども医療センター	MR I 診断 システム (3 T)	534件	1,600件	令和5年 12月

3 収益の確保及び費用の節減

- ・ 適切な平均在院日数の管理等により、病床の効率的な運用に努める。
- ・ 各病院が届け出ている施設基準や適時調査等の情報を共有することで、機構全体で有効かつ効率的な対策の検討に努める。
- ・ 次年度予定されている診療報酬改定に向け、早期の情報収集に努め適切に対応する。
- ・ 経営分析機能を強化し、各病院と経営管理室が連携を図りながら経営改善に向けた取組みを行う。
- ・ K P I（重要業績評価指標）を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。

< K P I（重要業績評価指標） >

新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、給与費等負荷率

- ・ 共同購入対象品目について、同種同効品の集約など積極的に推進し、費用削減に努める。
- ・ 後発医薬品の積極的な導入により、費用削減に努める。
- ・ エネルギー価格高騰に対応するためにも、蛍光灯のLED化を図り、電気料等の経費削減に努める。
- ・ 循環器呼吸器病センターにおける医事業務（入院会計）の直営化を通じて、専門人材を育成するとともに、診療報酬請求漏れ等のチェック体制を強化することにより、経営改善や業務の効率化に向けた機構全体での検証を進めていく。
- ・ 医事業務や経営分析に係る研修を実施し、専門人材の育成に努め、経営改善に役立てていく。
- ・ 未収金の発生防止に取り組むとともに、弁護士法人等の未収金回収業務委託により、引き続き未収金の早期かつ効果的な回収に努める。
- ・ 診療報酬によらない料金について、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し、適時・適切な改定に努める。

[目標値]

病院名	令和3年度実績値					
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価
足柄上病院	4,073 人	58.1 %	13.8 日	59,686 円	85,348 人	13,875 円
こども医療センター	8,103 人	72.5 %	11.1 日	102,966 円	170,752 人	17,947 円
精神医療センター	1,342 人	78.8 %	69.1 日	28,426 円	54,863 人	8,151 円
がんセンター	10,755 人	74.7 %	10.5 日	84,401 円	257,114 人	40,350 円
循環器呼吸器病センター	3,923 人	54.2 %	11.0 日	72,896 円	86,518 人	27,804 円

※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。

※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。

病院名	令和5年度目標値					
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価
足柄上病院	4,200 人	80.0 %	14.2 日	52,987 円	90,000 人	14,276 円
こども医療センター	8,296 人	85.4 %	11.5 日	112,031 円	175,286 人	18,474 円
精神医療センター	1,300 人	90.1 %	81.0 日	25,849 円	59,049 人	7,813 円
がんセンター	12,078 人	86.0 %	10.9 日	85,034 円	270,943 人	40,452 円
循環器呼吸器病センター	4,287 人	81.6 %	11.9 日	68,692 円	92,546 人	28,037 円

※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。

※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。

区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値
給与費等負荷率	106.4%	95.3%

※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
後発医薬品採用率（数量ベース）	81.4%	80.0%

区分	令和3年度実績			令和5年度 目標値
	令和2年度 発生額	令和3年度 回収額	回収率	回収率
未収金の回収率	145,432 千円	115,906 千円	79.7%	91.0%

※令和2年度発生額及び令和3年度回収額には令和3年3月末日付入院料請求分を含む。

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

計画を確実に実施するために策定した経営改善アクションプランに基づき、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。

[目標値]

区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値
経常収支比率	105.0%	99.4%
医業収支比率	83.8%	88.3%
資金収支	+3,505,488千円	+477,949円
有利子長期負債	42,572,499千円	39,297,842千円

1 予算（人件費の見積りを含む。）（令和5年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税込）
収入	
営業収益	67,772
医業収益	57,436
運営費負担金収益	9,809
その他営業収益	528
営業外収益	1,151
運営費負担金収益	273
その他営業外収益	877
臨時利益	0
資本収入	3,935
長期借入金	2,306
運営費負担金収入	1,593
その他資本収入	37
その他の収入	0
計	72,858
支出	
営業費用	68,725
医業費用	66,493
給与費	28,566
材料費	18,553
経費	13,079
減価償却費	3,504
研究研修費	1,458
うち給与費	577
児童福祉施設費	1,333
うち給与費	973
一般管理費	600
うち給与費	465
その他営業費用	1,631
営業外費用	627
臨時損失	170
資本支出	6,416
建設改良費	2,616
償還金	3,742
その他資本支出	58
その他の支出	0
計	75,939

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

〔人件費の見積り〕

期間中総額30,580百万円を支出する（給与費の合計額）。なお、当該金額は、役員報酬並びに職員基本給、職員手当、退職給与金及び法定福利費等の額に相当するものである。

2 収支計画（令和5年度）

ア 県立病院機構全体

（単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	68,645
営業収益	67,545
医業収益	57,209
運営費負担金収益	9,809
その他営業収益	528
営業外収益	1,100
運営費負担金収益	273
その他営業外収益	826
臨時利益	0
支出の部	69,244
営業費用	68,449
医業費用	64,772
給与費	28,533
材料費	18,100
経費	11,924
減価償却費	3,504
研究研修費	1,398
うち給与費	576
児童福祉施設費	1,311
うち給与費	971
一般管理費	590
うち給与費	464
その他営業費用	3,087
営業外費用	627
臨時損失	169
純利益	△599
目的積立金取崩額	0
総利益	△599

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	99.4%
医業収支比率	88.3%
医業収益に対する給与費の比率	53.4%
給与費等負荷率	95.3%

イ 足柄上病院

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	6,883
営業収益	6,808
医業収益	5,465
運営費負担金収益	1,282
その他営業収益	60
営業外収益	75
運営費負担金収益	32
その他営業外収益	43
臨時利益	0
支出の部	7,515
営業費用	7,398
医業費用	7,150
給与費	4,023
材料費	1,307
経費	1,423
減価償却費	372
研究研修費	24
うち給与費	0
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	249
営業外費用	53
臨時損失	63
純利益	△632
目的積立金取崩額	0
総利益	△632

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	92.4%
医業収支比率	76.4%
医業収益に対する給与費の比率	73.6%
給与費等負荷率	116.9%

ウ こども医療センター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	19,904
営業収益	19,768
医業収益	16,298
運営費負担金収益	3,244
その他営業収益	226
営業外収益	136
運営費負担金収益	78
その他営業外収益	57
臨時利益	0
支出の部	19,221
営業費用	19,053
医業費用	18,272
給与費	8,928
材料費	4,422
経費	2,538
減価償却費	906
研究研修費	166
うち給与費	112
児童福祉施設費	1,311
うち給与費	971
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	781
営業外費用	143
臨時損失	25
純利益	683
目的積立金取崩額	0
総利益	683

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比	103.7%
医業収支比率	89.2%
医業収益に対する給与費の比率	61.4%
給与費等負荷率	96.7%

エ 精神医療センター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	5,176
営業収益	5,104
医業収益	3,289
運営費負担金収益	1,724
その他営業収益	91
営業外収益	72
運営費負担金収益	29
その他営業外収益	44
臨時利益	0
支出の部	5,163
営業費用	5,102
医業費用	4,991
給与費	3,574
材料費	280
経費	761
減価償却費	368
研究研修費	8
うち給与費	0
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	111
営業外費用	58
臨時損失	3
純利益	13
目的積立金取崩額	0
総利益	13

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	100.3%
医業収支比率	65.9%
医業収益に対する給与費の比率	108.7%
給与費等負荷率	130.5%

オ がんセンター（病院）

（単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	25,650
営業収益	25,453
医業収益	23,340
運営費負担金収益	2,020
その他営業収益	93
営業外収益	197
運営費負担金収益	83
その他営業外収益	114
臨時利益	0
支出の部	25,283
営業費用	25,081
医業費用	23,630
給与費	7,917
材料費	9,401
経費	4,331
減価償却費	871
研究研修費	1,110
うち給与費	405
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	1,451
営業外費用	172
臨時損失	29
純利益	368
目的積立金取崩額	0
総利益	368

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	101.6%
医業収支比率	98.8%
医業収益に対する給与費の比率	35.7%
給与費等負荷率	82.5%

カ がんセンター（重粒子線治療施設）

（単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	1,599
営業収益	1,566
医業収益	1,548
運営費負担金収益	0
その他営業収益	17
営業外収益	33
運営費負担金収益	33
その他営業外収益	0
臨時利益	0
支出の部	1,861
営業費用	1,788
医業費用	1,720
給与費	422
材料費	28
経費	669
減価償却費	601
研究研修費	0
うち給与費	0
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	68
営業外費用	67
臨時損失	6
純利益	△262
目的積立金取崩額	0
総利益	△262

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	86.2%
医業収支比率	90.0%
医業収益に対する給与費の比率	27.3%
給与費等負荷率	59.3%

キ 循環器呼吸器病センター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	8,888
営業収益	8,848
医業収益	7,269
運営費負担金収益	1,540
その他営業収益	39
営業外収益	40
運営費負担金収益	17
その他営業外収益	23
臨時利益	0
支出の部	8,845
営業費用	8,772
医業費用	8,369
給与費	3,509
材料費	2,662
経費	1,722
減価償却費	387
研究研修費	90
うち給与費	59
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	0
うち給与費	0
その他営業費用	403
営業外費用	31
臨時損失	42
純利益	43
目的積立金取崩額	0
総利益	43

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	101.0%
医業収支比率	86.9%
医業収益に対する給与費の比率	49.1%
給与費等負荷率	96.6%

ク 本部事務局

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	546
営業収益	0
医業収益	0
運営費負担金収益	0
その他営業収益	0
営業外収益	546
運営費負担金収益	0
その他営業外収益	546
臨時利益	0
支出の部	1,358
営業費用	1,254
医業費用	640
給与費	161
材料費	0
経費	479
減価償却費	0
研究研修費	0
うち給与費	0
児童福祉施設費	0
うち給与費	0
一般管理費	590
うち給与費	464
その他営業費用	24
営業外費用	104
臨時損失	0
純利益	△812
目的積立金取崩額	0
総利益	△812

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

3 資金計画（令和5年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税込）
資金収入	78,832
業務活動による収入	68,552
診療活動による収入	57,436
運営費負担金による収入	10,082
その他の業務活動による収入	1,034
投資活動による収入	1,629
運営費負担金による収入	1,593
その他の投資活動による収入	37
財務活動による収入	2,306
長期借入れによる収入	2,306
その他の財務活動による収入	0
前事業年度よりの繰越金	6,345
資金支出	78,832
業務活動による支出	65,593
給与費支出	30,004
研究研修費支出	1,458
その他の業務活動による支出	34,132
投資活動による支出	2,674
有形固定資産の取得による支出	2,616
その他の投資活動による支出	58
財務活動による支出	3,742
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,088
長期借入金の返済による支出	2,654
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	6,823

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

第5 短期借入金の限度額

1 限度額

3,000百万円

2 想定される短期借入金の発生理由

賞与の支給等、資金繰り資金への対応

第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

老朽化が進む足柄上病院2号館について、建替え等のため、除却に着手する。

第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。

第9 料金に関する事項

診療報酬の算定方法や実費額を勘案し、適切な料金設定をするなど、収益の確保に努める。

第10 その他業務運営に関する重要事項

1 人事に関する計画

【人員配置】

- ・ 質の高い医療の提供や医療ニーズの変化に対応するため、任期付職員や非常勤職員等の雇用を含めた医師の人材確保を進めるなど、必要な人員配置に努める。
- ・ 厳しい経営状況に鑑み、増員については、原則抑制するものとするが、費用を上回る収益が確実に見込まれる場合等は増員効果を十分に検証しながら個別に判断し、適正な人員配置に努めていく。

【やりがい・情報共有】

- ・ 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。
- ・ 働き方改革の取組みとしてタスクシフト・シェアや多職種によるチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を向上させる取組みを進める。
- ・ 職員の業務の運営に関する顕著な功績を推奨すべき業績に対して、表彰を実施することにより、職員のやりがいを高める。
- ・ 業務や経営改善などにつながる職員提案を受け入れるとともに、実現化に向けた検討を行う。

【働き方・人事・給与制度】

- ・ 勤務時間等に係るガイドラインに基づき、労働時間の適正管理や業務の改善等に努め、職員の長時間労働防止や健康維持・増進を図りつつ、時間外勤務の縮減を進める。また、勤怠管理システムを活用して、効果的・効率的な労働時間の適正管理を行う。
- ・ 医師の働き方改革について、令和6年4月に医師の時間外労働時間の上限規制が適用されることを踏まえ、各病院において勤怠管理システムを活用して、職員一人ひとりの健康維持、ワーク・ライフ・バランスの向上等に向けた働き方改革の取組みを推進する。また、各病院の医師を含む幹部職員等で構成した検討会において、病院間で共通する課題に対し、国等の動向を注視しながらルール作りをする等の解決策について検討を進める。
- ・ 国や都道府県、病院運営を行う独立行政法人等の人事・給与制度に係る情報収集等を行うとともに、目標達成に向けた職員の努力や創意工夫に報いる仕組みなど、適正な人事・給与制度の検討を進める。

[目標値]

区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
看護師の離職率	10.5%	9.0%
職員1人当たりの年次休暇取得日数	11.4日	15.0日

2 施設整備・修繕に係る計画の検討

- ・ 令和3年10月に策定した「地方独立行政法人神奈川県立病院機構施設修繕等アクションプラン」に基づき、計画的に施設の修繕等を進める。
- ・ 足柄上病院について、感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための実施設計及び既存の2号館の除却に着手する。(再掲)

3 積立金の処分に関する計画

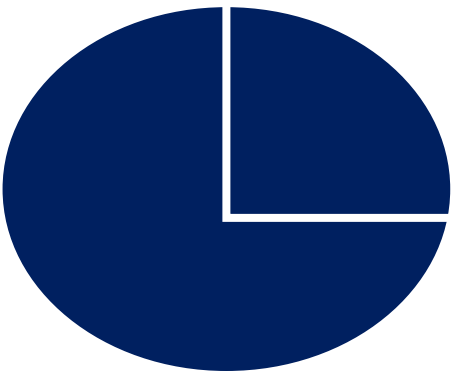
なし

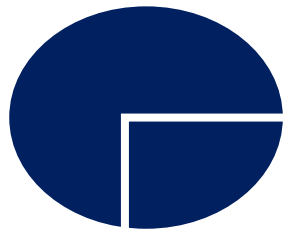


令和5年度年度計画について

令和5年3月

本部事務局総務企画部





令和5年度年度計画 策定スケジュール

2月

○第2回作業部会

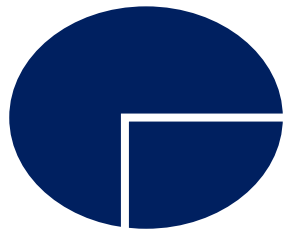
○素案報告（トップマネジメント会議、理事会）

3月

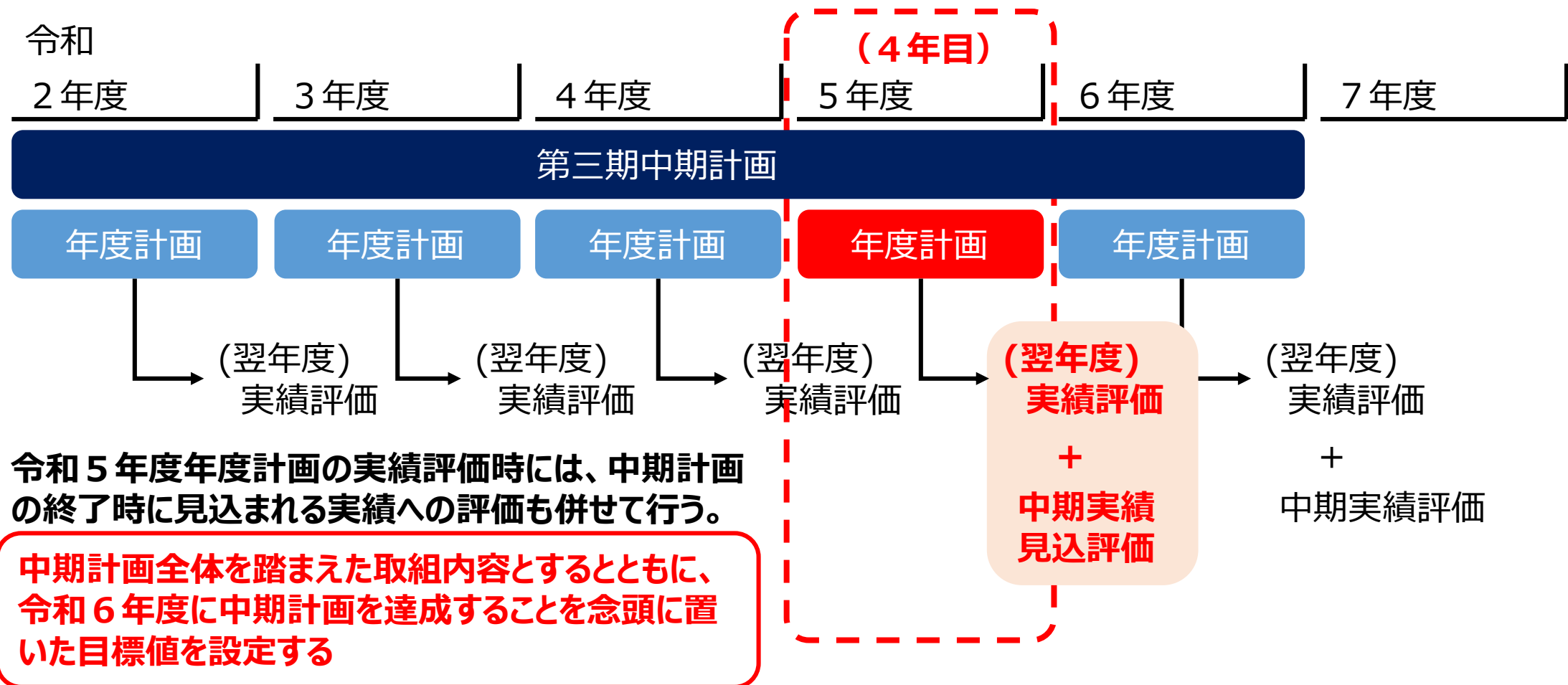
（内容調整）

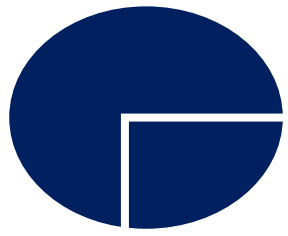
○計画決定（理事会による議決）

○神奈川県へ届出



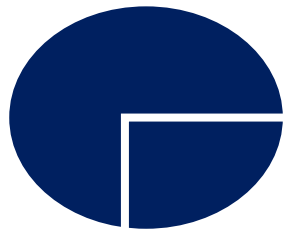
第三期中期計画との関係





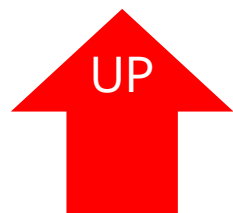
令和5年度年度計画のポイント

1. 目標値
2. 新型コロナウイルス感染症への対応
3. 公立病院経営強化プラン
4. 令和5年度予算との関係
5. 各病院・本部の取組み



1. 目標値

第三期中期計画において目標値を設定している項目の、令和5年度年度計画の目標値の設定については、これまでの実績等から次の3つの考え方により各病院及び本部において、目標値を検討した。



① 令和3年度実績及び令和4年度実績の見込みを踏まえた**上方修正**

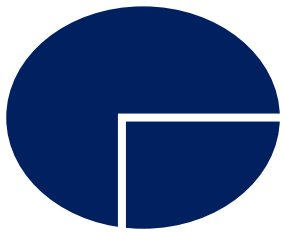


② 第三期中期計画策定時に見込んだ令和5年度時点の目標値【**基準**】



③ 治療や取組みの周辺状況が変化したことによる**下方修正**

※年度ごとに目標値を設定しているものについては、これまでの実績を基に設定。



① 目標値の上方修正

令和3年度実績及び令和4年度実績の見込みを踏まえ、目標値を上方修正しているもの

例) 手術件数等、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合、
入退院支援実施件数、手指消毒剤使用割合 など

○各病院の取組み

	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
<足柄上病院>				
手術件数(手術室で実施)	1,528件	1,824件	1,836件	1,800件
<こども医療センター>				
救急車による救急受入件数	470件	500件	520件	500件
<精神医療センター>				
クロザピンによる治療患者数	132人	124人	150人	136人
r-TMSによる治療患者数	16人	14人	20人	17人
訪問看護件数	3,001件	2,600件	2,700件	2,650件
<がんセンター>				
外来化学療法実施件数	27,074件	26,800件	27,000件	25,400件
放射線治療件数	1,325件	1,400件	1,500件	1,400件
緩和ケア実施件数	1,013件	740件	770件	740件
漢方サポートセンター外来患者数	4,939人	4,300人	4,800人	3,680人

○ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合

	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
精神医療センター	2.4%	1.6%	2.0%	1.8%
がんセンター	3.2%	3.5%	3.8%	3.5%

○入退院支援実施件数

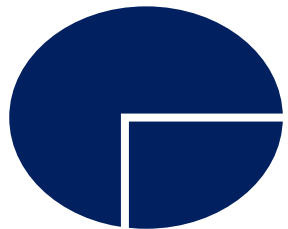
	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
こども医療センター	2,539件	1,500件	2,600件	1,500件

○入院時支援実施件数

	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
がんセンター	952件	1,000件	1,000件	750件

○手指消毒剤使用割合

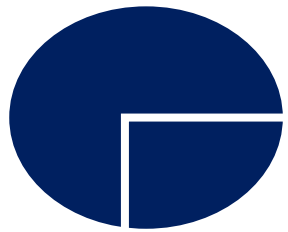
	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
こども医療センター	39.3ml	24.0ml	40.0ml	26.0ml
精神医療センター	8.1ml	3.4ml	5.0ml	4.2ml
循環器呼吸器病センター	34.0ml	16.0ml	20.0ml	18.0ml



②中期計画策定時の目標値を設定

第三期中期計画の策定時に見込んだ各年度の目標値を、令和5年度年度計画の目標値として設定しているもの

病院名	主な項目
足柄上病院	救急車による救急受入件数、内視鏡センター実施件数、急性期病棟における在宅復帰率、地域包括ケア病棟における在宅復帰率、逆紹介件数・逆紹介率、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合、手指消毒剤使用割合 など
こども医療センター	手術件数、NICU新規入院患者数、小児がん患者新規入院患者数、緩和ケア実施件数、リハビリテーション件数
精神医療センター	救急病棟入院延患者数、退院後3か月以内に再入院した患者の割合
がんセンター	紹介件数・紹介率、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合
循環器呼吸器病センター	外来化学療法実施件数、リハビリテーション件数、間質性肺炎新規外来患者数、紹介件数・紹介率、手指消毒剤使用割合

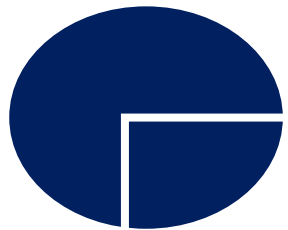


③目標値の下方修正（調整後）

第三期中期計画の策定時に見込んだ各年度の目標値に対し、治療の実績や周辺状況の変化によりやむを得ず目標値を下方修正しているもの。

○各病院の取組み

	令和3年度実績	令和4年度目標値	令和5年度目標値 (案)	(参考) 中期計画策定時の 令和5年度目標見込み
<足柄上病院>				
治験受託件数	3件	4件	1件	4件
<精神医療センター>				
依存症に関する研修等普及 啓発活動実施回数	3回	32回	40回	59回
<がんセンター>				
重粒子線治療件数	527件	620件	764件	800件
リハビリテーション件数	21,649件	23,000件	26,000件	26,900件

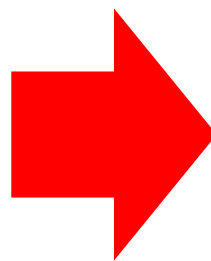


2. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症への対応については、これまで5病院すべてが神奈川モデル認定医療機関として感染患者の受入れを行っていたが、令和5年5月8日に5類感染症への移行が予定されていることを踏まえ、内容を更新する。

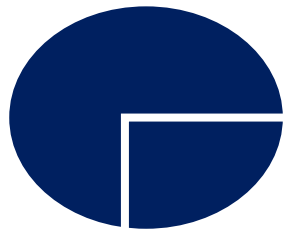
令和4年度年度計画での記載

- 各病院の取組み
【新型コロナウイルス感染症対応】として、各病院ごとに記載している。
- 感染症医療への対応
各認定医療機関としての取組みのほか、会議やワーキングを通じた状況や課題の把握について特に記載している。



令和5年度年度計画での記載の方向性

- 各病院の取組み
各病院の取組みから【新型コロナウイルス感染症対応】の**項目を削除**
- 感染症医療への対応
各認定医療機関としての取組みを削除。
機構全体としての対応を記載。

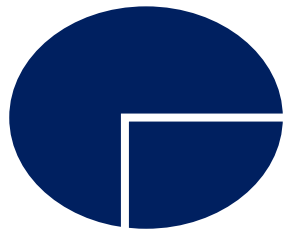


3. 公立病院経営強化プランについて

令和5年度公立病院経営強化プランとして補足する内容のうち、現時点において取組み可能なものについては、令和5年度年度計画に先行して反映させる。

○年度計画に追加する内容

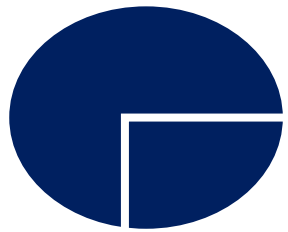
- 令和7年（2025年）及び経営強化プランの最終年度における機能ごとの病床数
- 機構の病院が担う役割・機能に関する住民の理解のための取組みの記載
- 平時から新興感染症等の感染拡大時の対応に必要な機能を備えておくことについての記載
- デジタル化への対応（マイナンバーカード、遠隔診療、音声入力等の活用及び情報セキュリティ対策）
- 基幹病院における医師・看護師等の派遣についての記載



4. 令和5年度予算との関係

令和5年度年度計画のうち、各病院及び機構全体の経営に係る目標値、資金計画、収支計画については、令和5年度予算と整合させている。【所管：財務部】

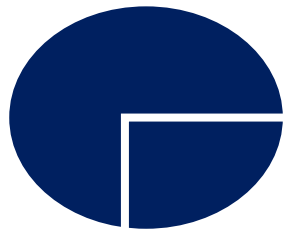
区分	目標値等
病院の経営に係る目標値	新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、入院単価、外来延患者数、外来単価 など
機構全体の経営に係る目標値	経常収支比率、医業収支比率、資金収支、有利子長期負債 など
その他	予算、資金計画、収支計画



5. 各病院・本部の取組み-1

その他、令和5年度の新たな取組として、次の内容を追加している。

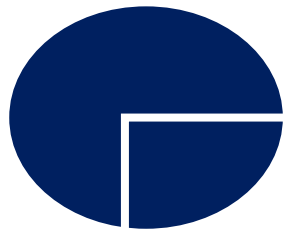
病院・所属	取組み
足柄上病院	小田原市立病院との「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」に基づく定例会議の開催や合同災害訓練の実施等
	地域の医療機関を対象とした看護師の特定行為研修の実施
	老朽化が進む足柄上病院2号館の建替え等のための除却の着手
こども医療センター	医療的ケア研修や相談窓口などを通じた地域の支援者のスキル向上の支援や不安軽減、地域における医療的ケア児のスムーズな受入れ
	医師主導治験への参加
	病院機能評価（一般病院2）の令和6年度更新に向けた準備
精神医療センター	依存症医療支援者研修等による県内の依存症治療の提供体制の強化
	性的マイノリティの依存症患者を対象とした外来の設置
	抗精神病薬と認知機能リハビリテーションの併用による認知機能への影響に係る多機関共同研究への参加
	厚生労働省の「心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業」による他医療機関の医師、看護師等からの評価



5. 各病院・本部の取組み-2

その他、令和5年度の新たな取組として、次の内容を追加している。

病院・所属	取組み
がんセンター	保険適用外も含めた遺伝子パネル検査の提供
	A Y A世代のがんの支援体制の整備
	緊急緩和ケア病床の確保などによる地域との連携の強化、在宅療養への移行の推進
	研究支援センターの設置による公的外部資金の獲得及び英文論文の作成を推進
	「A I 遺伝カウンセラー」の臨床導入の推進
	病院機能評価（一般病院3）の認定のための審査の受審
	がん情報センターの設置及び県民のニーズに応じたがんに関する情報のホームページでの効果的な発信
循環器呼吸器病センター	呼吸器感染症患者の受入れ、治験や臨床研究の推進
	間質性肺疾患の診断、並びに予後や疾患進行を予測するA Iを構築する多機関共同研究への参加
こども医療センター・循環器呼吸器病センター	A Y A世代の成人期に達した先天性心疾患患者のフォローアップ体制の整備



5. 各病院・本部の取組み-3

その他、令和5年度の新たな取組として、次の内容を追加している。

病院・所属	取組み
本部（機構全体）	競争的研究費等に係る不正防止計画の策定、研究費執行マニュアル及びコンプライアンス教育実施計画の運用
	足柄上病院と循環器呼吸器病センターのホームページリニューアル（全ての病院におけるリニューアルの完了）
	医療情報システムのセキュリティ対策の強化
	次年度の診療報酬改定に向けた早期の情報収集等
	エネルギー価格高騰に対応する蛍光灯のLED化、電気料等の経費削減への努力
	医師の働き方改革における各病院での勤怠管理システムを活用した、職員一人ひとりの健康維持、ワーク・ライフ・バランスの向上等に向けた働き方改革の取組みの推進

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>前文</p> <p>地方独立行政法人神奈川県立病院機構(以下「病院機構」という。)は、平成22年度の法人設立以降、設置者である神奈川県が指示した中期目標に基づき、運営する5病院(神奈川県立足柄上病院(以下「足柄上病院」という。)、神奈川県立こども医療センター(以下「こども医療センター」という。)、神奈川県立精神医療センター(以下「精神医療センター」という。)、神奈川県立がんセンター(以下「がんセンター」という。))及び神奈川県立循環器呼吸器病センター(以下「循環器呼吸器病センター」という。))において、①高度・専門医療の提供、研究開発、②広域的な対応が必要な救急医療、災害時医療、感染症医療等の提供、③地域だけでは実施が困難な医療の提供、④医療従事者の人材育成などの役割を果たしている。</p> <p>第一期から第二期にかけて、がんセンター及び精神医療センターの新築移転や重粒子線治療施設の開棟、こども医療センターの周産期棟改修等の施設整備を行いながら、医療人材の確保、地域の医療機関との連携、研究開発機能の強化等を進め、県立病院に求められる機能や役割を果たしてきたところである。一方、経営状況の面では、地域の医療機関との連</p>	<p>前文</p> <p>平成22年4月に設立された地方独立行政法人神奈川県立病院機構(以下「県立病院機構」という。)は、神奈川県における保健医療施策として求められる高度・専門医療等の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とした法人である。</p> <p>県立病院機構が策定した第三期中期計画においては、引き続き中期目標で求められている県立病院としての役割を果たし、安全・安心で質の高い医療を提供していくとともに、経営基盤の強化・安定化に取り組んでいくことを掲げている。また、人口構造や疾病構造の変化に伴い多様化する医療ニーズや医療を取り巻く環境の変化を踏まえた適切な対応を図っていくことや将来にわたって役割を果たしていくため、各病院の機能や地域における役割について検討を行うことなども掲げている。</p> <p>第三期中期計画期間の3年目である令和4年度は、中期計画を着実に達成するため、</p> <p>① 人材の確保と育成、地域の医療機関等との機能分化・連携強化、臨床研究の推進</p>	<p>前文</p> <p>平成22年4月に設立された地方独立行政法人神奈川県立病院機構(以下「県立病院機構」という。)は、神奈川県における保健医療施策として求められる高度・専門医療等の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とした法人である。</p> <p>県立病院機構が策定した第三期中期計画においては、引き続き中期目標で求められている県立病院としての役割を果たし、安全・安心で質の高い医療を提供していくとともに、経営基盤の強化・安定化に取り組んでいくことを掲げている。また、人口構造や疾病構造の変化に伴い多様化する医療ニーズや医療を取り巻く環境の変化を踏まえた適切な対応を図っていくことや将来にわたって役割を果たしていくため、各病院の機能や地域における役割について検討を行うことなども掲げている。</p> <p>第三期中期計画期間の4年目である令和5年度は、中期計画を着実に達成するため、</p> <p>① 人材の確保と育成、地域の医療機関等との機能分化・連携強化、臨床研究の推進</p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																								
<p>携強化により、新規患者の増加を図るなど、収益の確保に努めているものの、費用の増加が収益の増加を大幅に上回り、第二期は3年連続で20億円以上の経常損失となっており、経営基盤の強化が早急に必要となっている。</p> <p>このことを踏まえ、第三期においては、引き続き県立病院としての役割を果たし、安全・安心で質の高い医療を提供していくとともに、経営基盤の強化・安定化に取り組んでいく。また、期間中に見込まれる、人口構造や疾病構造の変化に伴い多様化する医療ニーズや医療を取り巻く環境の変化を踏まえた適切な対応を図っていく。さらに、より長期的な視点を持ちつつ、将来にわたって役割を果たしていくため、各病院の機能や地域における役割について検討を行う。</p> <p>病院機構においては、次のような取組みを進める。</p> <p>（足柄上病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地域の中核的な総合病院として、救急医療など地域の医療ニーズに沿った医療を提供するとともに、第二種感染症指定医療機関やエイズ治療拠点病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院としての役割を担う。 	<p>などの基盤整備を行いながら、質の高い医療の提供や充実強化に取り組むこと。</p> <p>② 医療安全対策の推進、患者満足度の向上と患者支援の充実、第三者評価の活用などにより、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。</p> <p>③ 業務運営の改善及び効率化、収益の確保及び費用の節減などにより財務内容の改善に取り組んでいくこと。</p> <p>などを重点的な取組みとして掲げている。このように県立病院としての役割を果たしながら、様々な経営指標等を活用してPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていくことを目指していく。</p>	<p>などの基盤整備を行いながら、質の高い医療の提供や充実強化に取り組むこと。</p> <p>② 医療安全対策の推進、患者満足度の向上と患者支援の充実、第三者評価の活用などにより、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。</p> <p>③ 業務運営の改善及び効率化、収益の確保及び費用の節減などにより財務内容の改善に取り組んでいくこと。</p> <p>などを重点的な取組みとして掲げている。このように県立病院としての役割を果たしながら、様々な経営指標等を活用してPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていくことを目指していく。</p> <p>各病院の許可病床数（令和5年4月1日時点）</p> <table border="1" data-bbox="1473 965 2132 1449"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">一般病床</th> <th rowspan="2">結核病床</th> <th rowspan="2">精神病床</th> <th rowspan="2">感染症病床</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">（参考）令和7年時点</th> </tr> <tr> <th>高度急性期</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一般病床				結核病床	精神病床	感染症病床	合計	（参考）令和7年時点	高度急性期	急性期	回復期	慢性期										
	一般病床				結核病床	精神病床	感染症病床						合計	（参考）令和7年時点												
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期																						

第三期中期計画	令和4年度計画		令和5年度計画（案）								
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム¹⁾の推進を支援するため、地域医療支援病院²⁾の承認を目指す。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門総合病院として、高度・専門医療を提供する。 小児がん拠点病院や総合周産期母子医療センター、アレルギー疾患医療拠点病院としての役割を担う。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県における精神科中核病院として、高度・専門医療、精神科救急・急性期医療の提供を行う。 依存症治療拠点機関として、県内の依存症医療の強化を図る。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県がん診療連携拠点病院として、がん医療の質の向上に努めるとともに、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、より高度な医療を提供するため、特定機能病院³⁾の承認を目指す。 最新のがんゲノム医療や重粒子線治療など、高度で先進的ながん医療を提供する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器・呼吸器病の専門病院として、循環器及び呼吸器全般について、総合的な 		足柄上病院	46	$\frac{18}{4}$	60	=	=	=	6	$\frac{29}{6}$	$\frac{29}{6}$
		こども医療センター	86	$\frac{21}{4}$	50	40	=	=	=	$\frac{39}{0}$	$\frac{39}{0}$
		精神医療センター	=	=	=	=	=	$\frac{32}{3}$	=	$\frac{32}{3}$	$\frac{32}{3}$
		がんセン	24	$\frac{37}{1}$	=	20	=	=	=	$\frac{41}{5}$	$\frac{41}{5}$

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																								
<p>医療を提供するとともに、間質性肺炎といった呼吸器分野の難病患者等に対して、多職種によるチーム医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核指定医療機関として、結核医療を実施する。 <p>（本部）</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院機構の本部として、医療ニーズや医療環境の変化等に応じて、各病院が役割を果たせるよう、必要な人材の確保及び育成、働き方改革への対応、医療機器や施設などの計画的な整備、適切な予算編成、ICTを活用した効率的な業務運営、病院間の連携の促進などを通して、各病院の運営支援を行う。 <p>今後、本部と各病院が一体となって、医療人材の確保と育成、臨床研究の推進、医療安全対策や災害時の医療提供、各病院の連携の推進などに取り組み、指標等を活用しながらPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていく。</p> <p>このような観点から、神奈川県から指示された、地方独立行政法人神奈川県立病院機構第三期中期目標を達成するための中期計画を、次のとおり定める。</p> <p>第1 中期計画の期間</p>	<p>第1 計画の期間</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1471 145 1541 244">タニ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1471 244 1541 778">循環器呼吸器病センター</td> <td data-bbox="1541 244 1606 778">6</td> <td data-bbox="1606 244 1671 778">$\frac{17}{3}$</td> <td data-bbox="1671 244 1736 778">=</td> <td data-bbox="1736 244 1800 778">=</td> <td data-bbox="1800 244 1865 778"><u>60</u></td> <td data-bbox="1865 244 1930 778">=</td> <td data-bbox="1930 244 1995 778">=</td> <td data-bbox="1995 244 2060 778">$\frac{23}{9}$</td> <td data-bbox="2060 244 2125 778">$\frac{23}{9}$</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第1 計画の期間</p>	タニ												循環器呼吸器病センター	6	$\frac{17}{3}$	=	=	<u>60</u>	=	=	$\frac{23}{9}$	$\frac{23}{9}$		
タニ																										
循環器呼吸器病センター	6	$\frac{17}{3}$	=	=	<u>60</u>	=	=	$\frac{23}{9}$	$\frac{23}{9}$																	

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間とする。	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間とする。	令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間とする。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																								
<p>携強化により、新規患者の増加を図るなど、収益の確保に努めているものの、費用の増加が収益の増加を大幅に上回り、第二期は3年連続で20億円以上の経常損失となっており、経営基盤の強化が早急に必要となっている。</p> <p>このことを踏まえ、第三期においては、引き続き県立病院としての役割を果たし、安全・安心で質の高い医療を提供していくとともに、経営基盤の強化・安定化に取り組んでいく。また、期間中に見込まれる、人口構造や疾病構造の変化に伴い多様化する医療ニーズや医療を取り巻く環境の変化を踏まえた適切な対応を図っていく。さらに、より長期的な視点を持ちつつ、将来にわたって役割を果たしていくため、各病院の機能や地域における役割について検討を行う。</p> <p>病院機構においては、次のような取組みを進める。</p> <p>（足柄上病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地域の中核的な総合病院として、救急医療など地域の医療ニーズに沿った医療を提供するとともに、第二種感染症指定医療機関やエイズ治療拠点病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院としての役割を担う。 	<p>などの基盤整備を行いながら、質の高い医療の提供や充実強化に取り組むこと。</p> <p>② 医療安全対策の推進、患者満足度の向上と患者支援の充実、第三者評価の活用などにより、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。</p> <p>③ 業務運営の改善及び効率化、収益の確保及び費用の節減などにより財務内容の改善に取り組んでいくこと。</p> <p>などを重点的な取組みとして掲げている。このように県立病院としての役割を果たしながら、様々な経営指標等を活用してPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていくことを目指していく。</p>	<p>などの基盤整備を行いながら、質の高い医療の提供や充実強化に取り組むこと。</p> <p>② 医療安全対策の推進、患者満足度の向上と患者支援の充実、第三者評価の活用などにより、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。</p> <p>③ 業務運営の改善及び効率化、収益の確保及び費用の節減などにより財務内容の改善に取り組んでいくこと。</p> <p>などを重点的な取組みとして掲げている。このように県立病院としての役割を果たしながら、様々な経営指標等を活用してPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていくことを目指していく。</p> <p>各病院の許可病床数（令和5年4月1日時点）</p> <table border="1" data-bbox="1473 965 2130 1450"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">一般病床</th> <th rowspan="2">結核病床</th> <th rowspan="2">精神病床</th> <th rowspan="2">感染症病床</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">（参考）令和7年時点</th> </tr> <tr> <th>高度急性期</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一般病床				結核病床	精神病床	感染症病床	合計	（参考）令和7年時点	高度急性期	急性期	回復期	慢性期										
	一般病床				結核病床	精神病床	感染症病床						合計	（参考）令和7年時点												
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期																						

第三期中期計画	令和4年度計画		令和5年度計画（案）								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステム¹⁾の推進を支援するため、地域医療支援病院²⁾の承認を目指す。 (こども医療センター) ・ 小児専門総合病院として、高度・専門医療を提供する。 ・ 小児がん拠点病院や総合周産期母子医療センター、アレルギー疾患医療拠点病院としての役割を担う。 (精神医療センター) ・ 神奈川県における精神科中核病院として、高度・専門医療、精神科救急・急性期医療の提供を行う。 ・ 依存症治療拠点機関として、県内の依存症医療の強化を図る。 (がんセンター) ・ 都道府県がん診療連携拠点病院として、がん医療の質の向上に努めるとともに、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、より高度な医療を提供するため、特定機能病院³⁾の承認を目指す。 ・ 最新のがんゲノム医療や重粒子線治療など、高度で先進的ながん医療を提供する。 (循環器呼吸器病センター) ・ 循環器・呼吸器病の専門病院として、循環器及び呼吸器全般について、総合的な 		足柄上病院	46	$\frac{18}{4}$	60	=	=	=	6	$\frac{29}{6}$	$\frac{29}{6}$
		こども医療センター	86	$\frac{21}{4}$	50	40	=	=	=	$\frac{39}{0}$	$\frac{39}{0}$
		精神医療センター	=	=	=	=	=	$\frac{32}{3}$	=	$\frac{32}{3}$	$\frac{32}{3}$
		がんセン	24	$\frac{37}{1}$	=	20	=	=	=	$\frac{41}{5}$	$\frac{41}{5}$

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																						
<p>医療を提供するとともに、間質性肺炎といった呼吸器分野の難病患者等に対して、多職種によるチーム医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核指定医療機関として、結核医療を実施する。 <p>（本部）</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院機構の本部として、医療ニーズや医療環境の変化等に応じて、各病院が役割を果たせるよう、必要な人材の確保及び育成、働き方改革への対応、医療機器や施設などの計画的な整備、適切な予算編成、ICTを活用した効率的な業務運営、病院間の連携の促進などを通して、各病院の運営支援を行う。 <p>今後、本部と各病院が一体となって、医療人材の確保と育成、臨床研究の推進、医療安全対策や災害時の医療提供、各病院の連携の推進などに取り組み、指標等を活用しながらPDCAサイクルを適切に機能させ、質の高い医療の提供を安定的に行っていく。</p> <p>このような観点から、神奈川県から指示された、地方独立行政法人神奈川県立病院機構第三期中期目標を達成するための中期計画を、次のとおり定める。</p> <p>第1 中期計画の期間</p>	<p>第1 計画の期間</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1469 145 1541 244">タニ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1469 244 1541 775">循環器呼吸器病センター</td> <td data-bbox="1541 244 1606 775">6</td> <td data-bbox="1606 244 1671 775">$\frac{17}{3}$</td> <td data-bbox="1671 244 1736 775">=</td> <td data-bbox="1736 244 1800 775">=</td> <td data-bbox="1800 244 1865 775"><u>60</u></td> <td data-bbox="1865 244 1930 775">=</td> <td data-bbox="1930 244 1995 775">=</td> <td data-bbox="1995 244 2060 775">$\frac{23}{9}$</td> <td data-bbox="2060 244 2125 775">$\frac{23}{9}$</td> <td></td> </tr> </table> <p>第1 計画の期間</p>	タニ											循環器呼吸器病センター	6	$\frac{17}{3}$	=	=	<u>60</u>	=	=	$\frac{23}{9}$	$\frac{23}{9}$	
タニ																								
循環器呼吸器病センター	6	$\frac{17}{3}$	=	=	<u>60</u>	=	=	$\frac{23}{9}$	$\frac{23}{9}$															

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間とする。	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間とする。	令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間とする。

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地域の中核的な総合病院として、引き続き救急医療を提供するほか、高齢化の著しい進展に対応し、県内の総合診療科の取組みをけん引している強みを生かし、地域ニーズに沿った医療の提供を充実させる。 ・ 感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等の調査・検討を進め、将来の医療需要を踏まえた医療提供体制の構築を目指す。 ・ 内視鏡や人工関節といった専門的分野のセンター化など、医療ニーズが高い部門の強化を図る。 	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院</p> <p>【地域ニーズに沿った医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防本部と連携を強化しながら、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。 ・ 高齢化の著しい進展に対応し、複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療、生活機能障害に対するケアなどの総合診療に積極的に取り組むとともに、新専門医制度における基幹施設(病院)として総合診療医等の育成に引き続き努めていく。 ・ 感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための基本設計及び既存の2号館の除却に向けた実施設計などを進める。 	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院</p> <p>【地域ニーズに沿った医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防本部と連携を強化しながら、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。 ・ 高齢化の著しい進展に対応し、複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療、生活機能障害に対するケアなどの総合診療に積極的に取り組むとともに、新専門医制度における基幹施設(病院)として総合診療医等の育成に引き続き努めていく。 ・ 感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための実施設計及び既存の2号館の除却に着手する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産科医療や小児科医療について、小田原市立病院と連携しながら、地域のニーズを踏まえた医療等を提供する。 ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として専門的な感染症医療や、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対する医療を適切に提供する。 ・ 災害拠点病院及び神奈川DMA T指定病院としての体制を充実強化する。 ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 ・ 地域包括ケアシステムの推進を支援するため、地域医療支援病院の承認を目指すとともに、地域の医療機関や在宅療養を支援する機関との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内視鏡センター及び人工関節センターを広く周知し、地域の医療ニーズに応えていく。 ・ 骨粗しょう症やサルコペニアが進行し、関節疾患や大腿骨近位部を骨折する高齢患者が増加していることから、日常生活に必要な運動機能や認知機能を維持するため、ロコモ、フレイルを改善する治療を進める。 ・ 分べんについては、令和2年10月に締結した「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、小田原市立病院への集約化を図る。 ・ 小児医療については、通常の小児外来診療を引き続き実施するほか、市町の乳幼児健診や小児予防接種などに積極的に協力する。 <p>【感染症医療・災害時医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行うほか、新型コロナウイルス感染症にか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内視鏡センター及び人工関節センターを広く周知し、地域の医療ニーズに応えていく。 ・ 骨粗しょう症やサルコペニアが進行し、関節疾患や大腿骨近位部を骨折する高齢患者が増加していることから、日常生活に必要な運動機能や認知機能を維持するため、ロコモ、フレイルを改善する治療を進める。 ・ 分べんについては、令和2年10月に締結した「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、小田原市立病院への集約化を図る。 ・ 小児医療については、通常の小児外来診療を引き続き実施するほか、市町の乳幼児健診や小児予防接種などに積極的に協力する。 ・ <u>医師が不足している中小病院等に対し、積極的に医師派遣を行うことで、地域全体の医療提供体制を確保できるように取り組む。</u> <p>【感染症医療・災害時医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行うほか、新型コロナウイルス感染症にか

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<p>かる重点医療機関として、感染症患者の受入れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西二次保健医療圏における災害拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。 <p>・ 神奈川DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。</p> <p>【医療従事者の研修受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、看護師、薬剤師及び管理栄養士など、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 <p>【地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟で症状が安定した患者が、退院後に自宅で療養生活を続けられるよう、 	<p>かる重点医療機関として、感染症患者の受入れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西二次保健医療圏における災害拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。 ・ <u>令和4年度末に、小田原市立病院との間で締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」に基づき、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。</u> <p>・ 神奈川DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。</p> <p>【医療従事者の研修受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、看護師、薬剤師及び管理栄養士など、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 ・ <u>看護師の特定行為研修については、地域の医療機関を対象とした研修を実施する。</u> <p>【地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟で症状が安定した患者が、退院後に自宅で療養生活を続けられるよう、

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																																																						
	<p>地域包括ケア病棟で、リハビリや退院に向けたサポートを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを推進し、地域医療の充実を図るため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状急変時に24時間対応できるよう、受入体制を整える。 地域医療支援病院として、かかりつけ医の支援、地域医療従事者の研修、施設の共同利用など、地域医療の充実を図る。 	<p>地域包括ケア病棟で、リハビリや退院に向けたサポートを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを推進し、地域医療の充実を図るため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状急変時に24時間対応できるよう、受入体制を整える。 地域医療支援病院として、かかりつけ医の支援、地域医療従事者の研修、施設の共同利用など、地域医療の充実を図る。 																																																						
<p>[目標値]</p>	<p>[目標値]</p>	<p>[目標値]</p>																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>1,804件</td> <td>1,850件</td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>93.4%</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>3,496件</td> <td>3,400件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）</td> <td>4,202件</td> <td>5,000件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数</td> <td>1,404件</td> <td>1,500件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値	手術件数（手術室で実施）	1,804件	1,850件	救急受入率	93.4%	95.0%	救急車による救急受入件数	3,496件	3,400件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	4,202件	5,000件	内視鏡センター実施件数	1,404件	1,500件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和4年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>1,190件</td> <td>1,824件</td> </tr> <tr> <td>うち手術件数（全身麻酔）</td> <td>719件</td> <td>1,246件</td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>83.9%</td> <td>94.0%</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>1,880件</td> <td>3,300件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数</td> <td>2,633件</td> <td>4,800件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値	手術件数（手術室で実施）	1,190件	1,824件	うち手術件数（全身麻酔）	719件	1,246件	救急受入率	83.9%	94.0%	救急車による救急受入件数	1,880件	3,300件	内視鏡センター実施件数	2,633件	4,800件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>1,528件</td> <td><u>1,836件</u></td> </tr> <tr> <td>うち全身麻酔</td> <td>1,037件</td> <td><u>1,255件</u></td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>83.2%</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>2,692件</td> <td>3,400件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数</td> <td>3,294件</td> <td>4,900件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	手術件数（手術室で実施）	1,528件	<u>1,836件</u>	うち全身麻酔	1,037件	<u>1,255件</u>	救急受入率	83.2%	95.0%	救急車による救急受入件数	2,692件	3,400件	内視鏡センター実施件数	3,294件	4,900件
区分	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値																																																						
手術件数（手術室で実施）	1,804件	1,850件																																																						
救急受入率	93.4%	95.0%																																																						
救急車による救急受入件数	3,496件	3,400件																																																						
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	4,202件	5,000件																																																						
内視鏡センター実施件数	1,404件	1,500件																																																						
区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値																																																						
手術件数（手術室で実施）	1,190件	1,824件																																																						
うち手術件数（全身麻酔）	719件	1,246件																																																						
救急受入率	83.9%	94.0%																																																						
救急車による救急受入件数	1,880件	3,300件																																																						
内視鏡センター実施件数	2,633件	4,800件																																																						
区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																																																						
手術件数（手術室で実施）	1,528件	<u>1,836件</u>																																																						
うち全身麻酔	1,037件	<u>1,255件</u>																																																						
救急受入率	83.2%	95.0%																																																						
救急車による救急受入件数	2,692件	3,400件																																																						
内視鏡センター実施件数	3,294件	4,900件																																																						

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
（消化器内視鏡治療件数）			（消化器内視鏡検査件数）			（消化器内視鏡検査件数）		
人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	76件	130件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	895件	1,400件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	1,078件	1,450件
急性期病棟における在宅復帰率	92.6%	92.0%	人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	55件	114件	人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	63件	122件
地域包括ケア病棟における在宅復帰率	78.3%	79.0%	急性期病棟における在宅復帰率	87.3%	92.0%	急性期病棟における在宅復帰率	86.7%	92.0%
軽症在宅加療パスを利用した患者数（累計）	72人	250人	地域包括ケア病棟における在宅復帰率	58.8%	79.0%	地域包括ケア病棟における在宅復帰率	90.2%	79.0%
			軽症在宅加療パスを利用した患者数（累計）	86人	190人	軽症在宅加療パスを利用した患者数（累計）	88人	220人

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(2) こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内唯一の小児専門総合病院として、小児の心疾患や先天性異常などに対する手術や難治性疾患等に対する高度・専門医療を実施する。 国内でも有数の、福祉施設を併設した小児専門総合病院として、福祉施設によるレスパイトケア等を含め、医療的ケアの必要な患者を積極的に受け入れる。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療に取り組むとともに、AYA世代のがん患者に対しても、がんセンターや小児がん連携病院等と連携を図りながら、適切に医療や支援を行う。 高度な特殊・専門医療が必要な小児三次救急を実施するとともに、総合周産期母子医療センターとして、積極的に重症患者を受け入れる。 アレルギー疾患医療拠点病院として、アレルギーセンターを設置するなど、地域の医療機関と連携し、難病や希少疾患等の診療や情報提供、人材育成等を実施する。また、専門的な判断が求められる児童虐待の早期発見や対応については、地域 	<p>(2) こども医療センター</p> <p>【小児専門医療・救急医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門総合病院として、難易度の高い手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療を積極的に実施する。 レスパイトケアの推進とともに、他施設・病院の指導的役割を担いながら、社会ニーズや障害児支援施策の変化に対応した福祉施設の運営を図る。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療を提供するとともに、栄養支援やリハビリテーション支援を実施する。また、晩期合併症の早期発見や対応、自立支援を目的とした長期的なフォローアップに努める。 AYA世代のがん患者に対する入院療養環境や相談窓口の充実を行うとともに、小児がん連携病院やがんセンターとも連携を図り、支援の質の向上に努める。また、各種研修会やイベントを開催し、医療従事者の資質向上及び県民への普及啓発を図る。 発達状況の評価を継続的に行い、障害の早期発見に努め、必要に応じてリハビリテーションの導入や保護者の支援を行 	<p>(2) こども医療センター</p> <p>【小児専門医療・救急医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門総合病院として、難易度の高い手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療を積極的に実施する。 レスパイトケアの推進とともに、他施設・病院の指導的役割を担いながら、社会ニーズや障害児支援施策の変化に対応した福祉施設の運営を図る。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療を提供するとともに、栄養支援やリハビリテーション支援を実施する。また、晩期合併症の早期発見や対応、自立支援を目的とした長期的なフォローアップに努める。 AYA世代のがん患者に対する入院療養環境や相談窓口の充実を行うとともに、小児がん連携病院やがんセンターとも連携を図り、支援の質の向上に努める。また、各種研修会やイベントを開催し、医療従事者の資質向上及び県民への普及啓発を図る。 発達状況の評価を継続的に行い、障害の早期発見に努め、必要に応じてリハビリテーションの導入や保護者の支援を行

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>の医療機関や行政機関等と連携し、役割を担っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の総合的な緩和ケアを推進するとともに、医療的ケアの必要な患者の退院在宅支援を円滑に行うため、入退院支援体制の整備を行う。また、研修の実施などを通じ、地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上への支援を行うとともに、連携を強化する。 成人移行期医療については、成長に伴い変化する患者ニーズに対応するため、成人移行期外来において、自立支援や成人期の医療機関との連携を行う。 	<p>う。また、行政や民間の療育に関する情報提供や、必要に応じて療育機関と連携を図ることで、地域で療育が受けられる体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の各救命救急センターと引き続き連携し、高度及び特殊・専門的医療が必要な小児三次救急を実施する。 令和元年度に増床や人員増を伴う体制強化を行ったNICU及びGCUを広報するとともに、低出生体重児、極低出生体重児、先天性疾患などの重症患者を積極的に受け入れるほか、ファミリーセンタードケアを推進する。 アレルギーセンターにおいて、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対して患者の特性に合った最適な治療を提供する。また、地域の医療機関や行政機関等と連携を強化し、情報提供、人材育成、研究、学校への助言等を実施する。 児童・思春期精神医療において、継続診療患者の増加による診療の質の低下（短時間診療や頻度の少ない通院）に係る問題を解消するため、児童精神科診療を行える地域医療機関のリストを充実させ、地域移行に協力可能な患者・家族に具体的な医療機関情報を提供する。 	<p>う。また、行政や民間の療育に関する情報提供や、必要に応じて療育機関と連携を図ることで、地域で療育が受けられる体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の各救命救急センターと引き続き連携し、高度及び特殊・専門的医療が必要な小児三次救急を実施する。 令和元年度に増床や人員増を伴う体制強化を行ったNICU及びGCUを広報するとともに、低出生体重児、極低出生体重児、先天性疾患などの重症患者を積極的に受け入れるほか、ファミリーセンタードケアを推進する。 アレルギーセンターにおいて、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対して患者の特性に合った最適な治療を提供する。<u>県指定のアレルギー疾患医療拠点病院として</u>、地域の医療機関や行政機関等と連携を強化し、情報提供、人材育成、研究、学校への助言等を実施する。 児童・思春期精神医療において、継続診療患者の増加による診療の質の低下（短時間診療や頻度の少ない通院）に係る問題を解消するため、児童精神科診療を行える地域医療機関のリストを充実させ、地域移行に協力可能な患者・家族に具体的な医療機関情報を提供する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待を早期発見・対応できるよう、職員向けに知識の普及啓発に努める。また、迅速に支援できるよう児童相談所・警察・市区町村等との連携を強化し、再発防止に努める。 <p>【緩和ケア・相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児の総合的緩和ケアを推進するとともに、専門職で構成されたチームの特色を活かし、生命を脅かす疾患や、緩解後のサポートを必要とする患者・家族に対し、安定かつ継続した医療・ケアの提供に努める。 ・ 医療的ケアの必要な患者の退院在宅支援を円滑に行うため、入退院支援体制の整備を行う。また、地域の支援者向け医療ケア研修や相談窓口などを通じ、地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上の支援を行うとともに、連携を強化する。 ・ 成人移行期医療については、「みらい支援外来」において、事例を積み重ね、多職種が連携して診療相談を行い、円滑な成人移行に向けた自立支援や成人期の医療機関との連携を図る。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待を早期発見・対応できるよう、職員向けに知識の普及啓発に努める。また、迅速に支援できるよう児童相談所・警察・市区町村等との連携を強化し、再発防止に努める。 <p>【緩和ケア・相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児の総合的緩和ケアを推進するとともに、専門職で構成されたチームの特色を活かし、生命を脅かす疾患や、緩解後のサポートを必要とする患者・家族に対し、安定かつ継続した医療・ケアの提供に努める。 ・ 医療的ケアの必要な患者の<u>退院支援、安定した在宅生活のために院内外の多職種との連携を強化する。</u>また、<u>小児の在宅医療を支える支援者を対象とした医療的ケア研修や相談窓口などを通じ、地域の支援者の医療的ケアのスキル向上の支援、不安軽減に努め、地域における医療的ケア児のスムーズな受入りに繋げる。</u> ・ 成人移行期医療については、「みらい支援外来」において、事例を積み重ね、多職種が連携して診療相談を行い、円滑な成人移行に向けた自立支援や成人期の医療機関との連携を図る。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p>

第三期中期計画	令和4年度計画		令和5年度計画（案）																																																																										
<p>[目標値]</p>	<p>・ 新型コロナウイルス感染症にかかる高度医療機関として、感染症患者の受入れを行う。</p> <p>[目標値]</p>		<p>・ 新型コロナウイルス感染症にかかる高度医療機関として、感染症患者の受入れを行う。</p> <p>[目標値]</p>																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30年度実績値</th> <th>令和6年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数(手術室で実施)</td> <td>3,572件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>489件</td> <td>500件</td> </tr> <tr> <td>N I C U⁷⁾ 新規入院患者数</td> <td>307人</td> <td>430人</td> </tr> <tr> <td>M F I C U⁸⁾ 新規入院患者数</td> <td>78人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>G C U⁹⁾ 入院実患者数</td> <td>267人</td> <td>390人</td> </tr> <tr> <td>小児がん患者新規入院患者数</td> <td>81人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア実施件数</td> <td>52件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション件数</td> <td>23,315件</td> <td>24,200件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値	手術件数(手術室で実施)	3,572件	3,800件	救急車による救急受入件数	489件	500件	N I C U ⁷⁾ 新規入院患者数	307人	430人	M F I C U ⁸⁾ 新規入院患者数	78人	150人	G C U ⁹⁾ 入院実患者数	267人	390人	小児がん患者新規入院患者数	81人	95人	緩和ケア実施件数	52件	80件	リハビリテーション件数	23,315件	24,200件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度実績値</th> <th>令和4年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数(手術室で実施)</td> <td>3,113件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td>うち手術件数(全身麻酔)</td> <td>2,613件</td> <td>3,340件</td> </tr> <tr> <td>うち手術件数(造血幹細胞移植)</td> <td>13件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>363件</td> <td>500件</td> </tr> <tr> <td>N I C U 新規入院患者数</td> <td>383人</td> <td>430人</td> </tr> <tr> <td>M F I C U 新規入院患者数</td> <td>234人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>G C U 入院実患者数</td> <td>310人</td> <td>380人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値	手術件数(手術室で実施)	3,113件	3,800件	うち手術件数(全身麻酔)	2,613件	3,340件	うち手術件数(造血幹細胞移植)	13件	25件	救急車による救急受入件数	363件	500件	N I C U 新規入院患者数	383人	430人	M F I C U 新規入院患者数	234人	140人	G C U 入院実患者数	310人	380人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度実績値</th> <th>令和5年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数(手術室で実施)</td> <td>3,346件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td><u>うち全身麻酔</u></td> <td>2,829件</td> <td><u>3,340件</u></td> </tr> <tr> <td><u>造血幹細胞移植件数</u></td> <td>30件</td> <td><u>25件</u></td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>470件</td> <td><u>520件</u></td> </tr> <tr> <td>N I C U 新規入院患者数</td> <td>335人</td> <td>430人</td> </tr> <tr> <td>M F I C U 新規入院患者数</td> <td>196人</td> <td><u>145人</u></td> </tr> <tr> <td>G C U 入院実患者数</td> <td>281人</td> <td><u>390人</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値	手術件数(手術室で実施)	3,346件	3,800件	<u>うち全身麻酔</u>	2,829件	<u>3,340件</u>	<u>造血幹細胞移植件数</u>	30件	<u>25件</u>	救急車による救急受入件数	470件	<u>520件</u>	N I C U 新規入院患者数	335人	430人	M F I C U 新規入院患者数	196人	<u>145人</u>	G C U 入院実患者数	281人	<u>390人</u>
区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値																																																																											
手術件数(手術室で実施)	3,572件	3,800件																																																																											
救急車による救急受入件数	489件	500件																																																																											
N I C U ⁷⁾ 新規入院患者数	307人	430人																																																																											
M F I C U ⁸⁾ 新規入院患者数	78人	150人																																																																											
G C U ⁹⁾ 入院実患者数	267人	390人																																																																											
小児がん患者新規入院患者数	81人	95人																																																																											
緩和ケア実施件数	52件	80件																																																																											
リハビリテーション件数	23,315件	24,200件																																																																											
区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値																																																																											
手術件数(手術室で実施)	3,113件	3,800件																																																																											
うち手術件数(全身麻酔)	2,613件	3,340件																																																																											
うち手術件数(造血幹細胞移植)	13件	25件																																																																											
救急車による救急受入件数	363件	500件																																																																											
N I C U 新規入院患者数	383人	430人																																																																											
M F I C U 新規入院患者数	234人	140人																																																																											
G C U 入院実患者数	310人	380人																																																																											
区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値																																																																											
手術件数(手術室で実施)	3,346件	3,800件																																																																											
<u>うち全身麻酔</u>	2,829件	<u>3,340件</u>																																																																											
<u>造血幹細胞移植件数</u>	30件	<u>25件</u>																																																																											
救急車による救急受入件数	470件	<u>520件</u>																																																																											
N I C U 新規入院患者数	335人	430人																																																																											
M F I C U 新規入院患者数	196人	<u>145人</u>																																																																											
G C U 入院実患者数	281人	<u>390人</u>																																																																											

第三期中期計画	令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
	小児がん患者新規入院患者数	75人	95人	小児がん患者新規入院患者数	84人	95人
	緩和ケア実施件数	48件	70件	緩和ケア実施件数	46件	75件
	リハビリテーション件数	22,424件	24,200件	リハビリテーション件数	22,298件	24,200件

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(3) 精神医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の精神科中核病院として、思春期医療のほか、ストレスケア医療、依存症医療、医療観察法医療等の高度・専門医療の提供を行う。 ・ 精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急・急性期医療を実施する。 ・ 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進める。 ・ 依存症治療拠点機関として、依存症に関する取組みの情報発信や医療機関を対象とした研修を実施する等、県内の依存症医療の強化を図っていく。 	<p>(3) 精神医療センター</p> <p>【精神科専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童相談所やこども医療センター等との連携を強化し、被虐待児も含めた中高生世代の患者を積極的に受け入れる。 ・ 反復経頭蓋磁気刺激法(r-TMS)等により、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。 ・ 依存症治療拠点機関として依存症に関する取組みの情報発信や研修等の普及啓発活動などを実施する。また、アルコール・薬物・ギャンブル依存症の患者に対して集団治療プログラムを実施するほか、依存症診療科と思春期診療科が連携し、インターネット・ゲーム依存症の治療を推進していく。こうした取組みを通じ、積極的に患者を受け入れ、県内の依存症医療の提供体制の強化を図っていく。 	<p>(3) 精神医療センター</p> <p>【精神科専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童相談所やこども医療センター等との連携を強化し、被虐待児も含めた中高生世代の患者を積極的に受け入れる。 ・ 反復経頭蓋磁気刺激法(r-TMS)等により、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。 ・ 依存症治療拠点機関として依存症に関する取組みの情報発信や<u>一般県民向けに研修等の普及啓発活動などを実施するほか、依存症医療支援者研修を実施し、県内の依存症医療の提供体制の強化を図っていく。</u> ・ <u>また、アルコール・薬物・ギャンブル依存症の患者で個別の対応が求められる患者の治療に積極的に取り組むほか、集団治療プログラムを実施する。その他、依存症診療科と思春期診療科が連携し、インターネット・ゲーム依存症の治療を推進するほか、精神科医療のニーズがありながら受診先を見つけることが困難な性的マイノリティの依存症患者を対象とした外来を設置する。</u>こうした取組みを通じ、

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心神喪失者等医療観察法の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った入院医療及び外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を一貫して実施する。 ・ 特定の医療機関でしか実施できないクロザピン治療を推進するなど難治患者に対して、高度な精神科医療を実施する。 ・ 「もの忘れ外来」における鑑別診断の推進、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」の普及により、地域住民をはじめとする県民の認知症の早期発見や予防を図っていく。 <p>【精神科救急医療・災害時医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の精神科救急医療システムの基幹病院として、県精神保健福祉センターや4縣市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる。 	<p>積極的に患者を受け入れ、県内の依存症医療の提供体制の強化を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心神喪失者等医療観察法の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った<u>入院医療を提供し、入院期間が長期化しないよう努める。</u>また、<u>外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を一貫して実施する。</u> ・ 特定の医療機関でしか実施できないクロザピン治療を推進するなど難治患者に対して、高度な精神科医療を実施する。 ・ 「もの忘れ外来」における鑑別診断の推進、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」の普及により、地域住民をはじめとする県民の認知症の早期発見や予防を図っていく。 <p>【精神科救急医療・災害時医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の精神科救急医療システムの基幹病院として、県精神保健福祉センターや4縣市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる<u>ほか、地域の医療機関の求めに応じ、精神科救急医療システム以外の救急患者の対応にも努める。</u>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>[目標値]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。 <p>【地域の医療機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、患者の紹介・逆紹介を推進する。また、訪問看護や精神科デイケアなどを行うことで、地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進め、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に参画していく。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科コロナ重点医療機関として、精神疾患の症状が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した患者に適切な医療を提供するとともに、県が設置する臨時医療施設に医師、看護師を派遣し、精神疾患の治療の支援等を行う。 <p>[目標値]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。 <p>【地域の医療機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、患者の紹介・逆紹介を推進する。 ・ <u>また、訪問看護や精神科デイケアなどを行うことで、地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進め、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に参画していく。</u> ・ <u>地域の医療機関等の求めに応じ、積極的に救急患者や重症患者の対応に努めていく。</u> <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科コロナ重点医療機関として、精神疾患の症状が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した患者に適切な医療を提供するとともに、県が設置する臨時医療施設に医師、看護師を派遣し、精神疾患の治療の支援等を行う。 <p>[目標値]</p>

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
区分	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値	区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値	区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
依存症集団治療 プログラム延患者数	1,923人	2,000人	依存症集団 治療プログラ ム延患者 数	1,492人	2,000人	依存症集団 治療プログラ ム延患者 数	1,515人	<u>2,000人</u>
依存症に関する 研修等普及啓発 活動実施回数	55回	60回	依存症に関 する研修等 普及啓発活 動実施回数	15回	32回	依存症に関 する研修等 普及啓発活 動実施回数	3回	<u>40回</u>
クロザピン ¹⁰⁾ に よる治療患者数	79人	150人	クロザピン による治療 患者数	114人	124人	クロザピン による治療 患者数	132人	<u>150人</u>
r-TMS ¹¹⁾ に よる治療患者数	一人	20人	r-TMS による治療 患者数	11人	14人	r-TMS による治療 患者数	16人	<u>20人</u>
救急病棟入院延 患者数	23,660人	23,700人	救急病棟入 院延患者数	22,273人	23,600人	救急病棟入 院延患者数	21,683人	23,600人
訪問看護件数	2,440件	2,700件	訪問看護件 数	2,664件	2,600件	訪問看護件 数	3,001件	<u>2,700件</u>
退院後3か月以 内に再入院した 患者の割合	13.9%	10.0%	退院後3か 月以内に再 入院した患 者の割合	15.0%	11.4%	退院後3か 月以内に再 入院した患 者の割合	18.1%	10.7%

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(4) がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県がん診療連携拠点病院として、手術療法、放射線療法及び免疫療法を含むがん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療の質の向上に努め、治療実施件数の増加を図るとともに、医師等を対象とした研修の実施や協議会設置など、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、より高度な医療を提供するため、特定機能病院の承認を目指す。 がんゲノム医療拠点病院として、県内のがん診療連携拠点病院等との連携体制を構築することにより、より多くのがん患者が遺伝子パネル検査を受けることを可能にし、その結果に基づいて治療(治験等)につながる機会を提供する。 重粒子線治療の診療体制を充実強化し、治療件数を増加させるとともに、臨床研究所をはじめとした複数の部門や他の重粒子線治療施設と協働し、新たな治療方法の開発を推進する。また、重粒子線治療装置を活用し、医療分野における国際交流や国際貢献に寄与する観点から医療インバウンド等に取り組む。 	<p>(4) がんセンター</p> <p>【がん専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線治療、免疫療法を含むがん薬物療法、緩和ケアなどによる集学的ながん医療を推進する。 都道府県がん診療連携拠点病院として、連絡協議会の運営や地域連携活動等により県内医療機関と連携し、機能分担や協働によるより質の高いがん医療の提供や均てん化に取り組む。 がん専門病院としてより高度な医療の提供や医療技術の開発に取り組むため、令和6年度の特定機能病院の承認に向けた取組みを進める。 がんゲノム医療拠点病院として、保険適用外の新規遺伝子パネル検査を開始し、より多くのがん患者に至適タイミング(治療早期、複数回など)で遺伝子パネル検査を提供する。 体制強化、治療機器の更新、地域の医療機関及び県民への広報の推進、医療インバウンドの取組み並びにがん診療拠点病院との連携などにより、重粒子線治療の治療件数を増加させる。 	<p>(4) がんセンター</p> <p>【がん専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線治療、免疫療法を含むがん薬物療法、緩和ケアなどによる集学的ながん医療を推進する。 都道府県がん診療連携拠点病院として、連絡協議会の運営や地域連携活動等により県内医療機関と連携し、機能分担や協働によるより質の高いがん医療の提供や均てん化に取り組む。 がん専門病院としてより高度な医療の提供や医療技術の開発に取り組むため、令和6年度の特定機能病院の承認に向けた取組みを進める。 がんゲノム医療拠点病院として、<u>保険適用外も含めた遺伝子パネル検査を</u>、より多くのがん患者に至適タイミング(治療早期、複数回など)で<u>遺伝子パネル検査</u>を提供する。 <u>重粒子線治療について、体制強化、治療機器の更新、地域の医療機関及び県民への広報の推進、医療インバウンドの取組み、がん診療連携拠点病院との連携などにより治療件数を増加させる。</u>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<ul style="list-style-type: none"> 患者のADLやQOLの向上及び早期社会復帰を支援するため、リハビリテーション部門の積極的な介入や専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。また、がんと共生を支えるため、アピアランスケアや就労支援などの多様な相談への対応に取り組む。 小児がん患者のフォローアップやAYA世代がん患者特有の相談等の患者支援を行う。 高齢のがん患者、合併症を有するがん患者への対応として、循環器疾患や透析への対応ができる他の医療機関との連携体制の整備を検討する。 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録及び院内がん登録を着実に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療と免疫治療との併用療法を開発するため、診療部門と臨床研究部門が連携して重粒子線治療の免疫学的影響を解明する研究を継続する。また、臨床的なアプローチとして頭頸部悪性黒色腫に対する重粒子線治療後の免疫チェックポイント阻害剤による維持療法の臨床研究にも引き続き取り組む。 <p>【相談支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅ケアや訪問リハビリテーション担当者との連携を強化しながらリハビリテーション部門が積極的に介入するとともに、専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。 アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、院内関係部署が連携し、質の高い患者支援を行う。 就労支援等において、院内多職種が社会保険労務士やハローワーク等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。 患者団体と連携・協力しながら、相談支援を行う。また、サポートグループ活動や患者会活動の自立に向けた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療と免疫治療との併用療法を開発するため、診療部門と臨床研究部門が連携して重粒子線治療の免疫学的影響を解明する研究を継続する。また、臨床的なアプローチとして頭頸部悪性黒色腫に対する重粒子線治療後の免疫チェックポイント阻害剤による維持療法の臨床研究にも引き続き取り組む。 <p>【相談支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅ケアや訪問リハビリテーション担当者との連携を強化しながらリハビリテーション部門が積極的に介入するとともに、専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。 アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、<u>院内関係部署</u>が連携し、質の高い患者支援を行う。 就労支援等において、<u>院内の関係部署</u>が社会保険労務士やハローワーク、<u>産業保健総合支援センター</u>等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。 患者団体と連携・協力しながら、相談支援を行う。また、サポートグループ活動や患者会活動の自立に向けた支援を<u>継続</u>する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																														
	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん患者のフォローアップ、AYA世代等の妊孕性温存に関する情報提供及び意思決定支援に関する相談支援などに取り組む。 <p>【高齢のがん患者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者に見られる身体機能低下や認知機能低下等の客観的評価に取り組む。 <p>【がん登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録及び院内がん登録を着実に実施する。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関協力病院として、感染症患者の受入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん患者のフォローアップ、AYA世代等の妊孕性温存に関する情報提供及び意思決定支援に関する相談支援などに取り組む。 <u>AYA世代のがんの支援体制を整える。</u> <p>【高齢のがん患者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者に見られる身体機能低下や認知機能低下等の客観的評価に取り組む。 <p>【がん登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録、<u>地域がん登録（神奈川県悪性新生物登録）</u>及び院内がん登録を着実に実施する。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関協力病院として、感染症患者の受入れを行う。 																														
<p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="91 1109 779 1468"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30年度実績値</th> <th>令和6年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>3,365件</td> <td>3,900件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法実施件数</td> <td>23,458件</td> <td>26,000件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>1,015件</td> <td>1,400件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値	手術件数（手術室で実施）	3,365件	3,900件	外来化学療法実施件数	23,458件	26,000件	放射線治療件数	1,015件	1,400件	<p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="779 1109 1458 1468"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度実績値</th> <th>令和4年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>3,584件</td> <td>3,900件</td> </tr> <tr> <td>うち手術件数（全身麻酔）</td> <td>3,373件</td> <td>3,700件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値	手術件数（手術室で実施）	3,584件	3,900件	うち手術件数（全身麻酔）	3,373件	3,700件	<p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="1458 1109 2150 1468"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度実績値</th> <th>令和5年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>3,658件</td> <td><u>3,900件</u></td> </tr> <tr> <td><u>うち全身麻酔</u></td> <td>3,425件</td> <td><u>3,550件</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値	手術件数（手術室で実施）	3,658件	<u>3,900件</u>	<u>うち全身麻酔</u>	3,425件	<u>3,550件</u>
区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値																														
手術件数（手術室で実施）	3,365件	3,900件																														
外来化学療法実施件数	23,458件	26,000件																														
放射線治療件数	1,015件	1,400件																														
区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値																														
手術件数（手術室で実施）	3,584件	3,900件																														
うち手術件数（全身麻酔）	3,373件	3,700件																														
区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値																														
手術件数（手術室で実施）	3,658件	<u>3,900件</u>																														
<u>うち全身麻酔</u>	3,425件	<u>3,550件</u>																														

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）																
重粒子線治療件数	271件	820件	うち手術件数（腹腔鏡／胸腔鏡下）	844件	900件	うち腹腔鏡／胸腔鏡下	902件	<u>950件</u>														
緩和ケア実施件数	727件	740件		うち手術件数（ロボット支援）	251件		260件	うちロボット支援	254件	<u>300件</u>												
リハビリテーション件数	26,644件	27,000件			手術件数（造血幹細胞移植）		76件		80件	造血幹細胞移植件数	86件	<u>80件</u>										
漢方サポートセンター外来患者数	3,528人	3,680人					外来化学療法実施件数		25,913件		26,800件	外来化学療法実施件数	27,074件	<u>27,000件</u>								
									放射線治療件数		1,311件		1,400件	放射線治療件数	1,325件	<u>1,500件</u>						
											重粒子線治療件数		542件		620件	重粒子線治療件数	527件	<u>764件</u>				
													うち医療インバウンド受入件数		0件		1件	うち医療インバウンド受入件数	0件	<u>5件</u>		
															緩和ケア実施件数		425件		740件	緩和ケア実施件数	1,013件	<u>770件</u>
																	リハビリテーション件数		18,952件		23,000件	リハビリテーション件数

第三期中期計画	令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
	漢方サポートセンター 外来患者数	4,268人	4,300人	漢方サポートセンター 外来患者数	4,939人	<u>4,800人</u>
	がん相談件数	6,512件	8,000件	がん相談件数	6,549件	<u>8,000件</u>
	アピアランスサポート 件数	372件	400件	アピアランスサポート 件数	337件	<u>500件</u>

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器・呼吸器病の専門病院として、循環器疾患全般において、急性期医療からリハビリテーションまでを含めた総合的な医療を提供する。また、呼吸器疾患全般に対し、診療体制の充実を図るとともに、肺癌に対する低侵襲手術の実施など、総合的な医療を提供する。 特に、間質性肺炎といった呼吸器分野の難病患者等に対し、各々の病態に合わせ、多職種によるチーム医療を提供する。 徹底した服薬管理が必要な、多剤耐性結核対策等を含めた総合的な結核医療を実施する。 循環器病対策基本法で求められている、患者の予後やQOLの改善、循環器病の予防に対応し、迅速な医療の提供や重症化防止などの取組みを推進する。 	<p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>【循環器・呼吸器専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受入拡大を図る。 健康診断のうち胸部レントゲン検査や心電図検査で異常を指摘された受診者や、生活習慣病の疑いを指摘された受診者の二次健診ニーズに効率的に対応できる体制づくりを図る。 カテーテルアブレーションやペースメーカー留置術など、循環器疾患の患者の病態に合わせた適切な医療を安全に提供するとともに、心臓リハビリテーションを効果的に実施し、重症化の予防やQOLの改善に努める。 肺癌について、患者の状況に応じた的確な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や免疫療法を含むがん薬物療法、放射線治療、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、治験や臨床研究を進め、質の高い医療を提供する。 	<p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>【循環器・呼吸器専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受入拡大を図る。 健康診断のうち胸部レントゲン検査や心電図検査で異常を指摘された受診者や、生活習慣病の疑いを指摘された受診者の二次健診ニーズに効率的に対応できる体制を構築し、円滑な運用を図る。 カテーテルアブレーションやペースメーカー留置術など、循環器疾患の患者の病態に合わせた適切な医療を安全に提供するとともに、心臓リハビリテーションを効果的に実施し、重症化の予防やQOLの改善に努める。 肺癌について、患者の状況に応じた的確な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や免疫療法を含むがん薬物療法、放射線治療、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、治験や臨床研究を進め、質の高い医療を提供する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間質性肺炎センターにおいて、診断技術の向上等の機能強化に取り組みながら質の高い医療を提供するとともに、専門医の育成、患者への相談支援や情報提供を行い、全国の治療拠点としての役割を果たす。 ・ 間質性肺炎患者等を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。 <p>【結核医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、高齢化により併存疾患を持つ結核患者や認知症を有する結核患者が増加する中、きめ細かい医療サービスを提供する。 ・ 保健所と情報を共有し、退院後の治療継続を見据えた院内DOTS（直接服薬確認療法）を推進する。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関として、感染症患者の受入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間質性肺炎センターにおいて、診断技術の向上等の機能強化に取り組みながら質の高い医療を提供するとともに、専門医の育成、患者への相談支援や情報提供を行い<u>つつ、治験や臨床研究を進め</u>、全国の治療拠点としての役割を果たす。 ・ 間質性肺炎患者等を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。 ・ <u>新型コロナウイルス感染症などの新興感染症をはじめ、非結核性抗酸菌症などの呼吸器感染症患者の受入れを行うとともに、治験や臨床研究を進める。</u> <p>【結核医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、高齢化により併存疾患を持つ結核患者や認知症を有する結核患者が増加する中、きめ細かい医療サービスを提供する。 ・ 保健所と情報を共有し、退院後の治療継続を見据えた院内DOTS（直接服薬確認療法）を推進する。 <p>【新型コロナウイルス感染症対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関として、感染症患者の受入れを行うとともに、呼吸器感染症全般の治験や臨床研究を進める。

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値	区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値	区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値
手術件数（手術室で実施）	429件	430件	手術件数（手術室で実施）	286件	430件	手術件数（手術室で実施）	307件	430件
外来化学療法実施件数	1,124件	1,440件	うち手術件数（全身麻酔）	226件	410件	うち全身麻酔	281件	<u>410件</u>
放射線治療件数	162件	160件	カテーテルアブレーション実施件数	147件	220件	カテーテルアブレーション実施件数	118件	<u>220件</u>
リハビリテーション件数	17,477件	17,500件	外来化学療法実施件数	1,392件	1,440件	外来化学療法実施件数	1,150件	1,440件
間質性肺炎新規外来患者数	594人	700人	放射線治療件数	109件	160件	放射線治療件数	98件	160件
			リハビリテーション件数	10,522件	17,200件	リハビリテーション件数	11,484件	17,300件
			リハビリテーション件数（循環器）	2,872件	3,600件	リハビリテーション件数（循環器）	3,296件	<u>3,700件</u>
			リハビリテーション件数	7,650件	13,600件	リハビリテーション件数	8,188件	<u>13,600件</u>

第三期中期計画	令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
	ン件数（呼 吸器）			ン件数（呼 吸器）		
	間質性肺炎 新規外来患 者数	410人	650人	間質性肺炎 新規外来患 者数	574人	675人

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携協力のある大学の医局ローテーションのほか、公募などにより、質の高い医療の提供に必要な医師を確保する。 ・ 養成機関との連携、就職説明会への参加、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い医療の提供に必要な看護師を確保する。 ・ 薬剤師レジデント制度の活用や職種ごとの実態に合わせた採用試験を行うことにより、質の高い医療技術職員や事務職員を確保する。 	<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各病院において、連携協力のある大学の医局ローテーションなどによる人材確保を図る。また、必要に応じて公募や医師の人的ネットワークを活用し、広く一般から優秀な医師を募る。 <p>【看護師・助産師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部事務局と5病院合同での採用試験を複数回実施することにより、人材確保に努める。また、10月1日を採用日とした中途採用試験を実施し、人材確保を図る。 ・ 優秀な人材を確保するため、企業や養成校主催の就職説明会へ参加し、広域での看護学生への周知に努める。また、各病院においても、年間を通じてインターンシップや病院説明会、養成校訪問を実施し、広報に力を入れていく。 ・ 確保が困難な助産師等の安定的な確保を図るため、看護師及び助産師向けの修学資金の貸与を引き続き行っていく。 <p>【医療技術職員・事務職員】</p>	<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各病院において、連携協力のある大学の医局ローテーションなどによる人材確保を図る。また、必要に応じて公募や医師の人的ネットワークを活用し、広く一般から優秀な医師を募る。 <p>【看護師・助産師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部事務局と5病院合同での採用試験を複数回実施することにより、人材確保に努める。また、<u>7月1日、10月1日、1月1日</u>を採用日とした<u>経験者採用試験</u>を実施し、人材確保を図る。 ・ 優秀な人材を確保するため、企業や養成校主催の就職説明会へ参加し、広域での看護学生への周知に努める。また、各病院においても、年間を通じてインターンシップや病院説明会、養成校訪問を実施し、広報に力を入れていく。 ・ 確保が困難な助産師等の安定的な確保を図るため、看護師及び助産師向けの修学資金の貸与を引き続き行っていく。 <p>【医療技術職員・事務職員】</p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(人材の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新専門医制度における基幹病院として、専攻医の計画的な受入れと育成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 各職種に共通する採用試験については、30歳までを対象とする一般採用試験を中心として実施し、職務経験3年以上の人を対象とする経験者採用試験については、必要に応じて実施する。 医療技術職員の採用試験については、適切な時期に実施するとともに、大学等の訪問や説明会への参加など積極的な周知に努める。薬剤師については、薬剤師レジデント制度を継続して実施し、必要に応じて経験者採用試験を実施する。 事務職員（一般採用）の採用試験については、募集開始時期を早め、優秀な人材の確保に努める。採用予定者については、配属前に病院見学会を行うなどして、当機構や業務に対する理解を深めるとともに、辞退者の発生を抑止する。 事務職員（幹部候補者）の採用選考については、病院や民間企業等でのマネジメント経験を活かし、病院運営における即戦力として活躍できる人材の確保に努める。 <p>(人材の育成)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな専門医制度での基幹施設（病院）として研修実施が可能な診療科のプログ 	<ul style="list-style-type: none"> 各職種に共通する採用試験については、30歳までを対象とする一般採用試験を中心として実施し、職務経験3年以上の人を対象とする経験者採用試験については、必要に応じて実施する。 医療技術職員の採用試験については、適切な時期に実施するとともに、大学等の訪問や説明会への参加など積極的な周知に努める。薬剤師については、薬剤師レジデント制度を継続して実施し、必要に応じて経験者採用試験を実施する。 事務職員（一般採用）の採用試験については、募集開始時期を早め、優秀な人材の確保に努める。採用予定者については、配属前に病院見学会を行うなどして、当機構や業務に対する理解を深めるとともに、辞退者の発生を抑止する。 事務職員（幹部候補者）の採用選考については、病院や民間企業等でのマネジメント経験を活かし、病院運営における即戦力として活躍できる人材の確保に努める。 <p>(人材の育成)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな専門医制度での基幹施設（病院）として研修実施が可能な診療科のプログ

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高い医療を提供するため、能力開発とキャリア実現を目的として策定された育成プログラムにより、看護師の人材育成を図るとともに、専門看護師、認定看護師及び認定看護管理者等の増加、特定行為に係る看護師の養成を推進する。 ・ 足柄上病院においては、研修プログラムとして看護師の特定行為研修の実施を検討する。 ・ 医療技術職員等については、人材育成の考え方の整理を進め、研修の充実、強化等に取り組む。また、OJTを通じて計画的な人材育成を進める。 ・ 事務職員については、人材育成アクションプログラムを基に求められるスキルを明確にして研修メニューの更なる充実を図る。また、人材育成アクションプログラムに基づく研修の実施や、異なる分野への定期的な人事異動を実施し、病院運営に係る幅広い知識と経験を持つ、バランス感覚に優れた人材の育成を図る。 ・ 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 ・ 管理職に対して、病院経営に対する高い経営感覚とマネジメント能力を身に付けるための研修を実施するとともに、事務職員については、診療報酬事務や病院経 	<p>ラム申請を行い、計画的な受入れと育成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども医療センターでは、精神科研修専門医プログラムの基幹病院である精神医療センターと連携し、精神医療センターで専門医研修を受講している専攻医を4ヶ月～6ヶ月間受け入れる。 <p>【看護師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリア形成支援システム」に基づき研修を実施する。研修はチーム医療を推進する目的から多職種参加型で行う。 ・ 認定看護師等の育成として、勤務割振り等を配慮して資格取得の支援をする。 ・ 足柄上病院においては、特定行為指定研修機関として、特定行為に係る看護師の育成を進める。 <p>【医療技術職員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OJTを中心とした人材育成を実施する。 ・ 管理職からの意見聴取や職員数の多い職種についてキャリア面接を実施するなど、職員の意向や人事異動に係る情報の取得等に努め、人材育成の考え方の整理を進める。 <p>【事務職員】</p>	<p>ラム申請を行い、計画的な受入れと育成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども医療センターでは、精神科研修専門医プログラムの基幹病院である精神医療センターと連携し、精神医療センターで専門医研修を受講している専攻医を4ヶ月～6ヶ月間受け入れる。 <p>【看護師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリア形成支援システム」に基づき研修を実施する。研修はチーム医療を推進する目的から多職種参加型で行う。 ・ 認定看護師等の育成として、勤務割振り等を配慮して資格取得の支援をする。 ・ 足柄上病院においては、特定行為指定研修機関として、特定行為に係る看護師の育成を進める。 <p>【医療技術職員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OJTを中心とした人材育成を実施する。 ・ 管理職からの意見聴取や職員数の多い職種についてキャリア面接を実施するなど、職員の意向や人事異動に係る情報の取得等に努め、人材育成の考え方の整理を進める。 <p>【事務職員】</p>

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
<p>営に関する深い専門知識や高い経営感覚を身に付けるため、計画的な人事異動や専門研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の意欲を引き出し、能力を高めるため、病院機構内からの公募を実施するとともに、他団体との人事交流の実施を検討する。 			<ul style="list-style-type: none"> 「人材育成に関する方向性とアクションプログラム」に基づき人材育成を実施していく。 一般採用職員については、採用から10年程度の期間において、幅広い業務を経験できるような人事異動の実施に努める。また、診療報酬に関する専門研修等を実施するなど研修の充実を図る。 経験者採用職員については、医事事務や病院経営に関する実務等の経験を活かした人事異動を実施していく。 幹部職員を対象に、外部講師を活用した病院経営や組織マネジメント等に関する研修を開催する。 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 幹部候補者採用職員については、経験を活かしたキャリアアップを図っていく。 職員のチャレンジ精神を育て、組織の活性化を図るため、令和元年度に開始した病院機構内からの公募制度について、新規事業や重点課題解決のために必要に応じて実施していく。 			<ul style="list-style-type: none"> 「人材育成に関する方向性とアクションプログラム」に基づき人材育成を実施していく。 一般採用職員については、採用から10年程度の期間において、幅広い業務を経験できるような人事異動の実施に努める。また、診療報酬に関する専門研修等を実施するなど研修の充実を図る。 経験者採用職員については、医事事務や病院経営に関する実務等の経験を活かした人事異動を実施していく。 幹部職員を対象に、外部講師を活用した病院経営や組織マネジメント等に関する研修を開催する。 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 幹部候補者採用職員については、経験を活かしたキャリアアップを図っていく。 職員のチャレンジ精神を育て、組織の活性化を図るため、令和元年度に開始した病院機構内からの公募制度について、新規事業や重点課題解決のために必要に応じて実施していく。 		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値	区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値	区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
専攻医の採用者数	10人	12人	専攻医の採用者数	8人	11人	専攻医の採用者数	12人	12人
看護師の充足率	100.0%	100.0%	看護師の充足率	98.8%	100.0%	看護師の充足率	96.6%	100.0%

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元医師会や市町などの関係機関を含め、地域の医療機関や在宅療養を行う施設等と必要な情報を共有しながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。 県西地域の中核的な総合病院として、総合診療科を中心として地域の医療機関等と連携を行うとともに、地域医療支援病院の承認を目指す。 	<p>(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 各病院の地域医療連携に関する取組みや課題について関係会議等で共有し、地域医療連携の促進を図る。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア病棟で、患者のスムーズな在宅復帰に向けたサポートを行うとともに、在宅療養後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。 地域医療支援病院として、地域の医療機関との相互連携と機能分担を強化し、患者一人一人に対し、適切で切れ目のない医療の提供を行う。 	<p>(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 各病院の地域医療連携に関する取組みや課題について関係会議等で共有し、地域医療連携の促進を図る。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア病棟で、患者のスムーズな在宅復帰に向けたサポートを行うとともに、在宅療養後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。 地域医療支援病院として、地域の医療機関との相互連携と機能分担を強化し、患者一人一人に対し、適切で切れ目のない医療の提供を行う。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療を提供する機関の診療・医療技術の向上の支援を含めた連携体制を整備し、患者の在宅移行を推進する。 地域の医療機関等との勉強会やカンファレンス、研修会を実施し、連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、同病院との連携・協力関係を推進する。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院として地域医療機関等との連携強化に努め、登録医療機関数の増加はもとより、紹介患者数の増加及び適切な逆紹介を図るほか、乳幼児健診の支援等を通じて保健所等の行政機関との連携も強化し、効果的な集患につなげる。 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が継続できるよう療養支援体制を整える。 登録医療機関向けに「地域医療連携室だより」を発刊するほか、ホームページにおける地域医療機関向けの掲載内容を拡充し、当センターの診療内容や取組み等の広報、周知を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、同病院との連携・協力関係の強化を図り、<u>令和4年度末に締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」により、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。</u> <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院として地域医療機関等との連携強化に努め、登録医療機関数の増加はもとより、紹介患者数の増加及び適切な逆紹介を図るほか、乳幼児健診の支援等を通じて保健所等の行政機関との連携も強化し、効果的な集患につなげる。 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が継続できるよう療養支援体制を整える。 登録医療機関向けに「地域医療連携室だより」を発刊するほか、ホームページにおける地域医療機関向けの掲載内容を拡充し、当センターの診療内容や取組み等の広報、周知を強化する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やすため、長期入院患者を含めた患者の逆紹介を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援事業運営委員会における地域医療機関や関係行政機関等との意見交換を通じて、地域医療支援事業の実施状況と運営上の課題について検討し、地域医療支援病院として求められる役割に沿った前方連携を推進する。 地域医療支援事業研修会をはじめとした各種研修会を開催し、高度専門医療機関としての診断技術や治療方法の紹介を通して、診療所の医師はもとより、地域中核病院等の小児周産期医療を担う医療従事者や、今後の医療を担う人材も対象に、資質向上に寄与する。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入院患者を含めた患者の逆紹介に積極的に取り組み、地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やしていく。 連携サポートセンターが中心となり、医療機関や福祉施設訪問を行い、また、関係機関向け病院見学会の実施など地域との連携を強化するとともに、退院前及び退院後の訪問看護を通じ、地域における患者ケアの推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援事業運営委員会における地域医療機関や関係行政機関等との意見交換を通じて、地域医療支援事業の実施状況と運営上の課題について検討し、地域医療支援病院として求められる役割に沿った前方連携を推進する。 地域医療支援事業研修会をはじめとした各種研修会を開催し、高度専門医療機関としての診断技術や治療方法の紹介を通して、診療所の医師はもとより、地域中核病院等の小児周産期医療を担う医療従事者や、今後の医療を担う人材も対象に、資質向上に寄与する。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入院患者を含めた患者の逆紹介に積極的に取り組み、地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やしていく。 連携サポートセンターが中心となり、医療機関や福祉施設訪問を行い、また、関係機関向け病院見学会の実施など地域との連携を強化するとともに、退院前及び退院後の訪問看護を通じ、地域における患者ケアの推進に努める。 <p><u>地域の医療機関の求めに応じ、積極的に救急患者や重症患者の対応に努めていく。(再掲)</u></p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くのがん患者に高度・専門医療を提供するため、緊急緩和ケア病床の活用や研修会等の開催も含め、地域の医療機関等との連携を強化する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養を支える医療機関や訪問看護師への支援、医療機関への訪問活動などにより、地域の医療機関との連携を強化する。 	<p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初来院患者の増加を図るため、検診センターや地域の医療機関等への訪問を継続するとともに、動画による病院・診療科案内を充実する。また、WEB開催を含む研修会等を開催して地域医療機関と診療科間の連携を強化する。 緩和ケア研修の開催や緊急緩和ケア病床の確保などにより地域との連携を推進する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り事例や連携困難事例についての検討会を開催するなど、医療機関や訪問看護ステーション等との顔の見える関係を深める。また、在宅療養支援を推進するため、専門的ケアが必要な高齢患者の在宅での生活が継続できるよう、退院前訪問の充実を図るとともに、訪問看護ステーションとの連携を強化していく。 増加が著しい、80代後半以降の高齢在宅心不全患者に対し、地域の在宅診療所と連携しながら、専門病院の特色を活かした取組みを試行的に進める。 	<p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初来院患者の増加を図るため、検診センターや地域の医療機関等への訪問を継続するとともに、動画による病院・診療科案内、<u>病院ホームページ</u>を充実する。また、WEB開催を含む研修会等を開催して地域医療機関と診療科間の連携を強化する。 <u>緊急緩和ケア病床の確保などにより、地域の医療機関、居宅・介護施設との連携を強化し、在宅療養への移行を推進する。</u> <u>緩和ケア研修の開催などにより、地域の緩和ケアの質の向上を図る。</u> <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り事例や連携困難事例についての検討会を開催するなど、医療機関や訪問看護ステーション等との顔の見える関係を深める。また、在宅療養支援を推進するため、専門的ケアが必要な高齢患者の在宅での生活が継続できるよう、退院前訪問の充実を図るとともに、訪問看護ステーションとの連携を強化していく。 増加が著しい、80代後半以降の高齢在宅心不全患者に対し、地域の在宅診療所と連携しながら、専門病院の特色を活かした取組みを<u>引き続き</u>試行的に進める。

第三期中期計画					令和4年度計画					令和5年度計画（案）																																														
<p>[目標値] 紹介件数・紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成30年度 実績値</th> <th colspan="2">令和6年度目 標値</th> </tr> <tr> <th>紹介 件数</th> <th>紹介 率</th> <th>紹介 件数</th> <th>紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,306 件</td> <td>45.4 %</td> <td>4,750 件</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>					病院名	平成30年度 実績値		令和6年度目 標値		紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介率	足柄上病院	4,306 件	45.4 %	4,750 件	50.0%	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等を訪問し、連携の現状や課題について意見交換を行うなど、信頼関係の構築に努めるとともに、登録機関を増やして医療機器の共同利用を推進する。 院内及び地域の医療機関の看護師を対象とする「慢性疾患看護専門研修」や、社会福祉士及び介護支援専門員も対象とする「退院支援教育研修」を実施し、専門性の高いケアができる看護師等を広く育成するとともに、地域との連携を強化する。 地域医療連携サービスシステムに、外来の診察予約や、心臓CT、心臓MRI及び造影検査に必要な患者情報が入力できるよう引き続きシステムを改善することにより、地域医療機関の利便性向上に寄与する。 <p>[目標値] 紹介件数・紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和2年度 実績値</th> <th colspan="2">令和4年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>紹介 件数</th> <th>紹介 率</th> <th>紹介 件数</th> <th>紹介 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,429 件</td> <td>55.4 %</td> <td>4,750 件</td> <td>50.0 %</td> </tr> </tbody> </table>					病院名	令和2年度 実績値		令和4年度 目標値		紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介 率	足柄上病院	3,429 件	55.4 %	4,750 件	50.0 %	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等を訪問し、連携の現状や課題について意見交換を行うなど、信頼関係の構築に努めるとともに、登録機関を増やして医療機器の共同利用を推進する。 院内及び地域の医療機関の看護師を対象とする「慢性疾患看護専門研修」や、社会福祉士及び介護支援専門員も対象とする「退院支援教育研修」を実施し、専門性の高いケアができる看護師等を広く育成するとともに、地域との連携を強化する。 地域医療連携サービスシステムに、外来の診察予約や、心臓CT、心臓MRI及び造影検査に必要な患者情報が入力できるよう引き続きシステムを改善することにより、地域医療機関の利便性向上に寄与する。 <p>[目標値] 紹介件数・紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和3年度 実績値</th> <th colspan="2">令和5年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>紹介 件数</th> <th>紹介 率</th> <th>紹介 件数</th> <th>紹介 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,245 件</td> <td>61.9 %</td> <td>4,750 件</td> <td>50.0 %</td> </tr> </tbody> </table>					病院名	令和3年度 実績値		令和5年度 目標値		紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介 率	足柄上病院	4,245 件	61.9 %	4,750 件	50.0 %
						病院名	平成30年度 実績値		令和6年度目 標値																																															
紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介率																																																					
足柄上病院	4,306 件	45.4 %	4,750 件	50.0%																																																				
病院名	令和2年度 実績値		令和4年度 目標値																																																					
	紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介 率																																																				
足柄上病院	3,429 件	55.4 %	4,750 件	50.0 %																																																				
病院名	令和3年度 実績値		令和5年度 目標値																																																					
	紹介 件数	紹介 率	紹介 件数	紹介 率																																																				
足柄上病院	4,245 件	61.9 %	4,750 件	50.0 %																																																				

第三期中期計画					令和4年度計画					令和5年度計画（案）				
こども医療センター	8,730 件	93.7 %	8,950 件	97.5%	こども医療センター	8,41 3件	94.5 %	9,00 0件	97.5 %	こども医療センター	9,00 0件	96.2 %	<u>9,10</u> <u>0</u> 件	97.5 %
精神医療センター	1,175 件	74.5 %	1,400 件	82.0%	精神医療センター	1,05 2件	75.5 %	1,30 0件	79.0 %	精神医療センター	1,09 3件	73.7 %	1,35 0件	80.5 %
がんセンター	7,833 件	99.5 %	8,200 件	99.5%	がんセンター	7,73 6件	99.9 %	8,20 0件	99.5 %	がんセンター	8,20 3件	99.9 %	8,20 0件	99.5 %
循環器呼吸器病センター	4,223 件	68.1 %	4,540 件	71.0%	循環器呼吸器病センター	3,48 0件	82.8 %	4,54 0件	71.0 %	循環器呼吸器病センター	3,67 3件	83.6 %	4,54 0件	71.0 %

逆紹介件数・逆紹介率

病院名	平成30年度実績値		令和6年度目標値	
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率
足柄上病院	4,961 件	52.3 %	6,640 件	70.0 %
こども医療センター	(6,429 件)	(69.0 %)	5,000 件	50.0 %
精神医療センター	814 件	51.6 %	1,000 件	57.0 %
がんセンター	4,943 件	62.8 %	5,740 件	70.0 %
循環器呼吸器病センター	4,447 件	71.7 %	4,800 件	75.0 %

逆紹介件数・逆紹介率

病院名	令和2年度実績値		令和4年度目標値	
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率
足柄上病院	6,921 件	111.9 %	6,640 件	70.0 %
こども医療センター	4,758 件	53.5 %	5,000 件	52.0 %
精神医療センター	875 件	62.8 %	900 件	55.0 %
がんセンター	5,700 件	73.6 %	5,900 件	76.0 %
循環器呼吸器病センター	4,619 件	109.8 %	4,740 件	74.0 %

逆紹介件数・逆紹介率

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率
足柄上病院	5,297 件	77.2 %	6,640 件	70.0 %
こども医療センター	5,228 件	55.9 %	<u>5,300</u> <u>0</u> 件	<u>58.0</u> <u>%</u>
精神医療センター	862 件	58.1 %	950 件	56.0 %
がんセンター	7,535 件	91.8 %	<u>7,470</u> <u>0</u> 件	<u>90.0</u> <u>%</u>
循環器呼吸器病センター	5,337 件	121.4 %	<u>4,914</u> <u>4</u> 件	<u>94.0</u> <u>%</u>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
※こども医療センター（ ）内数字については、算定方法が異なるため参考値。		

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(3) 臨床研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を整備し、多施設共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つという特徴を生かした臨床研究を推進する。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 難治性の小児疾患に関する臨床研究を推進する。 臨床応用を目指し、ゲノム医療等の最先端医療につながる研究を実施する。 	<p>(3) 臨床研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を強化し、多機関共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 各病院と本部事務局との連携の下、研究に係る事務業務の適正化を推進する。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つ病院の特徴を活かした臨床研究の推進について、検討を行う。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療の推進に向けて、がんセンターと連携し、基礎研究を進めるとともに、多機関共同研究にも積極的に参加する。 再生医療等製品の治験及び第三種再生医療等技術の提供に関する評価を行う。 ヒトゲノム解析研究に係る解析システムを開発するなど、診断率の向上につなげるとともに、未診断疾患イニシアチブ 	<p>(3) 臨床研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を強化し、多機関共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 各病院と本部事務局との連携の下、<u>競争的研究費等に係る不正防止計画の策定、研究費執行マニュアル及びコンプライアンス教育実施計画を運用し</u>、研究に係る事務業務の適正化を推進する。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つ病院の特徴を活かした臨床研究を推進する。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療の推進に向けて、がんセンターと連携し、基礎研究を進めるとともに、多機関共同研究にも積極的に参加する。 <u>医師主導治験への参加</u>や第三種再生医療等技術の提供に関する評価を行う。 ヒトゲノム解析研究に係る解析システムを開発するなど、診断率の向上につなげるとともに、未診断疾患イニシアチブ

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進する。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんの新たな診断・治療方法の開発を推進する。 臨床応用を目指し、がんゲノム医療や免疫医療等の最先端医療につながる研究を実施する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究を推進する。 	<p>(IRUD)の拠点病院としての機能の充実を図る。</p> <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進するほか、反復経頭蓋磁気刺激法(r-TMS)の国内における有効性及び安全性に係る調査などを実施する。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんワクチン療法などのがん免疫療法の臨床研究を継続するとともに、免疫療法の有効性を高めるバイオマーカーの臨床研究を推進する。 がんゲノム医療の推進と並行して、診療データ等を利活用したがんゲノム医療の質的向上に資する臨床研究や基盤的研究を企画・推進する。 生体試料センターで収集する臨床検体及び患者由来オルガノイド並びにがん移植モデル動物等を用いた臨床研究を、産学と連携して推進する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」をはじめ、間質性肺炎や 	<p>(IRUD)の拠点病院としての機能の充実を図る。</p> <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進するほか、<u>抗精神病薬と認知機能リハビリテーションの併用による認知機能への影響に係る多機関共同研究に参加する。</u> <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんワクチン療法などのがん免疫療法の臨床研究を継続するとともに、免疫療法の有効性を高めるバイオマーカーの臨床研究を推進する。 がんゲノム医療の推進と並行して、診療データ等を利活用したがんゲノム医療の質的向上に資する臨床研究や基盤的研究を企画・推進する。 生体試料センターで収集する臨床検体及び患者由来オルガノイド並びにがん移植モデル動物等を用いた臨床研究を、産学と連携して推進する。 <u>研究支援センターを設置し、公的外部資金の獲得及び英文論文の作成を推進する。</u> <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」をはじめ、間質性肺炎や

第三期中期計画

(こども医療センター・がんセンター)
 ・ 小児がん、AYA世代のがんについて臨床研究を進める。

[目標値]

治験受託件数

病院名	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値
足柄上病院	4件	4件
こども医療センター	39件	36件
精神医療センター	3件	2件
がんセンター	158件	230件
循環器呼吸器病センター	44件	30件
計	248件	302件

令和4年度計画

肺がんなどの呼吸器疾患及び循環器疾患に対して専門性を活かした臨床研究や治験を推進する。

(こども医療センター・がんセンター)
 ・ 小児の固形腫瘍、AYA世代の軟部肉腫などについて、こども医療センターとがんセンターが連携してがん移植モデル動物を作製し、基礎研究、臨床研究を進める。

[目標値]

治験受託件数

病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値
足柄上病院	4件	4件
こども医療センター	31件	23件
精神医療センター	2件	1件
がんセンター	208件	210件
循環器呼吸器病センター	41件	30件
計	286件	268件

令和5年度計画(案)

肺がんなどの呼吸器疾患及び循環器疾患に対して専門性を活かした臨床研究や治験を推進する。

(こども医療センター・がんセンター)
 ・ 小児の固形腫瘍、AYA世代の軟部肉腫などについて、こども医療センターとがんセンターが連携してがん移植モデル動物を作製し、基礎研究、臨床研究を進める。

[目標値]

治験受託件数

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
足柄上病院	3件	<u>1件</u>
こども医療センター	17件	<u>25件</u>
精神医療センター	2件	2件
がんセンター	233件	<u>250件</u>
循環器呼吸器病センター	43件	<u>47件</u>
計	298件	<u>325件</u>

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

介入を伴う医師主導臨床試験（多施設で実施するもののみ）実施件数

病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値
こども医療 センター	29件	40件
がんセンタ ー	240件	240件
循環器呼吸 器病センタ ー	31件	31件

介入を伴う医師主導臨床試験（多施設で実施するもののみ）実施件数

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
こども医療 センター	45件	<u>40件</u>
がんセンタ ー	246件	<u>250件</u>
循環器呼吸 器病センタ ー	35件	<u>25件</u>

筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る）

病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値
こども医療 センター	43件	34件
がんセンタ ー	63件	70件
循環器呼吸 器病センタ ー	23件	23件

筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る）

病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値
こども医療 センター	31件	<u>52件</u>
がんセンタ ー	71件	<u>75件</u>
循環器呼吸 器病センタ ー	23件	<u>23件</u>

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)																																							
<p>(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム、遠隔医療技術を活用し、効果的・効率的な医療を提供する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 <p>[目標値] 地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数</p> <table border="1" data-bbox="109 1015 763 1468"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>27機関</td> <td>27機関</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>38機関</td> <td>108機関</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>49機関</td> <td>60機関</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>50機関</td> <td>80機関</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値	足柄上病院	27機関	27機関	こども医療センター	38機関	108機関	がんセンター	49機関	60機関	循環器呼吸器病センター	50機関	80機関	<p>(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム等を活用し、効果的・効率的な医療の提供を推進する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 <p>[目標値] 地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数</p> <table border="1" data-bbox="855 1015 1453 1372"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和4年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>27機関</td> <td>27機関</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>63機関</td> <td>88機関</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>59機関</td> <td>61機関</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値	足柄上病院	27機関	27機関	こども医療センター	63機関	88機関	がんセンター	59機関	61機関	<p>(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム等を活用し、効果的・効率的な医療の提供を推進する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 <u>マイナンバーカードによるオンライン資格確認を活用した医療提供を行うとともに、電子処方箋やオンライン診療等の活用に向けた検討を行う。</u> <p>[目標値] 地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数</p> <table border="1" data-bbox="1538 1015 2136 1372"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>27機関</td> <td>27機関</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>67機関</td> <td><u>100機関</u></td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>62機関</td> <td><u>62機関</u></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	足柄上病院	27機関	27機関	こども医療センター	67機関	<u>100機関</u>	がんセンター	62機関	<u>62機関</u>
病院名	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値																																							
足柄上病院	27機関	27機関																																							
こども医療センター	38機関	108機関																																							
がんセンター	49機関	60機関																																							
循環器呼吸器病センター	50機関	80機関																																							
病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値																																							
足柄上病院	27機関	27機関																																							
こども医療センター	63機関	88機関																																							
がんセンター	59機関	61機関																																							
病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																																							
足柄上病院	27機関	27機関																																							
こども医療センター	67機関	<u>100機関</u>																																							
がんセンター	62機関	<u>62機関</u>																																							

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
			循環器呼吸器病センター	67機関	70機関	循環器呼吸器病センター	75機関	<u>95機関</u>
<p>※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標を設定しない。</p> <p>イ AIを活用した医療への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> AIによる診断補助システムなどを導入し、より正確で質の高い医療を提供する。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、関連機関と連携してAI医療機器の開発研究等に協力する。 			<p>※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。</p> <p>イ AIを活用した医療への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> AIによる診断補助システムの導入など、より正確で質の高い医療の提供に向けて検討を行う。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、引き続き関連機関と連携してAI医療機器の開発研究等に協力する。 がんセンターにおいて、引き続き内視鏡診断にAIを活用する事業へ参画し、開発研究に協力する。また、「AI遺伝カウンセラー」の実証に向けた研究を継続する。 循環器呼吸器病センターにおいて、「官民研究開発投資拡大プログラム：新薬創出を加速する人工知能の開発」事業に参画し、公的研究機関が実施するAIを活用した間質性肺炎の新薬創出研究に協力する。また、間質性肺炎の病名推定AIの開発研究を民間企業と共同で実施する。 			<p>※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。</p> <p>イ AIを活用した医療への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> AIによる診断補助システムの導入など、より正確で質の高い医療の提供に向けて検討を行う。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、引き続き関連機関と連携してAI医療機器の開発研究等に協力する。 がんセンターにおいて、引き続き内視鏡診断にAIを活用する事業へ参画し、開発研究に協力する。また、「AI遺伝カウンセラー」の臨床導入を進める。 循環器呼吸器病センターにおいて、「官民研究開発投資拡大プログラム：新薬創出を加速する人工知能の開発」事業に参画し、公的研究機関が実施するAIを活用した間質性肺炎の新薬創出研究に協力する。また、<u>間質性肺疾患の診断、並びに予後や疾患進行を予測するAIを構築する多機関共同研究に参加する。</u> 		

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)																											
<p>3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供</p> <p>(1) 医療安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故を防止するため、医療安全管理に対する取組みを引き続き推進する。不測の事態が発生した場合は、迅速かつ適切に対応するとともに、再発防止対策の徹底を図る。 院内感染の発生予防及び拡大防止のため、発生状況の把握や感染源及び感染経路に応じた適切な対応を行う。 <p>[目標値] ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合</p> <table border="1" data-bbox="109 1161 763 1417"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>86.7%</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>91.0%</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値	足柄上病院	86.7%	86.0%	こども医療センター	91.0%	92.0%	<p>3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供</p> <p>(1) 医療安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故等対応マニュアルの運用を徹底し、医療事故等の発生の際には迅速な対応、適切な現状把握・報告・記録を行い、医療安全推進会議等で情報共有し、再発防止を検討する。 各病院において医療安全に関わる会議や研修を開催し、医療安全対策の取組みや職員の教育を徹底する。 レベル0及びレベル1のヒヤリ・ハット事例の積極的な報告を推進する。特に、医師からの報告割合を高め、重大事故の未然防止に努める。 <p>[目標値] ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合</p> <table border="1" data-bbox="853 1161 1451 1417"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和4年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>91.4%</td> <td>85.2%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>93.9%</td> <td>91.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値	足柄上病院	91.4%	85.2%	こども医療センター	93.9%	91.6%	<p>3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供</p> <p>(1) 医療安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故等対応マニュアルの運用を徹底し、医療事故等の発生の際には迅速な対応、適切な現状把握・報告・記録を行い、医療安全推進会議等で情報共有し、再発防止を検討する。 各病院において医療安全に関わる会議や研修を開催し、医療安全対策の取組みや職員の教育を徹底する。 レベル0及びレベル1のヒヤリ・ハット事例の積極的な報告を推進する。特に、医師からの報告割合を高め、重大事故の未然防止に努める。 <p>[目標値] ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合</p> <table border="1" data-bbox="1538 1161 2128 1417"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>89.7%</td> <td>85.6%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>92.4%</td> <td>91.8%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	足柄上病院	89.7%	85.6%	こども医療センター	92.4%	91.8%
病院名	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値																											
足柄上病院	86.7%	86.0%																											
こども医療センター	91.0%	92.0%																											
病院名	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値																											
足柄上病院	91.4%	85.2%																											
こども医療センター	93.9%	91.6%																											
病院名	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																											
足柄上病院	89.7%	85.6%																											
こども医療センター	92.4%	91.8%																											

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
精神医療センター	81.8%	85.0%	精神医療センター	85.6%	84.0%	精神医療センター	85.6%	84.5%
がんセンター	75.5%	80.0%	がんセンター	77.7%	78.0%	がんセンター	76.8%	79.0%
循環器呼吸器病センター	88.7%	91.0%	循環器呼吸器病センター	91.9%	90.0%	循環器呼吸器病センター	90.9%	90.5%

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合

病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値
足柄上病院	0.6%	3.0%
こども医療センター	2.4%	4.0%
精神医療センター	0.9%	2.0%
がんセンター	2.3%	4.0%
循環器呼吸器病センター	2.0%	4.0%

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合

病院名	令和2年度実績値	令和4年度目標値
足柄上病院	1.9%	2.0%
こども医療センター	4.2%	3.4%
精神医療センター	2.6%	1.6%
がんセンター	3.0%	3.5%
循環器呼吸器病センター	4.3%	3.2%

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合

病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値
足柄上病院	2.6%	2.5%
こども医療センター	4.7%	3.7%
精神医療センター	2.4%	<u>2.0%</u>
がんセンター	3.2%	<u>3.8%</u>
循環器呼吸器病センター	4.2%	3.6%

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(2) 患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し、職員の接遇能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間の短縮に努めるとともに、アメニティの向上による心理的負担感の軽減に取り組む。 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 入院前や入院初期の時点から、患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 	<p>(2) 患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <p>【満足度向上に向けた取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、患者対応能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間の短縮化に各病院が努めるとともに、アメニティの向上などにより心理的負担感を軽減させる取組みを行う。 患者サービスの向上を図るため、フリーWi-Fiサービスの提供を行う。 <p>【患者支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。 	<p>(2) 患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <p>【満足度向上に向けた取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、患者対応能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間の短縮化に各病院が努めるとともに、アメニティの向上などにより心理的負担感を軽減させる取組みを行う。 患者サービスの向上を図るため、<u>すべての病院で</u>フリーWi-Fiサービスの提供を行う。 <p>【患者支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療内容を標準化し、良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの拡大や見直しを行う。 ・ 疾患や予防等に関する県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 ・ 入院前や入院初期の時点から患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 ・ 診療内容の標準化や良質な医療の効率的な提供に資するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 退院困難な要因を有するが、在宅での療養を希望する患者に対し、訪問看護師やケアマネジャーなどを含めた院内外の多職種による退院支援の充実強化を図る。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が続けられるよう療養支援体制を整える。 <p>(再掲)</p> <p>(精神医療センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 ・ 入院前や入院初期の時点から患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 ・ 診療内容の標準化や良質な医療の効率的な提供に資するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 退院困難な要因を有するが、在宅での療養を希望する患者に対し、訪問看護師やケアマネジャーなどを含めた院内外の多職種による退院支援の充実強化を図る。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院前から退院後の生活を視野に入れた支援体制の構築を目指し前方連携から後方連携まで、地域連携家族支援局で協働し患者家族支援を行う。また、入院前から退院後まで安心して地域で療養生活が続けられるよう療養支援体制を整える。 <p>(再掲)</p> <p>(精神医療センター)</p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士が依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、定期的に依存症家族セミナーを開催し、患者・家族支援を充実する。 ・ 長期入院患者への集中的な退院前及び退院後訪問看護や地域移行に向けたケースワークに積極的に取り組むことで退院後の患者家族や入所施設等への支援に努める。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者会の運営支援、アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、院内関係部署が連携し、質の高い患者支援を行う。(再掲) ・ 就労支援等において、院内多職種が社会保険労務士やハローワーク、臨床心理士等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。(再掲) <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い、交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士が依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、定期的に依存症家族セミナーを開催し、患者・家族支援を充実する。 ・ 長期入院患者への集中的な退院前及び退院後訪問看護や地域移行に向けたケースワークに積極的に取り組むことで退院後の患者家族や入所施設等への支援に努める。<u>また、受診依頼への迅速な対応を進め、積極的な患者受入れを進めていく。</u> <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談に対し、関係部署が連携し、質の高い患者支援を行う。(再掲)</u> ・ 就労支援等において、院内の<u>関係部署が社会保険労務士やハローワーク、産業保健総合支援センター等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。(再掲)</u> <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い、交流を図る。

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

【情報発信】

- ・ 疾患や予防等に関する県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。
- ・ 患者家族や他の医療機関が見やすいホームページの構築に向け、がんセンターのホームページリニューアルに続いて、こども医療センターや精神医療センターのリニューアルに取り組む。

[目標値]

入院患者満足度・外来患者満足度

病院名	令和2年度実績値		令和4年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
足柄上病院	100.0%	95.1%	100.0%	100.0%
こども医療センター	96.0%	93.0%	100.0%	100.0%
精神医療センター	76.0%	94.0%	80.0%	93.0%
がんセンター	92.4%	82.1%	100.0%	100.0%

【情報発信】

- ・ 各病院が担う役割・機能のほか、疾患や予防等に関して県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。
- ・ 患者家族や他の医療機関が見やすいホームページの構築に向け、足柄上病院と循環器呼吸器病センターのホームページリニューアルに取り組み、全ての病院でリニューアルを完了する。

[目標値]

入院患者満足度・外来患者満足度

病院名	令和3年度実績値		令和5年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
足柄上病院	100.0%	97.8%	100.0%	100.0%
こども医療センター	96.0%	88.0%	100.0%	100.0%
精神医療センター	78.0%	87.6%	80.0%	93.0%
がんセンター	94.3%	89.7%	100.0%	100.0%

[目標値]

入院患者満足度・外来患者満足度

病院名	平成30年度実績値		令和6年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
足柄上病院	97.1%	91.7%	100.0%	100.0%
こども医療センター	97.0%	96.0%	100.0%	100.0%
精神医療センター	75.5%	92.4%	80.0%	93.0%
がんセンター	95.5%	91.1%	100.0%	100.0%

第三期中期計画					令和4年度計画					令和5年度計画（案）				
循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	98.2%	98.4%	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	99.4%	99.7%	100.0%	100.0%
入退院支援実施件数					入退院支援実施件数					入退院支援実施件数				
病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値			病院名	令和2年度実績値	令和4年度目標値			病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値		
足柄上病院	1,570件	1,800件			足柄上病院	1,170件	1,740件			足柄上病院	1,738件	1,770件		
こども医療センター	1,493件	1,500件			こども医療センター	1,923件	1,500件			こども医療センター	2,539件	<u>2,600件</u>		
がんセンター	8,189件	9,500件			がんセンター	9,313件	9,500件			がんセンター	9,108件	9,500件		
循環器呼吸器病センター	2,268件	2,300件			循環器呼吸器病センター	1,630件	2,300件			循環器呼吸器病センター	1,742件	2,300件		
計	13,520件	15,100件			計	14,036件	15,040件			計	15,127件	<u>16,170件</u>		
※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。					※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。					※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。				
入院時支援実施件数					入院時支援実施件数					入院時支援実施件数				
病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値			病院名	令和2年度実績値	令和4年度目標値			病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値		
足柄上病院	206件	600件			足柄上病院	372件	540件			足柄上病院	501件	570件		
こども医療センター	333件	800件			こども医療センター	582件	800件			こども医療センター	793件	800件		

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
がんセンター	371件	750件	がんセンタ ー	964件	1,000件	がんセンタ ー	952件	<u>1,000件</u>
循環器呼吸器病 センター	732件	750件	循環器呼吸 器病センタ ー	696件	750件	循環器呼吸 器病センタ ー	676件	750件
計	1,642件	2,900件	計	2,614件	3,090件	計	2,922件	<u>3,120件</u>
※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象 外の精神医療センターは目標を設定しな い。			※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象 外の精神医療センターは目標を設定しない。			※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象 外の精神医療センターは目標を設定しない。		

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(3) 災害時の医療提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検・整備を行う。 災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるよう、BCP(事業継続計画)について、すでに整備済みの足柄上病院を除いて、全所属で整備する。 足柄上病院は、災害拠点病院及び神奈川DMAT指定病院としての体制を充実強化する。(再掲) こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。 	<p>(3) 災害時の医療提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検・整備を行う。 各所属が災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるようにBCP(事業継続計画)に沿った想定訓練を行い、BCPの内容を定期的に見直す。 足柄上病院は、神奈川DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。(再掲) 精神医療センターは、災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を 	<p>(3) 災害時の医療提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検・整備を行う。 各所属が災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるようにBCP(事業継続計画)に沿った想定訓練を行い、BCPの内容を<u>適宜</u>、見直す。 <p>(足柄上病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>令和4年度末に、小田原市立病院との間で締結した「災害時における協定病院間の相互支援に関する協定」に基づき、災害時には相互支援を行うほか、定例会議の開催や合同災害訓練の実施などに取り組む。(再掲)</u> <u>神奈川DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。(再掲)</u> <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>精神医療センターは、災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を</u>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<p>提供する上での中心的な役割を担う。（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。 	<p>提供する上での中心的な役割を担う。（再掲）</p> <p><u>（こども医療センター・精神医療センター）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(4) 感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底する。 新型インフルエンザなどの新たな感染症や結核等の再興感染症に対しては、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を生かした取組みを推進する。 	<p>(4) 感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底し、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を活かした取組みを推進する。 令和4年2月に策定した感染防止対策の取組みに基づき、本部事務局に感染制御にあたる医師及び看護師を配置するほか、各病院においてレジオネラ対策の実施などに取り組む。 特に、新型コロナウイルス感染症に対して、足柄上病院及び循環器呼吸器病センターは重点医療機関、精神医療センターは精神科コロナ重点医療機関、こども医療センターは高度医療機関、がんセンターは重点医療機関協力病院として、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行う。 	<p>(4) 感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底し、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を活かした取組みを推進する。 令和4年2月に策定した感染防止対策の取組みに基づき、本部事務局に感染制御にあたる医師及び看護師を配置するほか、各病院においてレジオネラ対策の実施などに取り組む。 <u>感染管理認定看護師等の専門人材の育成に努めるとともに、各病院で策定している感染拡大時の診療継続計画を適宜見直すなど、平時からの感染症対策に取り組む。また、感染防護具等の備蓄についても取り組む。</u> 特に、新型コロナウイルス感染症に対して、足柄上病院及び循環器呼吸器病センターは重点医療機関、精神医療センターは精神科コロナ重点医療機関、こども医療センターは高度医療機関、がんセンターは重点医療機関協力病院として、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行う。

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

- ・ 感染制御推進会議や感染制御ワーキンググループにおける検討や情報共有を通して、感染対策の強化を図る。特に、新型コロナウイルス感染症に対しては、感染状況に応じて会議やワーキングを開催し、各病院の状況や課題を把握した上で適切な対応を行う。

- ・ 各病院において、通常医療との両立を維持しつつ、新型コロナウイルス感染症の患者受入れ等の対応を行う。
- ・ 感染制御推進会議や感染制御ワーキンググループにおける検討や情報共有を通して、感染対策の強化を図りながら、新型コロナウイルス感染症等に対しては、~~感染状況に応じて会議やワーキングを開催し、各病院の状況や課題を把握した上で適切な対応を行う。~~

〔目標値〕 手指消毒剤使用割合

病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値
足柄上病院	9.6 ml	17.1 ml
こども医療センター	19.1 ml	28.0 ml
精神医療センター	1.6 ml	5.0 ml
がんセンター	9.1 ml	12.0 ml
循環器呼吸器病センター	9.7 ml	20.0 ml

※手指消毒剤払出量 (ml) / 延入院患者数で算出。患者一人当たり1日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している

〔目標値〕 手指消毒剤使用割合

病院名	令和2年度実績値	令和4年度目標値
足柄上病院	21.5 ml	14.1 ml
こども医療センター	37.1 ml	24.0 ml
精神医療センター	16.4 ml	3.4 ml
がんセンター	24.0 ml	11.5 ml
循環器呼吸器病センター	30.9 ml	16.0 ml

※手指消毒剤払出量 (ml) / 延入院患者数で算出。患者一人当たり1日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している1日の

〔目標値〕 手指消毒剤使用割合

病院名	令和3年度実績値	令和5年度目標値
足柄上病院	20.2 ml	15.6 ml
こども医療センター	39.3 ml	<u>40.0 ml</u>
精神医療センター	8.1 ml	<u>5.0 ml</u>
がんセンター	23.3 ml	11.7 ml
循環器呼吸器病センター	34.0 ml	<u>20.0 ml</u>

※手指消毒剤払出量 (ml) / 延入院患者数で算出。患者一人当たり1日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している1日の

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
1日の使用量の目安は延患者1,000人当たり20リットル。	使用量の目安は延患者1,000人当たり20リットル。	使用量の目安は延患者1,000人当たり20リットル。

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>(5) 第三者評価の活用</p> <p>病院機能評価の認定を受けている病院については、病院機能評価の活用を図る。それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。</p>	<p>(5) 第三者評価の活用</p> <p>病院機能評価の認定を受けているこども医療センター及びがんセンターでは、病院機能評価の評価結果を運営に反映させる。また、がんセンターにおいては、日本医療機能評価機構の新たな機能種別(一般病院3)の令和5年度認定に向けて準備を進める。それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。</p>	<p>(5) 第三者評価の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>病院機能評価(一般病院2)の認定を受けているこども医療センター及びがんセンターでは、病院機能評価の評価結果を運営に反映させる。また、こども医療センターにおいては、令和6年度の更新に向けて準備を進める。</u> ・ —また、がんセンターにおいては、<u>病院機能評価(一般病院3)の認定のための審査を受審する。</u> ・ <u>精神医療センターでは、厚生労働省の「心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業」において、他医療機関の医師、看護師等による、医療観察法病棟の医療体制の評価を受け、医療観察法病棟の医療提供体制の充実を図る。</u> ・ <u>それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。</u>

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>4 県の施策との連携</p> <p>(1) 県の施策との連携・協働</p> <p>神奈川県が推進する保健医療施策等の諸施策について、県と連携して取り組む。</p>	<p>4 県の施策との連携</p> <p>(1) 県の施策との連携・協働</p> <p>(足柄上病院・循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が推進する県民の未病改善の取組みを推進するため、未病の状態から医師等が運動や食事等の生活指導を中心とした行動変容を促す「未病コンディショニングセンター(仮称)」の機能の実証事業を行う。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低出生体重児の発達記録を管理するアプリケーションとマイME-BYOカルテの連携構築に係る実証実験を行うほか、リトルベビーハンドブックの作成を支援する。 ・ 医療的ケア児及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、県と連携して支援する。 ・ かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の運営を支援する。 ・ みらい支援外来を運営し、かながわ移行期医療支援センターの取組みを支援する。 <p>(精神医療センター)</p>	<p>4 県の施策との連携</p> <p>(1) 県の施策との連携・協働</p> <p>(足柄上病院・循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が推進する県民の未病改善の取組みを推進するため、未病の状態から医師等が運動や食事等の生活指導を中心とした行動変容を促す「未病コンディショニングセンター(仮称)」の機能の実証事業を引き続き行う。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低出生体重児の発達記録を管理するアプリケーションとマイME-BYOカルテの連携構築に係る実証実験を行うほか、リトルベビーハンドブックの作成を支援する。 ・ 医療的ケア児及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、県と連携して支援する。 ・ かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の運営を支援する。 ・ みらい支援外来を運営し、かながわ移行期医療支援センターの取組みを支援する。 <p>(精神医療センター)</p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の依存症対策を推進するため、依存症に関する取組みの情報発信、薬物乱用防止教室への医師・看護師の派遣や研修の実施など普及啓発活動を実施する。 (がんセンター) ・ 「神奈川県みらい未病コホート研究」を推進するとともに、その研究基盤を活用した「未病指標の精緻化」実証事業を行う。また、がん対策として県が進めるがん教育について、外部講師の養成等を支援する。 ・ 漢方サポートセンター、アピアランスサポートセンター及びがんワクチン・免疫センターの運営や地域がん登録事業に取り組む。 ・ 県民のニーズに応じたがんに関する情報の集約や、情報を効果的に発信するための方法などについて、県との検討を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の依存症対策を推進するため、依存症に関する取組みの情報発信、<u>各種講演会や研修会の開催など普及啓発活動を実施する。</u> (がんセンター) ・ 「神奈川県みらい未病コホート研究」を推進するとともに、その研究基盤を活用した「未病指標の精緻化」実証事業を行う。 ・ <u>地域がん登録事業に引き続き取り組み、地域がん登録データを活用した健診精度評価システムの開発を進める。</u> ・ <u>また、がん対策として県が進めるがん教育について、外部講師の派遣、養成や教育ビデオの作成等を支援する。</u> ・ 漢方サポートセンター、アピアランスサポートセンター及びがんワクチン・免疫センターの<u>円滑な運営に取り組む。</u> ・ <u>がん情報センターを設置して、がん登録データの活用や国立がん研究センターがん情報サービス及び県との連携により、県民のニーズに応じたがんに関する情報をホームページで効果的に発信する。</u>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>(2) 将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 足柄上病院及び循環器呼吸器病センターについては、外部有識者や地域の関係機関などの参画を得て、引き続き、地域における病院の機能や役割、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。 	<p>(2) 将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 足柄上病院については、地元自治体や医療関係者などの参画を得て、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。特に小田原市立病院に対しては、「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、連携・協力関係を推進する。 循環器呼吸器病センターについては、地域における病院の機能や役割について、院内にチームを設置し、疾患別の収支や 	<p>(2) 将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 <p><u>(足柄上病院)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地元自治体や医療関係者などの参画を得て、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。特に小田原市立病院に対しては、「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」等に基づき、<u>連携・協力関係の強化を図る。</u> <u>リハビリ機能の強化による地域包括ケアシステムの推進及び感染症医療の充実強化に向け、再整備事業に取り組む。</u> <p><u>(精神医療センター)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>現状以上に地域の医療機関の救急患者や重症患者の受け入れ要請に応えられる医療提供体制のあり方について検討していく。</u> <p><u>(循環器呼吸器病センター)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における病院の機能や役割について、院内にチームを設置し、疾患別の収支や効率性の算出、ベッドの効率的運用方

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	効率性の算出、ベッドの効率的運用方法、ブランディングなどの経営戦略を検討していく。	法、ブランディングなどの経営戦略を <u>引き続き</u> 検討していく。

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催、内部監査の実施など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催、内部監査の実施など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。</p>

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じて、高度・専門医療を提供していくため、医療機器等については、経営改善により財源を確保し、計画的に整備を進めていく。 特に、高額医療機器の購入にあたっては、機器ごとに稼働件数の目標値を設定し、定期的に目標達成状況の検証を実施する。 事務部門を中心に、ICTなどの最先端技術を活用した業務改善を行い、法人運営の効率化を図る。 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図る。 こども医療センターとがんセンターの連携による、小児がん患者への重粒子線治療の提供や、こども医療センターと精神医療センターの連携による思春期医療の提供など、各病院が連携して適切な医療を提供する。 効果的・効率的な運営を図るため、各病院間で、患者の画像共有ができるような体制の整備や医療機器を共同で利用することについて検討する。 	<p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・専門医療を提供していくため、老朽化した医療機器の更新を計画的に進めるとともに、高額医療機器の稼働件数の目標値を設定し、定期的に達成状況を検証する。 固定資産の効果的・効率的な活用を図るため、各病院間で連携し、医療機器の共同利用や遊休資産の利活用を推進する。 本部及び各病院において、ICTを活用した情報系ネットワークの再整備や業務系システムの改善等を通じて、職員全員が利用できるシステム環境を整備するとともに、職員の運用を支援する体制を構築する。 体制を強化し、現在運用している情報セキュリティに関する規程等を見直すなど、県立病院機構のITガバナンスを強化する。 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図るための仕組みづくりを検討する。 	<p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・専門医療を提供していくため、老朽化した医療機器の更新を計画的に進めるとともに、高額医療機器の稼働件数の目標値を設定し、定期的に達成状況を検証する。 固定資産の効果的・効率的な活用を図るため、各病院間で連携し、医療機器の共同利用や遊休資産の利活用を推進する。 本部及び各病院において、ICTを活用した情報系ネットワークの再整備や業務系システムの改善等を通じて、職員全員が利用できるシステム環境を整備するとともに、職員の運用を支援する体制を構築する。 <u>体制を強化し、現在運用している情報セキュリティに関する規程等を見直すとともに、医療情報システムのセキュリティ対策を強化するなど、県立病院機構のITガバナンスを強化する。</u> 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図るための仕組みづくりを検討する。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																				
	<ul style="list-style-type: none"> こども医療センターとがんセンターが連携し、小児がん患者への重粒子線治療を継続して行う。 引き続きこども医療センターと精神医療センターとの定期的な連携会議を継続し、患者の成長段階に合わせた切れ目のない思春期精神科医療を提供するほか、精神医療センターの医師がこども医療センターでメンタルヘルス不調の妊産婦の診療を行う。 <p>[目標値] 令和4年度に導入（更新）する高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数</p> <table border="1" data-bbox="855 1062 1435 1356"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>高額医療機器</th> <th>令和4年度目標値</th> <th>(参考) 令和5年度目標値</th> <th>導入（更新）時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	高額医療機器	令和4年度目標値	(参考) 令和5年度目標値	導入（更新）時期						<ul style="list-style-type: none"> こども医療センターとがんセンターが連携し、小児がん患者への重粒子線治療を継続して行う。 引き続きこども医療センターと精神医療センターとの定期的な連携会議を継続し、患者の成長段階に合わせた切れ目のない思春期精神科医療を提供するほか、精神医療センターの医師がこども医療センターでメンタルヘルス不調の妊産婦の診療を行う。 <u>こども医療センターが、AYA世代の成人期に達した先天性心疾患患者を、循環器呼吸器病センターへ紹介することで引き続きフォローアップできる体制を整備する。</u> <p>[目標値] 令和5年度に導入（更新）する高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数</p> <table border="1" data-bbox="1536 1062 2116 1356"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>高額医療機器</th> <th>令和5年度目標値</th> <th>(参考) 令和6年度目標値</th> <th>導入（更新）時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	高額医療機器	令和5年度目標値	(参考) 令和6年度目標値	導入（更新）時期					
病院名	高額医療機器	令和4年度目標値	(参考) 令和5年度目標値	導入（更新）時期																		
病院名	高額医療機器	令和5年度目標値	(参考) 令和6年度目標値	導入（更新）時期																		

第三期中期計画	令和4年度計画					令和5年度計画（案）				
	こども 医療セ ンター	C型ア ーム血 管造影 装置	30件	124 件	令和 5年 1月	こども 医療セ ンター	MRI 診断シ ステム (3T)	534 件	1,60 0件	令和 5年 12月
						がんセ ンター (重粒 子線治 療施設)	重粒子 線治療 装置バ ージョ ンアッ プ	764 件	※	令和 6年 3月
	<p>※—令和6年度当初予算編成時に目標値の調整を予定</p>									

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営基盤の安定化を目指し、収益を最大化するとともに、収入の範囲内で質の高い医療を提供するため、計画的に病院経営を進める。 各病院の特性に応じた施設基準等を適時に取得するとともに、病床を効率的に運用することで計画の収益目標を確実に達成するため、経営分析機能を強化し、経営改善に向けた取組みを推進する。 K P I (重要業績評価指標) を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 K P I を用いた定期的なモニタリングを通じて、業績に応じた人員体制の見直しや、委託料の削減等を進めることで、収益の範囲で費用の適正化を図る。 特に、医事事務委託については、チェック体制の強化や専門人材の育成等の観点から、職員配置と合わせて見直しを検討する。 共同購入対象品目の拡大や後発医薬品の積極的な導入等の取組みにより、費用削減を進める。 	<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な平均在院日数の管理等により、病床の効率的な運用に努める。 各病院が届け出ている施設基準や適時調査等の情報を共有することで、機構全体で有効かつ効率的な対策の検討に努める。 診療報酬改定の状況に応じた診療体制等の検討を行う。 経営分析機能を強化し、各病院と経営管理室が連携を図りながら経営改善に向けた取組みを行う。 K P I (重要業績評価指標) を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 <p>< K P I (重要業績評価指標) > 新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、給与費等負荷率</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同購入対象品目の拡大や同種同効品の集約などを進め、費用削減に努める。 後発医薬品の積極的な導入により、費用削減に努める。 	<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な平均在院日数の管理等により、病床の効率的な運用に努める。 各病院が届け出ている施設基準や適時調査等の情報を共有することで、機構全体で有効かつ効率的な対策の検討に努める。 <u>次年度予定されている診療報酬改定に向け、早期の情報収集に努め適切に対応する。</u> 経営分析機能を強化し、各病院と経営管理室が連携を図りながら経営改善に向けた取組みを行う。 K P I (重要業績評価指標) を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 <p>< K P I (重要業績評価指標) > 新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、給与費等負荷率</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同購入対象品目について、<u>同種同効品の集約など積極的に推進し</u>、費用削減に努める。 後発医薬品の積極的な導入により、費用削減に努める。

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																																																				
<ul style="list-style-type: none"> 経営分析機能を強化し、診療報酬請求漏れの防止や、未収金の滞納発生防止及び早期回収の取組みを推進する。 診療報酬によらない料金については、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し、適時・適切な改定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬請求漏れ等のチェック体制の強化や専門人材の育成等の観点から、循環器呼吸器病センターにおける医事業務の直営化を開始するとともに、円滑に業務が実施されるよう、適宜病院と本部で情報共有を行う。 医事業務に係る研修を実施し、専門人材の育成に努める。 未収金の発生防止に取り組むとともに、弁護士法人等との未収金回収業務委託契約の締結により、未収金の早期回収に努める。 診療報酬によらない料金について、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し、適時・適切な改定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>エネルギー価格高騰に対応するためにも、蛍光灯のLED化を図り、電気料等の経費削減に努める。</u> <u>循環器呼吸器病センターにおける医事業務（入院会計）の直営化を通じて、専門人材を育成するとともに、診療報酬請求漏れ等のチェック体制を強化することにより、経営改善や業務の効率化に向けた機構全体での検証を進めていく。</u> 医事業務や経営分析に係る研修を実施し、専門人材の育成に努め、<u>経営改善に役立てていく。</u> 未収金の発生防止に取り組むとともに、弁護士法人等との未収金回収業務委託契約の締結により、<u>引き続き未収金の早期かつ効果的な回収に努める。</u> 診療報酬によらない料金について、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し、適時・適切な改定に努める。 																																																				
<p>[目標値]</p> <p>新入院患者数</p> <table border="1" data-bbox="107 1161 750 1481"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成30年度実績値</th> <th>令和6年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>5,412人</td> <td>5,420人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,071人</td> <td>7,940人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,156人</td> <td>1,350人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値	足柄上病院	5,412人	5,420人	こども医療センター	7,071人	7,940人	精神医療センター	1,156人	1,350人	<p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="853 1114 1451 1453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="6">令和2年度実績値</th> </tr> <tr> <th>新入院患者数</th> <th>病床稼働率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院単価</th> <th>外来延患者数</th> <th>外来単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和2年度実績値						新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価								<p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="1536 1209 2134 1453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="6">令和3年度実績値</th> </tr> <tr> <th>新入院患者数</th> <th>病床</th> <th>平均在院</th> <th>入院単価</th> <th>外来延患者数</th> <th>外来単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和3年度実績値						新入院患者数	病床	平均在院	入院単価	外来延患者数	外来単価							
病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値																																																				
足柄上病院	5,412人	5,420人																																																				
こども医療センター	7,071人	7,940人																																																				
精神医療センター	1,156人	1,350人																																																				
病院名	令和2年度実績値																																																					
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価																																																
病院名	令和3年度実績値																																																					
	新入院患者数	病床	平均在院	入院単価	外来延患者数	外来単価																																																

第三期中期計画			令和4年度計画						令和5年度計画（案）						
がんセンター	11,478人	12,130人	足柄上 病院	3,203人	42.3%	12.7日	57,368円	12,795円	稼働率	日数					
循環器呼吸器病センター	5,086人	5,090人													
※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。															
病床稼働率															
病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値													
足柄上病院	83.8%	84.0%													
こども医療センター	79.7%	85.4%													
精神医療センター	91.3%	92.2%													
がんセンター	86.5%	91.0%													
循環器呼吸器病センター	83.3%	82.8%													
※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。															
			こども医療センター	7,153人	71.5%	12.4日	104,219円	17,836円	足柄上病院	4,073人	58.1%	13.8日	59,686円	85,348人	13,875円
			精神医療センター	1,277人	84.5%	77.5日	26,806円	7,697円	こども医療センター	8,103人	72.5%	11.1日	102,966円	170,752人	17,947円
			がんセンター	11,259人	80.2%	10.8日	78,755円	38,071円	精神医療センター	1,342人	78.8%	69.1日	28,426円	54,863人	8,151円
			循環器呼吸器病センター	3,976人	57.1%	11.5日	69,422円	28,623円	がんセンター	10,755人	74.7%	10.5日	84,401円	257,114人	40,350円
※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。			※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。						※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。						
									循環器呼吸器病センター	3,923人	54.2%	11.0日	72,896円	86,518人	27,804円

病院名	令和4年度目標値					
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価
足柄上病院	5,121人	80.0%	15.1日	50,000円	85,800人	14,000円
こども医療センター	8,073人	83.1%	12.4日	102,870円	172,009人	18,058円
精神医療センター	1,300人	90.1%	81.0日	25,756円	59,049人	7,539円
がんセンター	11,230人	86.0%	11.6日	79,393円	255,037人	39,681円
循環器呼吸器病センター	5,379人	82.8%	12.3日	66,165円	95,220人	28,409円

※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。

※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。

※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。

区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値
給与費等負荷率	107.1%	97.3%

※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医療収益 - 材料費)

区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値
後発医薬品採用率(数量ベース)	81.0%	80.0%

区分	令和2年度実績				令和4年度 目標値
	令和元年度 発生額	令和2年度 回収額	回収率	回収率	
未収金の回収率					

区分	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値
給与費等負荷率	106.1%	98.1%

※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医療収益 - 材料費)

区分	平成30年度 実績値	令和6年度 目標値

病院名	令和5年度目標値					
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	外来延患者数	外来単価
足柄上病院	4,200人	80.0%	14.2日	52,987円	90,000人	14,276円
こども医療センター	8,296人	85.4%	11.5日	112,031円	175,286人	18,474円
精神医療センター	1,300人	90.1%	81.0日	25,849円	59,049人	7,813円
がんセンター	12,078人	86.0%	10.9日	85,034円	270,943人	40,452円
循環器呼吸器病センター	4,287人	81.6%	11.9日	68,692円	92,546人	28,037円

第三期中期計画			令和4年度計画				令和5年度計画（案）																								
後発医薬品採用率 （数量ベース）	80.6%	80.0%		175, 290 千円	144, 907 千円	82.7 %	91.0 %	※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。 ※がんセンターの数値は重粒子線治療施設を除いたもの。																							
			※令和元年度発生額及び令和2年度回収額には令和2年3月末日付入院料請求分を含む。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費等負 荷率</td> <td>106.4%</td> <td><u>95.3%</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (工業収益 - 材料費)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品 採用率(数量 ベース)</td> <td>81.4%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">令和3年度実績</th> <th>令和 5年 度目 標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金の回 収率</td> <td>令和 2年 度 発生 額</td> <td>令和 3年 度 回収 額</td> <td>回収 率</td> <td>回収 率</td> </tr> </tbody> </table>			区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	給与費等負 荷率	106.4%	<u>95.3%</u>	区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	後発医薬品 採用率(数量 ベース)	81.4%	80.0%	区分	令和3年度実績			令和 5年 度目 標値	未収金の回 収率	令和 2年 度 発生 額	令和 3年 度 回収 額	回収 率	回収 率
区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																													
給与費等負 荷率	106.4%	<u>95.3%</u>																													
区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																													
後発医薬品 採用率(数量 ベース)	81.4%	80.0%																													
区分	令和3年度実績			令和 5年 度目 標値																											
未収金の回 収率	令和 2年 度 発生 額	令和 3年 度 回収 額	回収 率	回収 率																											

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）				
			145, 432 千円	115, 906 千円	79.7 %	<u>91.0</u> %
<p>※令和2年度発生額及び令和3年度回収額には令和3年3月末日付入院料請求分を含む。</p>						

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)																																										
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>前項で定めた計画を確実に実施するため、経営改善アクションプランを定め、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。</p> <p><経営目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 第三期中期計画期間の最終年度には、病院機構全体の経常収支比率※1を100%以上とする。 第三期中期計画期間を累計し、医業収支比率※2を86.8%以上とする。 各年度において資金収支の均衡を達成する。 第三期中期計画期間内に、繰越欠損金を縮減する。 <p>※1 経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)</p> <p>※2 医業収支比率 = 医業収益 / 医業費用</p> <p>1 予算(人件費の見積りを含む。)(令和2年度～令和6年度)</p> <p style="text-align: right;">(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="190 1401 734 1449"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額(税込)			<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>計画を確実に実施するために策定した経営改善アクションプランに基づき、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。</p> <p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="855 630 1451 1118"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和4年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>106.0%</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>82.0%</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>資金収支</td> <td>+657,455 千円</td> <td>-678,603 千円</td> </tr> <tr> <td>有利子長期負債</td> <td>45,281,730 千円</td> <td>41,597,192 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 予算(人件費の見積りを含む。)(令和4年度)</p> <p style="text-align: right;">(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="887 1409 1451 1457"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値	経常収支比率	106.0%	99.5%	医業収支比率	82.0%	87.6%	資金収支	+657,455 千円	-678,603 千円	有利子長期負債	45,281,730 千円	41,597,192 千円	区分	金額(税込)			<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>計画を確実に実施するために策定した経営改善アクションプランに基づき、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。</p> <p>[目標値]</p> <table border="1" data-bbox="1534 630 2130 1166"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和5年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>105.0%</td> <td><u>99.4%</u></td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>83.8%</td> <td><u>88.3%</u></td> </tr> <tr> <td>資金収支</td> <td>+ 3,505,488 千円</td> <td><u>+477,949</u> 円</td> </tr> <tr> <td>有利子長期負債</td> <td>42,572,499 千円</td> <td><u>39,297,842</u> 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 予算(人件費の見積りを含む。)(令和5年度)</p> <p style="text-align: right;">(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="1568 1409 2130 1457"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値	経常収支比率	105.0%	<u>99.4%</u>	医業収支比率	83.8%	<u>88.3%</u>	資金収支	+ 3,505,488 千円	<u>+477,949</u> 円	有利子長期負債	42,572,499 千円	<u>39,297,842</u> 千円	区分	金額(税込)		
区分	金額(税込)																																											
区分	令和2年度 実績値	令和4年度 目標値																																										
経常収支比率	106.0%	99.5%																																										
医業収支比率	82.0%	87.6%																																										
資金収支	+657,455 千円	-678,603 千円																																										
有利子長期負債	45,281,730 千円	41,597,192 千円																																										
区分	金額(税込)																																											
区分	令和3年度 実績値	令和5年度 目標値																																										
経常収支比率	105.0%	<u>99.4%</u>																																										
医業収支比率	83.8%	<u>88.3%</u>																																										
資金収支	+ 3,505,488 千円	<u>+477,949</u> 円																																										
有利子長期負債	42,572,499 千円	<u>39,297,842</u> 千円																																										
区分	金額(税込)																																											

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
収入			収入			収入		
	営業収益	310,897		営業収益	63,874		営業収益	<u>67,772</u>
	医業収益	257,934		医業収益	53,549		医業収益	<u>57,436</u>
	運営費負担			運営費負担			運営費負担	
	金収益	50,356		金収益	9,734		金収益	<u>9,809</u>
	その他営業			その他営業			その他営業	
	収益	2,608		収益	590		収益	<u>528</u>
	営業外収益	4,977		営業外収益	1,049		営業外収益	<u>1,151</u>
	運営費負担			運営費負担			運営費負担	
	金収益	1,535		金収益	299		金収益	<u>273</u>
	その他営業			その他営業			その他営業	
	外収益	3,442		外収益	750		外収益	<u>877</u>
	臨時利益	0		臨時利益	0		臨時利益	<u>0</u>
	資本収入	16,674		資本収入	3,641		資本収入	<u>3,935</u>
	長期借入金	8,557		長期借入金	1,966		長期借入金	<u>2,306</u>
	運営費負担			運営費負担			運営費負担	
	金収入	8,002		金収入	1,652		金収入	<u>1,593</u>
その他資本		その他資本		その他資本				
収入	115	収入	23	収入	<u>37</u>			
その他の収入	0	その他の収入	0	その他の収入	<u>0</u>			
計	332,549	計	68,564	計	<u>72,858</u>			
支出			支出			支出		
	営業費用	313,286		営業費用	64,581		営業費用	<u>68,725</u>
	医業費用	303,786		医業費用	62,501		医業費用	<u>66,493</u>
	給与費	137,566		給与費	27,230		給与費	<u>28,566</u>
	材料費	78,319		材料費	16,942		材料費	<u>18,553</u>
	経費	57,275		経費	12,078		経費	<u>13,079</u>

第三期中期計画				令和4年度計画				令和5年度計画(案)			
		減価償却費	17,774			減価償却費	3,405			減価償却費	3,504
		研究研修費	5,793			研究研修費	1,475			研究研修費	1,458
		うち 給与費	2,950			うち 給与費	597			うち 給与費	577
		児童福祉施設費	7,058			児童福祉施設費	1,371			児童福祉施設費	1,333
		うち 給与費	5,256			うち 給与費	1,011			うち 給与費	973
		一般管理費	2,671			一般管理費	565			一般管理費	600
		うち 給与費	2,111			うち 給与費	426			うち 給与費	465
		その他営業費用	6,829			その他営業費用	1,515			その他営業費用	1,631
		営業外費用	3,505			営業外費用	662			営業外費用	627
		臨時損失	404			臨時損失	85			臨時損失	170
		資本支出	29,977			資本支出	7,219			資本支出	6,416
		建設改良費	9,296			建設改良費	3,419			建設改良費	2,616
		償還金	20,459			償還金	3,755			償還金	3,742
		その他資本支出	221			その他資本支出	44			その他資本支出	58
		その他の支出	0			その他の支出	0			その他の支出	0
		計	347,171			計	72,547			計	75,939

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）																								
<p>(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。 (注2) 期間中の診療報酬改定や給与改定等の変動は考慮していない。</p> <p>[人件費の見積り] 期間中総額147,883百万円を支出する（給与費の合計額）。なお、当該金額は、役員報酬並びに職員基本給、職員手当、退職給与金及び法定福利費等の額に相当するものである。</p> <p>[運営費負担金の算定ルール] 救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定を基に算出された額とする。</p> <p>建設改良費及び長期借入金等償還金（利子）に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。</p> <p>長期借入金等償還金（元金）に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。</p>	<p>(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。</p> <p>[人件費の見積り] 期間中総額29,264百万円を支出する（給与費の合計額）。なお、当該金額は、役員報酬並びに職員基本給、職員手当、退職給与金及び法定福利費等の額に相当するものである。</p>	<p>(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。</p> <p>[人件費の見積り] 期間中総額30,580百万円を支出する（給与費の合計額）。なお、当該金額は、役員報酬並びに職員基本給、職員手当、退職給与金及び法定福利費等の額に相当するものである。</p>																								
<p>2 収支計画(令和2年度～令和6年度)</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="203 1257 768 1455"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（税抜）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>314,804</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>310,001</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>257,038</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額（税抜）	収入の部	314,804	営業収益	310,001	医業収益	257,038	<p>2 収支計画（令和4年度）</p> <p>ア 県立病院機構全体</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="887 1257 1451 1455"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（税抜）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>64,674</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>63,665</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>53,340</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額（税抜）	収入の部	64,674	営業収益	63,665	医業収益	53,340	<p>2 収支計画（令和5年度）</p> <p>ア 県立病院機構全体</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="1570 1257 2134 1455"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（税抜）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入の部</td> <td>68,645</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>67,545</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>57,209</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額（税抜）	収入の部	68,645	営業収益	67,545	医業収益	57,209
区分	金額（税抜）																									
収入の部	314,804																									
営業収益	310,001																									
医業収益	257,038																									
区分	金額（税抜）																									
収入の部	64,674																									
営業収益	63,665																									
医業収益	53,340																									
区分	金額（税抜）																									
収入の部	68,645																									
営業収益	67,545																									
医業収益	57,209																									

第三期中期計画				令和4年度計画				令和5年度計画(案)			
		運営費負担 金収益	50,356			運営費負担 金収益	9,734			運営費負担 金収益	9,809
		その他営業 収益	2,608			その他営業 収益	590			その他営業 収益	528
		営業外収益	4,804			営業外収益	1,009			営業外収益	1,100
		運営費負担 金収益	1,535			運営費負担 金収益	299			運営費負担 金収益	273
		その他営業 外収益	3,269			その他営業 外収益	710			その他営業 外収益	826
		臨時利益	0			臨時利益	0			臨時利益	0
	支出の部		316,125		支出の部		65,079		支出の部		69,244
		営業費用	312,216			営業費用	64,333			営業費用	68,449
		医業費用	295,968			医業費用	60,884			医業費用	64,772
		給与費	137,400			給与費	27,198			給与費	28,533
		材料費	76,034			材料費	16,511			材料費	18,100
		経費	52,226			経費	11,011			経費	11,924
		減価償却 費	17,774			減価償 却費	3,405			減価償 却費	3,504
		研究研修 費	5,587			研究研 修費	1,408			研究研 修費	1,398
		うち 給与 費	2,845			うち 給与 費	596			うち 給与 費	576
		児童福祉 施設費	6,947			児童福 祉施設 費	1,351			児童福 祉施設 費	1,311

第三期中期計画				令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
		うち 給与 費	5,171			うち 給与 費	1,010			うち 給与 費	971
		一般管理費	2,638			一般管理費	553			一般管理費	590
		うち給与 費	2,086			うち給 与費	425			うち給 与費	464
		その他営業 費用	13,609			その他営業 費用	2,895			その他営業 費用	3,087
		営業外費用	3,505			営業外費用	662			営業外費用	627
		臨時損失	404			臨時損失	84			臨時損失	169
		純損益	△1,320			純利益	△406			純利益	△599
		目的積立金取崩額	0			目的積立金取崩額	0			目的積立金取崩額	0
		総損益	△1,320			総利益	△406			総利益	△599
(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。 (注2) 期間中の診療報酬改定や給与改定等の変動は考慮していない。				(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。				(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。			
		經常収支比率	99.5%			經常収支比率	99.5%			經常収支比率	99.4%
		医業収支比率	87.6%			医業収支比率	87.6%			医業収支比率	88.3%
		医業収益に対する給与費の比率	54.8%			医業収益に対する給与費の比率	54.8%			医業収益に対する給与費の比率	53.4%
		給与費等負荷率	97.3%			給与費等負荷率	97.3%			給与費等負荷率	95.3%
イ 足柄上病院 (単位：百万円)				イ 足柄上病院 (単位：百万円)				イ 足柄上病院 (単位：百万円)			
		区分	金額（税抜）			区分	金額（税抜）			区分	金額（税抜）
		収入の部	6,515			収入の部	6,515			収入の部	6,883
		営業収益	6,441			営業収益	6,441			営業収益	6,808

第三期中期計画	令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
			医業収益	5,125			医業収益	5,465
			運営費負担	1,267			運営費負担	1,282
			金収益				金収益	<u>1,282</u>
			その他営業 収益	49			その他営業 収益	<u>60</u>
			営業外収益	74			営業外収益	<u>75</u>
			運営費負担	37			運営費負担	<u>32</u>
			金収益				金収益	<u>32</u>
			その他営業 外収益	37			その他営業 外収益	<u>43</u>
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>
		支出の部		7,059			支出の部	<u>7,515</u>
		営業費用		6,995			営業費用	<u>7,398</u>
		医業費用		6,770			医業費用	<u>7,150</u>
		給与費		3,894			給与費	<u>4,023</u>
		材料費		1,189			材料費	<u>1,307</u>
		経費		1,279			経費	<u>1,423</u>
		減価償 却費		389			減価償 却費	<u>372</u>
		研究研 修費		19			研究研 修費	<u>24</u>
		うち 給与 費		0			うち 給与 費	<u>0</u>
		児童福 祉施設 費		0			児童福 祉施設 費	<u>0</u>

第三期中期計画	令和4年度計画					令和5年度計画（案）					
				うち 給与 費	0			うち 給与 費	<u>0</u>		
			一般管理費		0		一般管理費		<u>0</u>		
				うち給 与費	0			うち給 与費	<u>0</u>		
			その他営業 費用		225		その他営業 費用		<u>249</u>		
			営業外費用		58		営業外費用		<u>53</u>		
			臨時損失		6		臨時損失		<u>63</u>		
	純利益				△544		純利益				<u>△632</u>
	目的積立金取崩額				0		目的積立金取崩額				<u>0</u>
	総利益				△544		総利益				<u>△632</u>
	(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。										
	経常収支比率				92.4%		経常収支比率				<u>92.4%</u>
	医業収支比率				75.7%		医業収支比率				<u>76.4%</u>
	医業収益に対する給与費の比率				76.0%		医業収益に対する給与費の比率				<u>73.6%</u>
	給与費等負荷率				119.4%		給与費等負荷率				<u>116.9%</u>
	ウ こども医療センター (単位：百万円)										
	ウ こども医療センター (単位：百万円)						ウ こども医療センター (単位：百万円)				
			区分	金額 (税抜)					区分	金額 (税抜)	
			収入の部		18,504		収入の部		<u>19,904</u>		
			営業収益		18,363		営業収益		<u>19,768</u>		

第三期中期計画		令和4年度計画			令和5年度計画（案）			
			医業収益	14,913			医業収益	<u>16,298</u>
			運営費負担 金収益	3,222			運営費負担 金収益	<u>3,244</u>
			その他営業 収益	227			その他営業 収益	<u>226</u>
			営業外収益	142			営業外収益	<u>136</u>
			運営費負担 金収益	85			運営費負担 金収益	<u>78</u>
			その他営業 外収益	57			その他営業 外収益	<u>57</u>
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>
		支出の部		18,136		支出の部		<u>19,221</u>
			営業費用	17,969			営業費用	<u>19,053</u>
			医業費用	17,228			医業費用	<u>18,272</u>
			給与費	8,366			給与費	<u>8,928</u>
			材料費	4,178			材料費	<u>4,422</u>
			経費	2,279			経費	<u>2,538</u>
			減価償 却費	857			減価償 却費	<u>906</u>
			研究研 修費	196			研究研 修費	<u>166</u>
			うち 給与 費	128			うち 給与 費	<u>112</u>
			児童福 祉施設 費	1,351			児童福 祉施設 費	<u>1,311</u>

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

	うち 給与 費	1,010
一般管理費		0
うち給 与費		0
その他営業 費用		741
営業外費用		145
臨時損失		22
純利益		368
目的積立金取崩額		0
総利益		368

	うち 給与 費	971
一般管理費		0
うち給 与費		0
その他営業 費用		781
営業外費用		143
臨時損失		25
純利益		683
目的積立金取崩額		0
総利益		683

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	102.2%
医業収支比率	86.6%
医業収益に対する給与費の比率	63.7%
給与費等負荷率	101.7%

経常収支比	103.7%
医業収支比率	89.2%
医業収益に対する給与費の比率	61.4%
給与費等負荷率	96.7%

エ 精神医療センター
(単位：百万円)

エ 精神医療センター
(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	5,112
営業収益	5,065

区分	金額 (税抜)
収入の部	5,176
営業収益	5,104

第三期中期計画	令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
			医業収益	3,254			医業収益	3,289
			運営費負担 金収益	1,713			運営費負担 金収益	1,724
			その他営業 収益	97			その他営業 収益	91
			営業外収益	47			営業外収益	72
			運営費負担 金収益	30			運営費負担 金収益	29
			その他営業 外収益	17			その他営業 外収益	44
			臨時利益	0			臨時利益	0
		支出の部		5,076		支出の部		5,163
		営業費用		4,997		営業費用		5,102
		医業費用		4,889		医業費用		4,991
		給与費		3,519		給与費		3,574
		材料費		278		材料費		280
		経費		705		経費		761
		減価償却費		379		減価償却費		368
		研究研修費		8		研究研修費		8
		うち 給与費		0		うち 給与費		0
		児童福祉施設費		0		児童福祉施設費		0

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
うち給 与費		0
その他営業 費用		108
営業外費用		60
臨時損失		18
純利益		36
目的積立金取崩額		0
総利益		36

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
うち給 与費		0
その他営業 費用		111
営業外費用		58
臨時損失		3
純利益		13
目的積立金取崩額		0
総利益		13

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 101.1%
 医業収支比率 66.6%
 医業収益に対する給与費の比率 108.1%
 給与費等負荷率 130.5%

経常収支比率 100.3%
 医業収支比率 65.9%
 医業収益に対する給与費の比率 108.7%
 給与費等負荷率 130.5%

オ がんセンター（病院）
 （単位：百万円）

オ がんセンター（病院）
 （単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	23,950
営業収益	23,772

区分	金額（税抜）
収入の部	<u>25,650</u>
営業収益	<u>25,453</u>

第三期中期計画		令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
			医業収益	21,638			医業収益	<u>23,340</u>	
			運営費負担 金収益	2,009			運営費負担 金収益	<u>2,020</u>	
			その他営業 収益	125			その他営業 収益	<u>93</u>	
			営業外収益	178			営業外収益	<u>197</u>	
			運営費負担 金収益	89			運営費負担 金収益	<u>83</u>	
			その他営業 外収益	89			その他営業 外収益	<u>114</u>	
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>	
		支出の部		23,463		支出の部		<u>25,283</u>	
			営業費用	23,259			営業費用	<u>25,081</u>	
			医業費用	21,917			医業費用	<u>23,630</u>	
			給与費	7,534			給与費	<u>7,917</u>	
			材料費	8,385			材料費	<u>9,401</u>	
			経費	4,044			経費	<u>4,331</u>	
			減価償 却費	859			減価償 却費	<u>871</u>	
			研究研 修費	1,095			研究研 修費	<u>1,110</u>	
			うち 給与 費	413			うち 給与 費	<u>405</u>	
			児童福 祉施設 費	0			児童福 祉施設 費	<u>0</u>	

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
	うち給 与費	0
その他営業 費用		1,342
営業外費用		186
臨時損失		18
純利益		488
目的積立金取崩額		0
総利益		488

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
	うち給 与費	0
その他営業 費用		1,451
営業外費用		172
臨時損失		29
純利益		368
目的積立金取崩額		0
総利益		368

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	102.2%
医業収支比率	98.7%
医業収益に対する給与費の比率	36.7%
給与費等負荷率	83.5%

経常収支比率	101.6%
医業収支比率	98.8%
医業収益に対する給与費の比率	35.7%
給与費等負荷率	82.5%

カ がんセンター（重粒子線治療施設）
（単位：百万円）

カ がんセンター（重粒子線治療施設）
（単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	1,471
営業収益	1,435

区分	金額（税抜）
収入の部	1,599
営業収益	1,566

第三期中期計画		令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
			医業収益	1,385			医業収益	<u>1,548</u>	
			運営費負担 金収益	0			運営費負担 金収益	<u>0</u>	
			その他営業 収益	50			その他営業 収益	<u>17</u>	
			営業外収益	36			営業外収益	<u>33</u>	
			運営費負担 金収益	36			運営費負担 金収益	<u>33</u>	
			その他営業 外収益	0			その他営業 外収益	<u>0</u>	
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>	
		支出の部		1,645		支出の部		<u>1,861</u>	
			営業費用	1,561			営業費用	<u>1,788</u>	
			医業費用	1,499			医業費用	<u>1,720</u>	
			給与費	321			給与費	<u>422</u>	
			材料費	21			材料費	<u>28</u>	
			経費	598			経費	<u>669</u>	
			減価償 却費	559			減価償 却費	<u>601</u>	
			研究研 修費	0			研究研 修費	<u>0</u>	
			うち 給与 費	0			うち 給与 費	<u>0</u>	
			児童福 祉施設 費	0			児童福 祉施設 費	<u>0</u>	

第三期中期計画	令和4年度計画					令和5年度計画（案）				
			うち 給与 費	0			うち 給与 費	0		
			一般管理費	0			一般管理費	0		
			うち給 与費	0			うち給 与費	0		
			その他営業 費用	61			その他営業 費用	68		
			営業外費用	71			営業外費用	67		
			臨時損失	13			臨時損失	6		
		純利益		△174		純利益		△262		
		目的積立金取崩額		0		目的積立金取崩額		0		
		総利益		△174		総利益		△262		
	(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。					(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。				
	経常収支比率		90.1%			経常収支比率		86.2%		
	医業収支比率		92.4%			医業収支比率		90.0%		
	医業収益に対する給与費の比率		23.2%			医業収益に対する給与費の比率		27.3%		
	給与費等負荷率		58.3%			給与費等負荷率		59.3%		
キ 循環器呼吸器病センター (単位：百万円)					キ 循環器呼吸器病センター (単位：百万円)					
		区分		金額 (税抜)			区分		金額 (税抜)	
		収入の部		8,633			収入の部		8,888	
		営業収益		8,590			営業収益		8,848	

第三期中期計画		令和4年度計画				令和5年度計画（案）			
			医業収益	7,025			医業収益	<u>7,269</u>	
			運営費負担 金収益	1,523			運営費負担 金収益	<u>1,540</u>	
			その他営業 収益	41			その他営業 収益	<u>39</u>	
			営業外収益	43			営業外収益	<u>40</u>	
			運営費負担 金収益	23			運営費負担 金収益	<u>17</u>	
			その他営業 外収益	20			その他営業 外収益	<u>23</u>	
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>	
		支出の部		8,365		支出の部		<u>8,845</u>	
			営業費用	8,319			営業費用	<u>8,772</u>	
			医業費用	7,932			医業費用	<u>8,369</u>	
			給与費	3,389			給与費	<u>3,509</u>	
			材料費	2,459			材料費	<u>2,662</u>	
			経費	1,632			経費	<u>1,722</u>	
			減価償 却費	362			減価償 却費	<u>387</u>	
			研究研 修費	90			研究研 修費	<u>90</u>	
			うち 給与 費	55			うち 給与 費	<u>59</u>	
			児童福 祉施設 費	0			児童福 祉施設 費	<u>0</u>	

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
	うち給 与費	0
その他営業 費用		387
営業外費用		39
臨時損失		7
純利益		267
目的積立金取崩額		0
総利益		267

	うち 給与 費	0
一般管理費		0
	うち給 与費	0
その他営業 費用		403
営業外費用		31
臨時損失		42
純利益		43
目的積立金取崩額		0
総利益		43

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率	103.3%
医業収支比率	88.6%
医業収益に対する給与費の比率	49.0%
給与費等負荷率	94.0%

経常収支比率	101.0%
医業収支比率	86.9%
医業収益に対する給与費の比率	49.1%
給与費等負荷率	96.6%

ク 本部事務局
(単位：百万円)

ク 本部事務局
(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	489
営業収益	0

区分	金額 (税抜)
収入の部	546
営業収益	0

第三期中期計画		令和4年度計画			令和5年度計画（案）			
			医業収益	0			医業収益	<u>0</u>
			運営費負担 金収益	0			運営費負担 金収益	<u>0</u>
			その他営業 収益	0			その他営業 収益	<u>0</u>
			営業外収益	489			営業外収益	<u>546</u>
			運営費負担 金収益	0			運営費負担 金収益	<u>0</u>
			その他営業 外収益	489			その他営業 外収益	<u>546</u>
			臨時利益	0			臨時利益	<u>0</u>
		支出の部		1,335		支出の部		<u>1,358</u>
			営業費用	1,232			営業費用	<u>1,254</u>
			医業費用	648			医業費用	<u>640</u>
			給与費	175			給与費	<u>161</u>
			材料費	0			材料費	<u>0</u>
			経費	473			経費	<u>479</u>
			減価償 却費	0			減価償 却費	<u>0</u>
			研究研 修費	0			研究研 修費	<u>0</u>
			うち 給与 費	0			うち 給与 費	<u>0</u>
			児童福 祉施設 費	0			児童福 祉施設 費	<u>0</u>

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

	うち 給与 費	0
一般管理費		553
うち給 与費		425
その他営業 費用		31
営業外費用		103
臨時損失		0
純利益		△846
目的積立金取崩額		0
総利益		△846

	うち 給与 費	0
一般管理費		590
うち給 与費		464
その他営業 費用		24
営業外費用		104
臨時損失		0
純利益		△812
目的積立金取崩額		0
総利益		△812

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

3 資金計画（令和4年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税 込）
資金収入	72,228
業務活動による収 入	64,502

3 資金計画（令和5年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税 込）
資金収入	78,832
業務活動による収 入	68,552

第三期中期計画		令和4年度計画		令和5年度計画（案）		
3 資金計画（令和2年度～令和6年度） (単位：百万円)						
	区分	金額(税込)				
	資金収入	333,295				
	業務活動による収入	314,100				
	診療活動による収入	257,934				
	運営費負担金による収入	51,890				
	その他の業務活動による収入	4,276				
	投資活動による収入	8,117				
	運営費負担金による収入	8,002				
	その他の投資活動による収入	115				
	財務活動による収入	8,557				
	長期借入れによる収入	8,557				
			診療活動による収入	53,549	診療活動による収入	57,436
			運営費負担金による収入	10,034	運営費負担金による収入	10,082
			その他の業務活動による収入	919	その他の業務活動による収入	1,034
			投資活動による収入	1,675	投資活動による収入	1,629
			運営費負担金による収入	1,652	運営費負担金による収入	1,593
			その他の投資活動による収入	23	その他の投資活動による収入	37
			財務活動による収入	1,966	財務活動による収入	2,306
			長期借入れによる収入	1,966	長期借入れによる収入	2,306
			その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	0
			前事業年度よりの繰越金	4,086	前事業年度よりの繰越金	6,345
			資金支出	72,228	資金支出	78,832
			業務活動による支出	61,603	業務活動による支出	65,593
			給与費支出	28,667	給与費支出	30,004

第三期中期計画			令和4年度計画			令和5年度計画（案）		
	その他の財務活動による収入	0		研究研修費支出	1,475		研究研修費支出	<u>1,458</u>
	前期中期目標の期間よりの繰越金	2,521		その他の業務活動による支出	31,461		その他の業務活動による支出	<u>34,132</u>
	資金支出	333,295		投資活動による支出	3,463		投資活動による支出	<u>2,674</u>
	業務活動による支出	298,252		有形固定資産の取得による支出	3,419		有形固定資産の取得による支出	<u>2,616</u>
	給与費支出	144,933		その他の投資活動による支出	44		その他の投資活動による支出	<u>58</u>
	研究研修費支出	5,793		財務活動による支出	3,755		財務活動による支出	<u>3,742</u>
	その他の業務活動による支出	147,526		移行前地方債償還債務の償還による支出	1,116		移行前地方債償還債務の償還による支出	<u>1,088</u>
	投資活動による支出	9,517		長期借入金の返済による支出	2,639		長期借入金の返済による支出	<u>2,654</u>
	有形固定資産の取得による支出	9,411		その他の財務活動による支出	0		その他の財務活動による支出	<u>0</u>
	その他の投資活動による支出	106		翌事業年度への繰越金	3,407		翌事業年度への繰越金	<u>6,823</u>
	財務活動による支出	20,459						

第三期中期計画			令和4年度計画	令和5年度計画（案）
	移行前地方債償還債務の償還による支出	5,490	(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。	(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
	長期借入金の返済による支出	14,969		
	その他の財務活動による支出	0		
	次期中期目標の期間への繰越金	5,067		
<p>(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。</p> <p>(注2) 期間中の診療報酬改定や給与改定等の変動は考慮していない。</p>				

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p>	<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p>	<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p>
<p>第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p> <p>なし</p>	<p>第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p> <p>なし</p>	<p>第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p> <p><u>老朽化が進む足柄上病院2号館について、建替え等のため、除却に着手する。</u></p>
<p>第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p> <p>なし</p>	<p>第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p> <p>なし</p>	<p>第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p> <p>なし</p>
<p>第8 剰余金の使途</p> <p>決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p>	<p>第8 剰余金の使途</p> <p>決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p>	<p>第8 剰余金の使途</p> <p>決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p>
<p>第9 料金に関する事項</p> <p>1 診療料等</p>	<p>第9 料金に関する事項</p>	<p>第9 料金に関する事項</p>

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>病院の診療料その他の諸料金（以下「診療料等」という。）の額は、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれの定める額とする。</p> <p>（下記の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含んでいない。）</p> <p>（1）（略）</p> <p>（2）診療を受ける者が（1）に規定する医療に関する給付等を受けることができない場合</p> <p>診療報酬の算定方法や実費額等を勘案し、理事長が定める額とする。</p> <p>（3）（略）</p> <p>2 その他の料金</p> <p>（略）</p> <p>3 還付</p> <p>既納の診療料等及びその他の料金は、還付しない。ただし、理事長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>4 減免</p> <p>理事長は、診療料等及びその他の料金の納付について、特別の理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。</p>	<p>診療報酬の算定方法や実費額を勘案し、適切な料金設定をするなど、収益の確保に努める。</p>	<p>診療報酬の算定方法や実費額を勘案し、適切な料金設定をするなど、収益の確保に努める。</p>

第三期中期計画・令和4年度年度計画・令和5年度年度計画(案) 対比表

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画(案)
<p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療を提供するため、医療人材の確保に努めるとともに、職員の増員に際しては、費用対効果の観点から十分に検証するなど、適正な人員配置に努める。 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 関係職種間での適切な役割分担、多職種が参加するカンファレンスの実施などのチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を上げる取組みを進める。 職員を表彰する制度により、職員の業務改善に向けた意識の醸成を図るとともに、職員の提案を病院運営に反映させる。 働き方改革の取組みを推進するため、仕事のやり方の見直し、タスクシフトの推進など、業務の効率化を徹底するとともに、職員の業務に対する意識啓発に取り組み、職員がより働きやすい環境を整えていく。また、医師については、病院運営 	<p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画</p> <p>【人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療の提供や医療ニーズの変化に対応するため、任期付職員や非常勤職員等の雇用を含めた医師の人材確保を進めるなど、必要な人員配置に努める。 厳しい経営状況に鑑み、増員については、原則抑制するものとするが、費用を上回る収益が確実に見込まれる場合等は増員効果を十分に検証しながら個別に判断し、適正な人員配置に努めていく。 <p>【やりがい・情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 関係職種間での適切な役割分担、多職種が参加するカンファレンスの実施などのチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を向上させる取組みを進める。 職員の業務の運営に関する顕著な功績を推奨すべき業績に対して、表彰を実施 	<p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画</p> <p>【人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療の提供や医療ニーズの変化に対応するため、任期付職員や非常勤職員等の雇用を含めた医師の人材確保を進めるなど、必要な人員配置に努める。 厳しい経営状況に鑑み、増員については、原則抑制するものとするが、費用を上回る収益が確実に見込まれる場合等は増員効果を十分に検証しながら個別に判断し、適正な人員配置に努めていく。 <p>【やりがい・情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 <u>働き方改革の取組みとしてタスクシフト・シェアや多職種によるチーム医療を</u>推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を向上させる取組みを進める。 職員の業務の運営に関する顕著な功績を推奨すべき業績に対して、表彰を実施

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>に影響が生じないよう、国等の動向を踏まえながら検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の経営状況や社会情勢等を踏まえつつ、国や都道府県、病院運営を行う独立行政法人等に係る情報収集を進め、適正な人事・給与制度に向けた検討を行う。 	<p>することにより、職員のやりがいを高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務や経営改善などにつながる職員提案を受け入れるとともに、実現化に向けた検討を行う。 <p>【働き方・人事・給与制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間等に係るガイドラインに基づき、労働時間の適正管理や業務の改善等に努め、職員の長時間労働防止や健康維持・増進を図りつつ、時間外勤務の縮減を進める。また、勤怠管理システムを活用して、効果的・効率的な労働時間の適正管理を行う。 医師の働き方について、各病院の医師を含む幹部職員等で構成した検討会において、宿日直勤務、待機時間及び会議の開催回数などの課題に対し、ルール化や業務見直しなどの解決策を国等の動向を注視しながら検討を進める。 	<p>することにより、職員のやりがいを高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務や経営改善などにつながる職員提案を受け入れるとともに、実現化に向けた検討を行う。 <p>【働き方・人事・給与制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間等に係るガイドラインに基づき、労働時間の適正管理や業務の改善等に努め、職員の長時間労働防止や健康維持・増進を図りつつ、時間外勤務の縮減を進める。また、勤怠管理システムを活用して、効果的・効率的な労働時間の適正管理を行う。 <u>医師の働き方改革について、令和6年4月に医師の時間外労働時間の上限規制が適用されることを踏まえ、各病院において勤怠管理システムを活用して、職員一人ひとりの健康維持、ワーク・ライフ・バランスの向上等に向けた働き方改革の取組みを推進する。</u>また、<u>医師の働き方について、各病院の医師を含む幹部職員等で構成した検討会において、勤怠管理システムを活用した労働時間の把握をするとともに病院間で共通する課題に対し、国等の動向を注視しながらルール作りをする等の解決策について検討を進める。</u>

第三期中期計画

令和4年度計画

令和5年度計画（案）

[目標値]

区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値
看護師の離職率	8.1%	9.0%
職員1人当たりの年次休暇取得日数	9.4日	15.0日

2 施設整備・修繕に係る計画の検討

各病院の施設について調査を実施し、老朽化の状況や経営状況等を総合的に勘案しながら、施設の長寿命化を含め、計画的に施設の整備・修繕を実施する。

[目標値]

区分	令和2年度実績値	令和4年度目標値
看護師の離職率	10.1%	9.0%
職員1人当たりの年次休暇取得日数	10.0日	15.0日

2 施設整備・修繕に係る計画の検討

- 令和3年10月に策定した「地方独立行政法人神奈川県立病院機構施設修繕等アクションプラン」に基づき、計画的に施設の修繕等を進める。
- 足柄上病院について、感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための基本設計及

[目標値]

区分	令和3年度実績値	令和5年度目標値
看護師の離職率	10.5%	9.0%
職員1人当たりの年次休暇取得日数	11.4日	15.0日

2 施設整備・修繕に係る計画の検討

- 令和3年10月に策定した「地方独立行政法人神奈川県立病院機構施設修繕等アクションプラン」に基づき、計画的に施設の修繕等を進める。
- 足柄上病院について、感染症医療や災害時医療、回復期医療、救急医療の充実強化を目的とした再整備に向け、老朽化が進む2号館の建替え等のための実施設計及

第三期中期計画	令和4年度計画	令和5年度計画（案）
<p>3 長期借入金の限度額 総額 8,557百万円</p> <p>4 積立金の処分に関する計画 なし</p>	<p>び既存の2号館の除却に向けた実施設計などを進める。（再掲）</p> <p>3 積立金の処分に関する計画 なし</p>	<p>び既存の2号館の除却に<u>着手する</u>。（再掲）</p> <p>3 積立金の処分に関する計画 なし</p>